



Elysium
3DxSUITE™

Elysium 3DxSUITE

インストールガイド

2022年 9 月

株式会社エリジオン

目次

1. はじめに	3
1.1. Front-End 製品ごとのインストール手順概要	3
1.2. Utility Tool のインストール手順概要	5
1.3. 想定されるユースケースごとのインストーラー実行手順	6
1.4. Sentinel RMS License Manager のインストール	11
1.5. .NET Framework のインストール	12
2. Elysium 3DxSUITE Components	13
2.1. インストール手順	13
2.1.1. 統合インストーラーでのインストール	13
2.1.2. 選択インストール	24
2.1.3. サイレントインストール	36
2.2. アンインストール手順	41
2.2.1. 手動アンインストール	41
2.2.2. サイレントアンインストール	42
3. Elysium 3DxSUITE Viewer	43
3.1. インストール手順	43
3.1.1. 手動インストール	43
3.1.2. サイレントインストール	49
3.2. 起動手順	50
3.2.1. ライセンス設定	50
3.3. 終了手順	50
3.4. アンインストール手順	51
3.4.1. 手動アンインストール	51
3.4.2. サイレントアンインストール	51
4. Elysium 3DxSUITE Editor	52
4.1. インストール手順	52
4.1.1. 手動インストール	52
4.1.2. サイレントインストール	55
4.1.3. CADmeister 独立型入出力オプション	56
4.2. 起動手順	56
4.2.1. ライセンス設定	57
4.3. 終了手順	58
4.4. アンインストール手順	58

4.4.1. 手動アンインストール	58
4.4.2. サイレントアンインストール	59
5. Elysium 3DxSUITE SmartLauncher	60
5.1. インストール手順	60
5.1.1. SmartLauncher (Standalone) の手動インストール	60
5.1.2. SmartLauncher (Plug-in) の手動インストール	72
5.1.3. SmartLauncher (Standalone) のサイレントインストール	76
5.1.4. SmartLauncher (Plug-in) のサイレントインストール	77
5.2. SmartLauncher (Plug-in) 設定手順	78
5.2.1. CAD 別初期設定 / 注意事項	80
5.3. 起動手順	83
5.3.1. SmartLauncher (Standalone) の起動	83
5.3.2. SmartLauncher (Plug-in) の起動	83
5.4. アンインストール手順	85
5.4.1. SmartLauncher (Standalone) の手動アンインストール	86
5.4.2. SmartLauncher (Standalone) のサイレントアンインストール	86
5.4.3. SmartLauncher (Plug-in) の手動アンインストール	86
5.4.4. SmartLauncher (Plug-in) のサイレントアンインストール	86
6. Elysium 3DxSUITE SmartController	88
6.1. インストール手順	88
6.1.1. 手動インストール	88
6.1.2. サイレントインストール	91
6.2. 起動手順	92
6.3. 終了手順	92
6.4. アンインストール手順	92
6.4.1. 手動アンインストール	92
6.4.2. サイレントアンインストール	92
7. Elysium 3DxSUITE SmartController Pro	93
7.1. インストール手順	93
7.1.1. 手動インストール	93
7.1.2. サイレントインストール	102
7.2. 起動手順	103
7.3. 終了手順	104
7.4. アンインストール手順	104
7.4.1. 手動アンインストール	104

7.4.2. サイレントアンインストール	104
8. Elysium 3DxSUITE TransServer	105
8.1. インストール手順	105
8.1.1. 共有フォルダーの設定	105
8.1.2. PostgreSQL のインストール	107
8.1.3. TransServer のインストール	108
8.1.4. 複数の WorkerNode の導入	121
8.2. アップグレードインストール	121
8.2.1. インストール前の注意事項	121
8.2.2. TransServer のインストール	122
8.2.3. データベースの削除方法	125
8.3. インストール後の設定変更	125
8.3.1. アプリケーションサーバーのインスタンス数変更方法	125
8.3.2. リソースの保存フォルダー変更方法	125
8.3.3. ライセンスサーバーの変更方法	126
8.3.4. 共有フォルダーの変更方法	126
8.4. 起動手順	127
8.4.1. サーバー設定	127
8.5. 終了手順	128
8.6. アンインストール手順	128
9. Elysium 3DxSUITE WorkerNode	130
9.1. インストール手順	130
9.1.1. 事前準備: 共有フォルダーの設定	130
9.1.2. 手動インストール	131
9.1.3. サイレントインストール	134
9.2. WorkerNode の設定	135
9.2.1. [共通設定] ダイアログ	136
9.2.2. [共通] タブ	137
9.2.3. [コンポーネント] タブ	139
9.2.4. Windows サービスの登録と削除	141
9.2.5. 複数の WorkerNode の設定	144
9.2.6. 高度な設定	145
9.2.7. 設定の引き継ぎ	146
9.3. 起動と停止	146
9.4. アンインストール手順	149

9.4.1. 手動アンインストール	149
9.4.2. サイレントアンインストール	149
9.5. 補足	150
9.5.1. WorkerNode を実行するユーザーについて	150
9.5.2. WorkerNode の実行状態を確認する方法について	150
9.5.3. WorkerNode のログについて	151
10. Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor	152
10.1. インストール手順	152
10.1.1. 手動インストール	152
10.1.2. サイレントインストール	158
10.2. 起動手順	159
10.3. 終了手順	159
10.4. アンインストール手順	159
10.4.1. 手動アンインストール	160
10.4.2. サイレントアンインストール	160
11. Elysium 3DxSUITE Data Package Studio	161
11.1. インストール手順	161
11.1.1. 手動インストール	161
11.1.2. サイレントインストール	168
11.2. 起動手順	169
11.3. 終了手順	169
11.4. アンインストール手順	169
11.4.1. 手動アンインストール	169
11.4.2. サイレントアンインストール	170
12. Elysium 3DxSUITE Validation Configurator	171
12.1. インストール手順	171
12.1.1. 手動インストール	171
12.1.2. サイレントインストール	179
12.2. 起動手順	180
12.3. 終了手順	181
12.4. アンインストール手順	181
12.4.1. 手動アンインストール	181
12.4.2. サイレントアンインストール	181
13. Elysium 3DxSUITE PDQ Checker Configurator	183
13.1. インストール手順	183

13.2. 起動手順	183
13.3. 終了手順	183
13.4. アンインストール手順	183
14. Elysium 3DxSUITE 設定ユーティリティー	184
14.1. インストール手順	184
14.2. 起動手順	184
14.3. 終了手順	184
14.4. アンインストール手順	184
15. トラブルシューティング	185
Appendix A: 3DxSUITE インストーラー一覧	187

モジュールパッケージについて

3DxSUITE の全モジュールパッケージは、3DxSUITE カスタマーページで公開されています。公開されているモジュールパッケージの一覧は以下の通りです。

- 3DxSUITE Base パッケージ
- 3DxSUITE Components パッケージ
- 3DxSUITE Viewer パッケージ
- 3DxSUITE Editor パッケージ
- 3DxSUITE SmartController パッケージ
- 3DxSUITE SmartController Pro パッケージ
- 3DxSUITE TransServer パッケージ
- 3DxSUITE WorkerNode パッケージ
- 3DxSUITE Daimler Bundle Package
- 3DxSUITE Honda Bundle Package
- 3DxSUITE Module for CADmeister パッケージ
- 3DxSUITE ScenarioEditor パッケージ
- 3DxSUITE Data Package Studio パッケージ
- 3DxSUITE Validation Configurator パッケージ
- 3DxSUITE PDQ Checker Configurator パッケージ



本ドキュメント中で各パッケージに言及する際には <> で囲って表記します。
(例: "サンプルスクリプトは <3DxSUITE Base パッケージ> に含まれていません。")

なお、3DxSUITE カスタマーページのログイン情報については、以下のフォームから申請してください。カスタマーページへのログインを申請するためには、製品の保守契約を継続いただいている必要があります。

<https://www.elysium-global.com/ja/support/3dxsuite/>

3DxSUITE 設定ユーティリティについて

ライセンスサーバーの情報やシナリオフォルダーのパスなど 3DxSUITE 製品群で共通して利用する設定項目については、"3DxSUITE ユーザー共通設定" もしくは "3DxSUITE ローカルユーザー設定" で設定することができます。設定可能な項目の詳細については [Elysium 3DxSUITE 設定ユーティリティマニュアル] を参照してください。

なお本ドキュメントでは、以降 "3DxSUITE ユーザー共通設定" と "3DxSUITE ローカルユーザー設定" をまとめて "3DxSUITE 設定" と記載します。

3DxSUITE 製品の略称について

本ドキュメント内では、各 3DxSUITE 製品の名称を以下の通り省略して記載します。

- 3DxSUITE Components → Components
- 3DxSUITE Viewer → Viewer
- 3DxSUITE Editor → Editor
- 3DxSUITE SmartLauncher (Standalone) → SmartLauncher (Standalone)
- 3DxSUITE SmartLauncher (Plug-in) → SmartLauncher (Plug-in)
- 3DxSUITE SmartController → SmartController
- 3DxSUITE SmartController Pro → SmartController Pro
- 3DxSUITE TransServer → TransServer
- 3DxSUITE WorkerNode → WorkerNode
- 3DxSUITE ScenarioEditor → ScenarioEditor
- 3DxSUITE Data Package Studio → Data Package Studio
- 3DxSUITE Validation Configurator → Validation Configurator
- 3DxSUITE PDQ Checker Configurator → PDQ Checker Configurator
- 3DxSUITE Setting Utility → Setting Utility

EX9.1 正式版のインストールについて

2022 年 7 月 29 日にリリースされた 3DxSUITE EX9.1 beta 版をインストールした環境に 3DxSUITE EX9.1 正式版をインストールする場合には、以下の手順を実施してください。

1. 3DxSUITE EX9.1 beta 版をアンインストールします。
2. 3DxSUITE EX9.1 正式版に含まれる以下のファイルを管理者権限で実行し、3DxSUITE EX9.1 beta 版の不要な設定ファイルを削除します。

<3DxSUITE Base パッケージ>\util\Tools\remove_setting_folders.bat

3. 3DxSUITE EX9.1 正式版をインストールします。

1. はじめに

本ドキュメントでは、3DxSUITE 製品群のインストール手順について説明します。3DxSUITE は複数の製品から構成されており、インストーラーも各製品、もしくは機能単位で提供しています。想定している使用方法、お持ちのライセンス、負荷の分散などを考慮して、いずれの製品をどのコンピューターにインストールするかを決定してください。

なお 3DxSUITE 製品それぞれの概要については、別冊 "Elysium 3DxSUITE 製品概要" マニュアルを参照してください。

1.1. Front-End 製品ごとのインストール手順概要

どの Front-End 製品を使用するかを基準として、3DxSUITE 製品群をセットアップする手順の概要を以下にまとめました。実行するインストーラー、実行する対象となるコンピューター、実行する順序を Front-End 製品ごとに記載しています。ここで記載しているのはあくまでも手順の概要となりますので、詳細については 2 章以降を参照してください。



ここでは、統合インストーラーで Components をインストールする際に SmartLauncher も同時にインストールするものとして記載しています。

• Viewer

Viewer をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe

• Editor

Editor の利用には Components が必要です。Editor をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe

• SmartLauncher

SmartLauncher は Components の統合インストーラーからインストールすることができます。SmartLauncher をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe

• SmartLauncher Plug-in

SmartLauncher Plug-in は Components の統合インストーラーからインストールすることができます。SmartLauncher Plug-in をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe

• SmartController

SmartController の利用には Components が必要です。SmartController をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe

• SmartController Pro

SmartController Pro は、実際の処理を WorkerNode で実行します。一般的には、SmartController Pro と WorkerNode を別々のコンピューターにインストールすることができます。SmartController Pro をインストールする対象を "コンピューター A"、WorkerNode をインストールする対象を "コンピューター B" としたとき、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe
2	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
3	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe

• TransServer

TransServer は実際の処理を WorkerNode で実行します。また TransServer はサーバー OS の動作するコンピューターに、WorkerNode はクライアント OS の動作するコンピューターにインストールする必要があります。TransServer をインストールする対象を "コンピューター A"、WorkerNode をインストールする対象を "コンピューター B" としたとき、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe
2	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
3	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe

• Command Line

Command Line での利用には Components が必要です。Components をインストールする対象を "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe



"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" は統合インストーラーになっています。このインストーラーから並びのフォルダー内にあるインストーラーを呼び出すことで、Adapter や SmartLauncher など複数の製品をまとめてインストールできます。インストールウィザードの中で必要な製品を選択し、インストールを実行してください。

なお特定の Adapter だけをインストールしたい場合などには、並びのフォルダー内にあるインストーラーを個別に実行してインストールすることも可能です。インストーラーの情報については、[Appendix A, 3DxSUITE インストーラー一覧](#) を参照してください。

1.2. Utility Tool のインストール手順概要

Utility Tool は 3DxSUITE 製品群の各種設定を行うためのツールです。これらのツールで設定した内容はファイルとして保存することができ、そのファイルを Front-End および Components がインストールされているコンピューターに配置すれば意図した動作を実現できます。このため、Utility Tool 自体は Front-End または Components がインストールされているコンピューター以外のコンピューターにインストールすることも可能です。

以下の表には、Utility Tool に含まれる各製品のインストーラーと、その製品と組み合わせて使用する可能性のある Front-End をまとめています。

Utility Tool	インストーラー	Front-End
3DxSUITE Scenario Editor	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_ScenarioEditor.exe	<ul style="list-style-type: none">3DxSUITE SmartLauncher3DxSUITE SmartLauncher Plug-in3DxSUITE SmartController3DxSUITE SmartController Pro
3DxSUITE Data Package Studio	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DataPackage_Studio_for_Acrobat_32bit.exe Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DataPackage_Studio_for_Acrobat_64bit.exe	<ul style="list-style-type: none">3DxSUITE SmartLauncher3DxSUITE SmartLauncher Plug-in3DxSUITE SmartController3DxSUITE SmartController Pro

3DxSUITE Validation Configurator	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Validation_Configurator.exe	<ul style="list-style-type: none"> • 3DxSUITE SmartLauncher • 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in • 3DxSUITE SmartController • 3DxSUITE SmartController Pro
3DxSUITE PDQ Checker Configurator	(*1)	<ul style="list-style-type: none"> • 3DxSUITE Editor • 3DxSUITE SmartLauncher • 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in • 3DxSUITE SmartController • 3DxSUITE SmartController Pro

- *1: PDQ Checker Configurator のインストーラーはありません。使用する際には、<3DxSUITE PDQ Checker Configurator パッケージ> に含まれる "PDQCheckerSetting.xlsm" を Microsoft Excel で開いてください。

1.3. 想定されるユースケースごとのインストーラー実行手順

以下では想定されるいくつかの状況を具体例として、どのような場合にどのインストーラーを実行する必要があるかを説明します。

ケース 1: Editor で NX から JT への変換を行う (NX (Plug-in) Adapter を使用)

【このケースに対応する旧製品での使用方法】

CADdoctor 本体と CADdoctor 用 NX 入力オプション (組込) を用いて NX から JT への変換を行う

- a. NX がインストールされているコンピューターに Editor をインストールする場合
 - "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 NX Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 JT Adapter
 - "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe" を実行して Editor をインストールします。
- b. NX がインストールされているコンピューターとは別のコンピューターに Editor をインストールする場合
 - NX がインストールされているコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を

選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。

- Elysium 3DxSUITE EX9.1 NX Adapter
- Elysium 3DxSUITE EX9.1 SmartLauncher (NX Plug-in)
- Editor をインストールするコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 JT Adapter
- Editor をインストールするコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe" を実行して Editor をインストールします。

ケース 2:
SmartLauncher で Creo Parametric から SOLIDWORKS への変換を行う (Creo Parametric (Plug-in) Adapter を使用)

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

ASFALIS SmartLauncher または DirectTranslator で Creo Parametric アダプター (CAD 組込) を用いて Creo Parametric から SOLIDWORKS への変換を行う

- a. Creo Parametric と SOLIDWORKS が同じコンピューターにインストールされている場合
 - "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 Creo Parametric Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SOLIDWORKS Adapter
- b. Creo Parametric と SOLIDWORKS が別々のコンピューターにインストールされている場合
 - Creo Parametric のインストールされているコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 Creo Parametric Adapter
 - SOLIDWORKS のインストールされているコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SOLIDWORKS Adapter

ケース 3:
NX 向けの SmartLauncher CAD 組込メニューで CATIA V5 モデルを出力する (NX (Plug-in) Adapter および CATIA V5 (Plug-in) Adapter を使用)

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

CADdoctor Option for NX の CAD 組込メニューで .drx ファイルを出力し、出力した .drx を

CADdoctor に読み込んでヒーリングを行ってから再度 .drx を出力し、その .drx を CADdoctor Option for CATIA V5 の CAD 組込メニューでインポートする

- a. NX と CATIA V5 が同じコンピューターにインストールされている場合
 - "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 NX Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SmartLauncher (NX Plug-in)
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter
- b. NX と CATIA V5 が別々のコンピューターにインストールされている場合
 - NX のインストールされているコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 NX Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SmartLauncher (NX Plug-in)
 - CATIA V5 のインストールされているコンピューターで "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して、Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter

ケース 4: SmartController で CATIA V5 モデル同士の CAD 比較を行う (CATIA V5 (Plug-in) Adapter を使用)

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

CATIA V5 アダプター (CAD 組込) を用いて CATIA V5 モデルを中間ファイルに変換し、ASFALIS Controller で CAD 比較を行う

- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe" を実行して SmartController をインストールします。

ケース 5: SmartController Pro で NX モデルの形状簡略化を行う (NX (Plug-in) Adapter を使用)

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

NX アダプターでインポートした NX モデルを簡略化し、その結果を再度 NX アダプターで出力する

という処理を ASFALIS Controller で実行する

- ジョブの管理を行うためのコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe" を実行し、SmartController Pro をインストールします。
- NX のインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。
セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 NX Adapter
- NX のインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe" を実行して WorkerNode をインストールします。

ケース 6: TransServer で SOLIDWORKS から CATIA V5 への変換を行う (CATIA V5 (Plug-in) Adapter を使用)

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

ASFALIS TransServer、SOLIDWORKS アダプター、CATIA V5 アダプター (CAD 組込) を用いて SOLIDWORKS から CATIA V5 への変換を行う

- a. SOLIDWORKS と CATIA V5 が同じコンピューターにインストールされている場合
 - ジョブの管理を行うためのコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe" を実行し、TransServer をインストールします。
 - SOLIDWORKS と CATIA V5 がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SOLIDWORKS Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter
 - SOLIDWORKS と CATIA V5 がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe" を実行して WorkerNode をインストールします。
- b. SOLIDWORKS と CATIA V5 が別々のコンピューターにインストールされている場合
 - ジョブの管理を行うためのコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe" を実行し、TransServer をインストールします。
 - SOLIDWORKS がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SOLIDWORKS Adapter

- SOLIDWORKS がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe" を実行して WorkerNode をインストールします。
- CATIA V5 がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter
- CATIA V5 がインストールされているコンピューター上で
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe" を実行して WorkerNode をインストールします。

ケース 7: CADdoctor Bundle Package を使用する

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

CADdoctor を使用して IGES ファイルや STL ファイルの入出力を行う

- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 IGES Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 STL Adapter
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe" を実行して Editor をインストールします。



- CADdoctor Bundle Package 以外に CAD の変換オプションライセンスも保有している場合には、Components をインストールする際にそれらのライセンスに対応する Adapter も選択してください。
- CADdoctor Bundle Package の詳細については、"3DxSUITE CADdoctor Bundle Package マニュアル" を参照してください。

ケース 8: Daimler Bundle Package を使用して CATIA V5 to/from JT 変換を実行する

[このケースに対応する旧製品での使用方法]

CATIA V5 to/from JT DirectTranslator もしくは ASFALIS の forDaimlerSupplier パッケージを用いて CATIA V5 to/from JT 変換を実行する

- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を実行して Component および SmartLauncher をインストールします。セットアップタイプとしては "完全インストール" を選択するか、"カスタムインストール" で以下を選択します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 CATIA V5 Adapter
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 SmartLauncher (CATIA V5 Plug-in)

- Elysium 3DxSUITE EX9.1 JT Adapter
- Elysium 3DxSUITE EX9.1 PLM XML Adapter
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe" を実行して SmartController をインストールします。
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe" を実行して SmartController Pro をインストールします。
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe" を実行して WorkerNode をインストールします。
- "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe" を実行し、TransServer をインストールします。



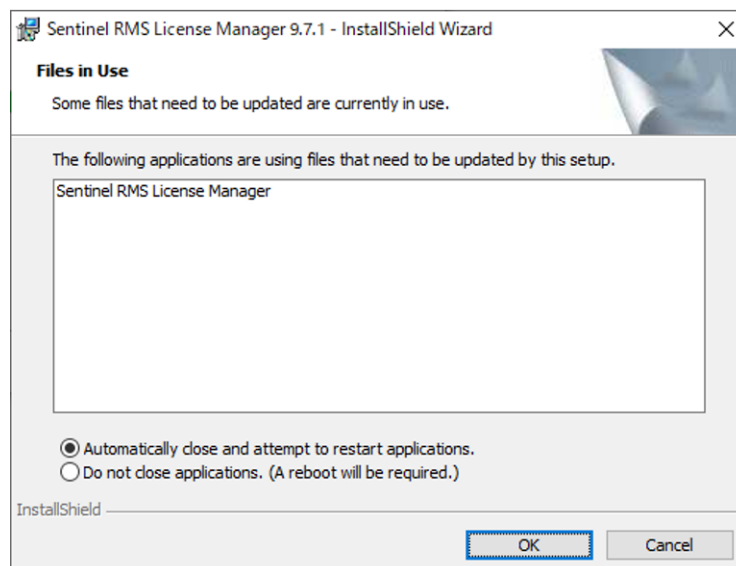
- Components 以外のインストーラーについては、どの Front-End 製品を用いて処理を実行するかを踏まえ、適切なものを選択して実行してください。
- 処理方法の詳細などについては、"3DxSUITE Daimler Bundle Package マニュアル" を参照してください。

1.4. Sentinel RMS License Manager のインストール

3DxSUITE 製品群は、Thales 社製の Sentinel RMS License Manager によりライセンス管理されます。以下のインストーラーを実行して、Sentinel RMS License Manager を導入してください。導入手順の詳細は、別冊 "Sentinel RMS License Manager セットアップ&クイックスタートガイド" を参照してください。

- [Sentinel RMS License Manager インストーラー]
<3DxSUITE Base パッケージ>\license_server\installer\setup.exe
- [Sentinel RMS License Manager セットアップ&クイックスタートガイド]
<3DxSUITE Base パッケージ>\doc\LicenseServer_QuickStartGuide_ja.pdf

以前のバージョンの Sentinel RMS License Manager がインストールされている環境でインストーラーを実行した場合、インストール中に以下のようなダイアログが表示される場合があります。このダイアログが表示された場合には、"Automatically close and attempt to restart applications." を選択して [OK] をクリックしてください。



Sentinel RMS License Manager は、3DxSUITE 製品をインストールするコンピューターと同じコンピューターにインストールすることも、別のコンピューターにインストールすることも可能です。別のコンピューターにインストールする場合には、そのコンピューターに対して 3DxSUITE 製品がインストールされるコンピューターから通信ができるように設定してください。また Sentinel RMS License Manager は対象となる環境で 1 台のコンピューターにだけインストールすればよく、3DxSUITE 製品をインストールするすべてのコンピューターにインストールする必要はありません。

1.5. .NET Framework のインストール

3DxSUITE 製品のインストールに先立って .NET Framework の手動インストールが必要となる場合があります。3DxSUITE をインストールする環境の状況に応じた事前インストールの必要有無は以下の通りです。

1. .NET Framework 4.0～.NET Framework 4.8 未満 が導入されている環境
.NET Framework は自動でインストールされません。事前に以下のインストーラーを実行して .NET Framework 4.8 を手動でインストールしてください。
 - <3DxSUITE Base パッケージ>\util\Microsoft .NET\Runtime\ndp48-x86-x64-allos-enu.exe
2. .NET Framework 4.0 以降が導入されていない環境
インストール時に自動で .NET Framework 4.8 がインストールされます。事前作業は不要です。
3. .NET Framework 4.8 以降が導入されている環境
事前作業は不要です。

2. Elysium 3DxSUITE Components

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

2.1. インストール手順



インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。Components をインストールする際には、統合インストーラーで一括インストールする方法と、Component を個別のインストーラーで選択インストールする方法のいずれかを選択することができます。それぞれの方法の概要は以下の通りです。

- **統合インストーラーによるインストール:**

インストールする Component を選択すると、その前提となる Component も併せて選択され、それらがまとめて自動的にインストールされます。インストーラーを 1 回実行するだけで済むため、最小限の工数でインストールを実行できます。通常はこちらの方法を選択してください。

- **個別のインストーラーによる選択インストール:**

必要最小限の Component だけを選択してインストールできます。関連しない Component は一切インストールされないため、記憶領域の消費を最小限に抑えられます。また初期セットアップの時点では統合インストーラーを利用し、後から機能を追加する際には選択インストールを用いるという用途もあります。

それぞれの方法でのインストール手順は以下の通りです。

2.1.1. 統合インストーラーでのインストール



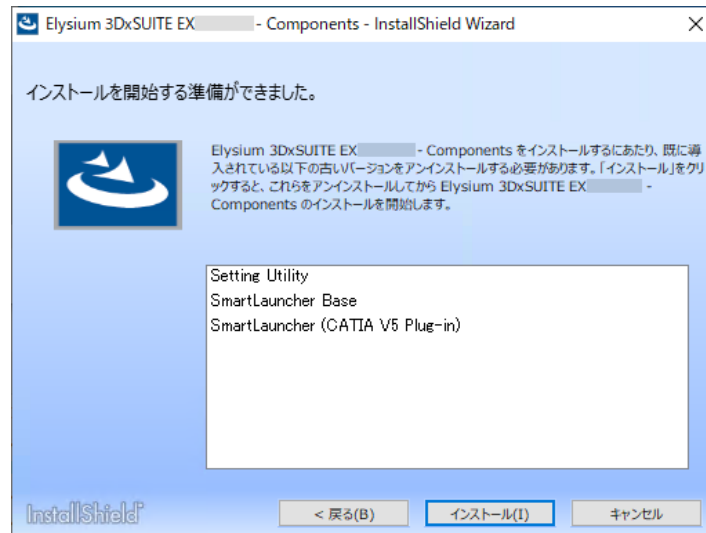
- ネットワークドライブに配置したインストーラーを管理者として実行したコマンドプロンプトから実行した場合、インストールが失敗します。以下のいずれかの方法でインストールを実行してください。

- コマンドプロンプトをログインユーザーの権限で起動し、インストーラーを実行する。
- Components インストーラーを UNC パスで指定して実行する。
- Components インストーラーをローカルドライブにコピーしてから実行する。



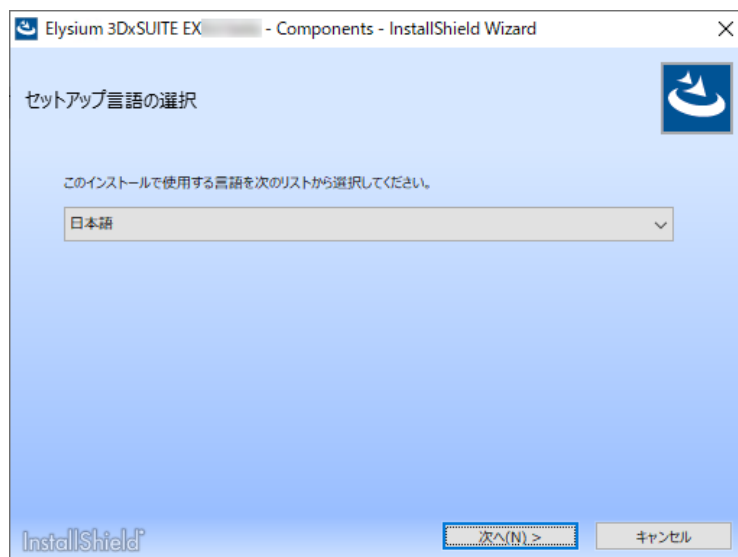
- 統合インストーラーによるインストールの実行中に [キャンセル] をクリックした場合、そこまで実行されたインストールはロールバックされません。必要な場合には、インストール済みのアプリケーションを手動でアンインストールしてください。

- 統合インストーラーから Setting Utility、3DxSUITE SmartLauncher Base、SmartLauncher (Plug-in) をインストールする場合、先に古いバージョンのアプリケーションがアンインストールされます。その後に最新バージョンがインストールされますが、インストール処理が途中で失敗すると Setting Utility、3DxSUITE SmartLauncher Base、SmartLauncher (Plug-in) が導入されていない状態となる可能性があります。

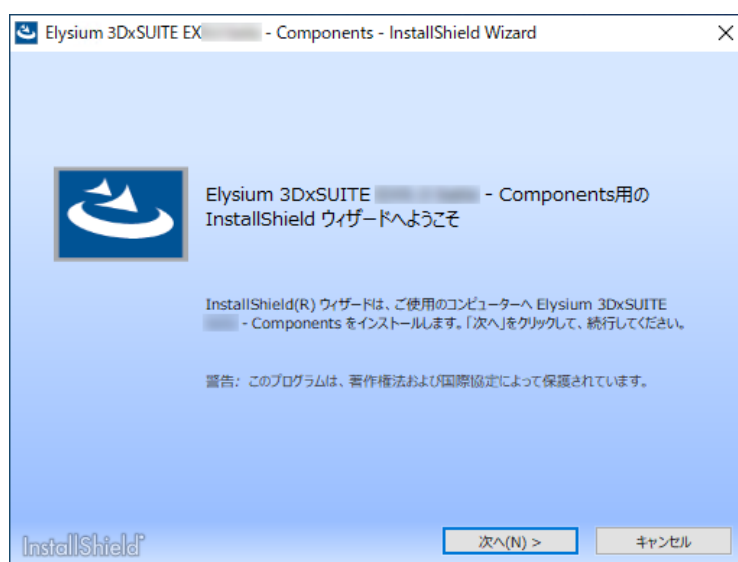


- 3DxSUITE EX9.1 の Setting Utility または SmartLauncher がインストールされている状態で 3DxSUITE EX9.0.5 または 3DxSUITE EX9.0.14 をインストールした場合、アプリケーションが正常に動作しなくなる可能性があります。3DxSUITE EX9.0.5 または 3DxSUITE EX9.0.14 をインストールする場合には、あらかじめ 3DxSUITE EX9.1 に含まれるアプリケーションをすべてアンインストールしてください。

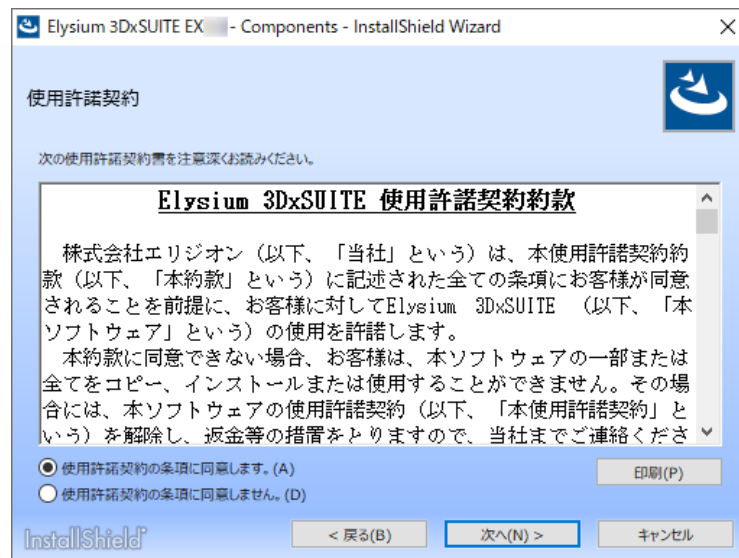
1. Components のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
2. インストールで使用する言語を選択して [次へ] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



3. インストール開始画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



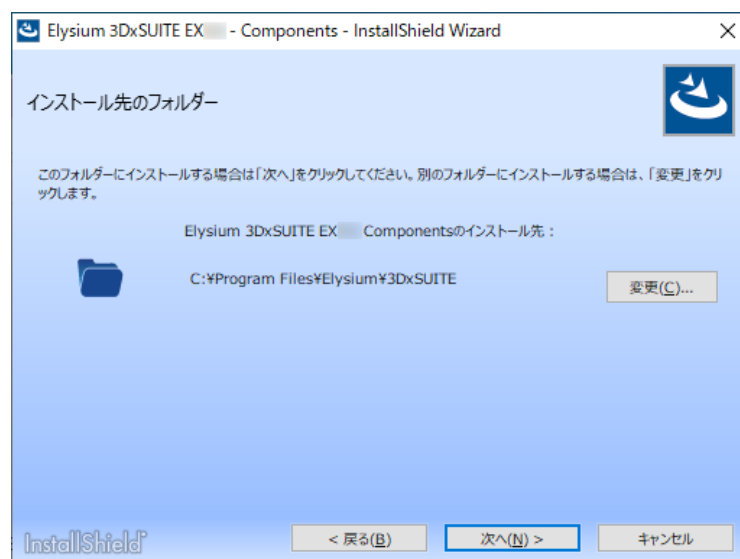
4. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



5. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名とポート番号を入力します。



6. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら[次へ] をクリックします。



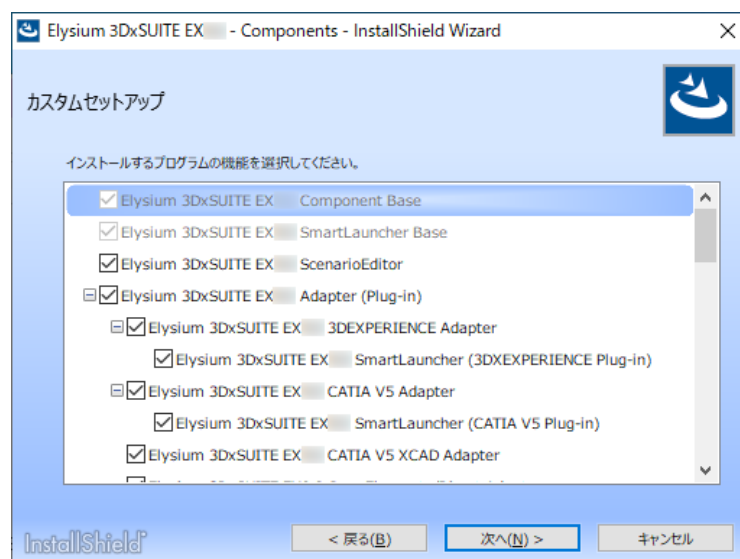
インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

7. セットアップタイプを選択します。

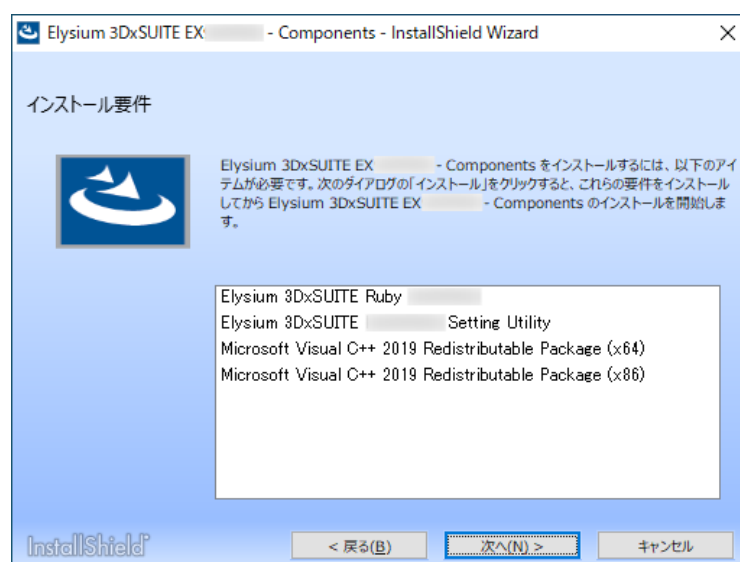


カスタムを選択した場合、次のダイアログが表示されるまでに時間がかかることがあります。

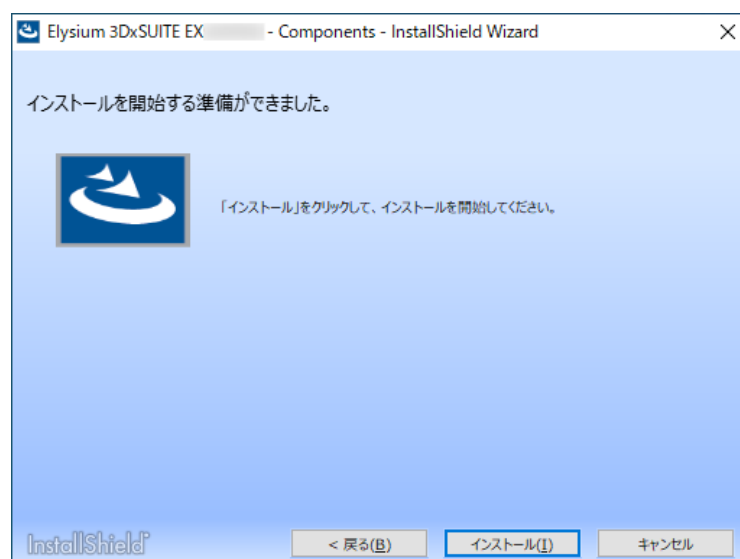
カスタムを選択した場合には、インストールする機能を選択します。このとき、手順 5. で指定したライセンスサーバーを参照してインストールする Component が自動選択されています。必要に応じて選択状態を変更してから [次へ] をクリックします。



8. 以下の内容が表示された場合には、[次へ] をクリックします。

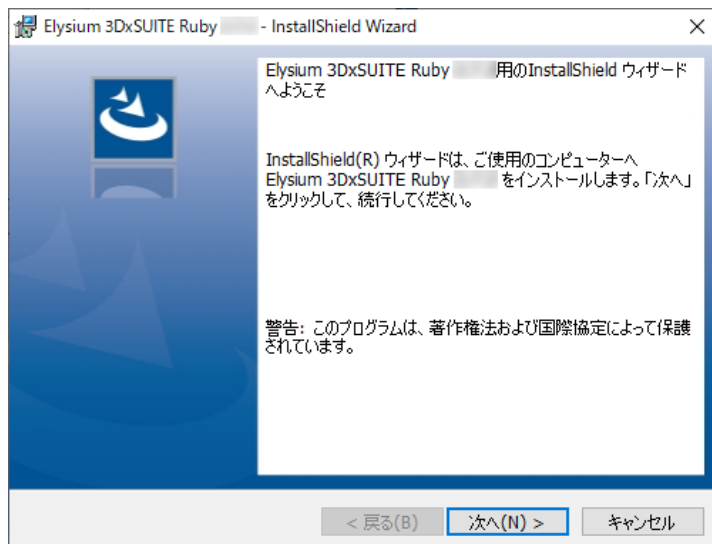


9. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

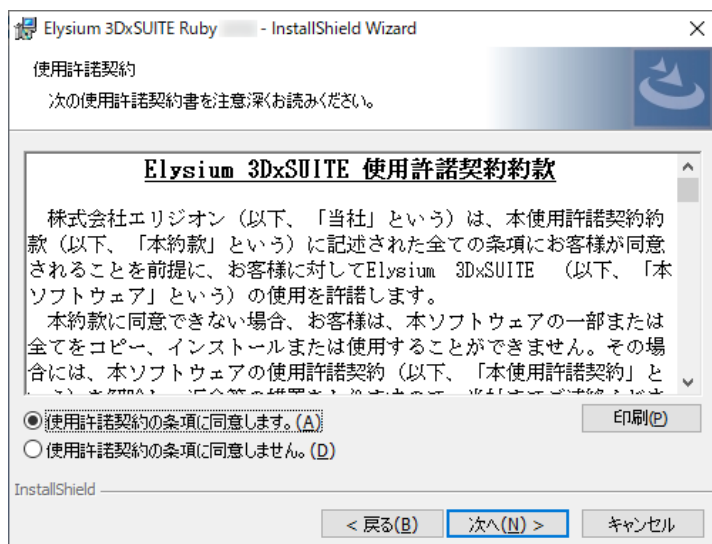


10. Elysium 3DxSUITE Ruby がインストールされていない場合、Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby がインストールされている場合は、Elysium 3DxSUITE Ruby インストール後の手順へ進んでください。

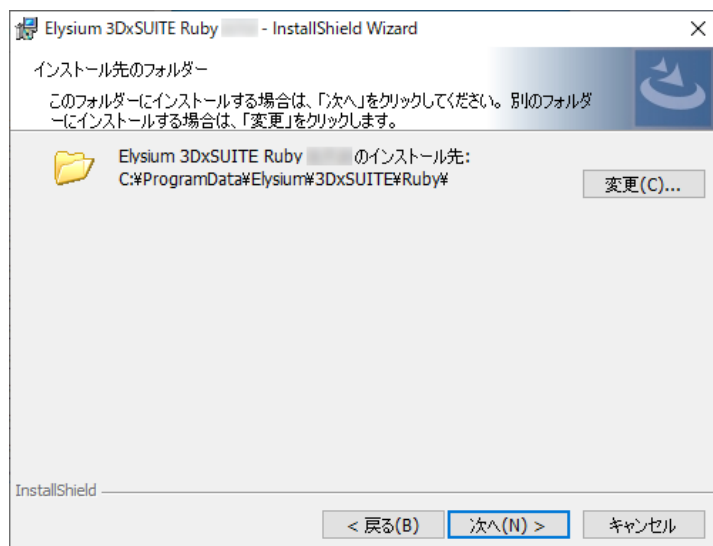
- a. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



- b. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。

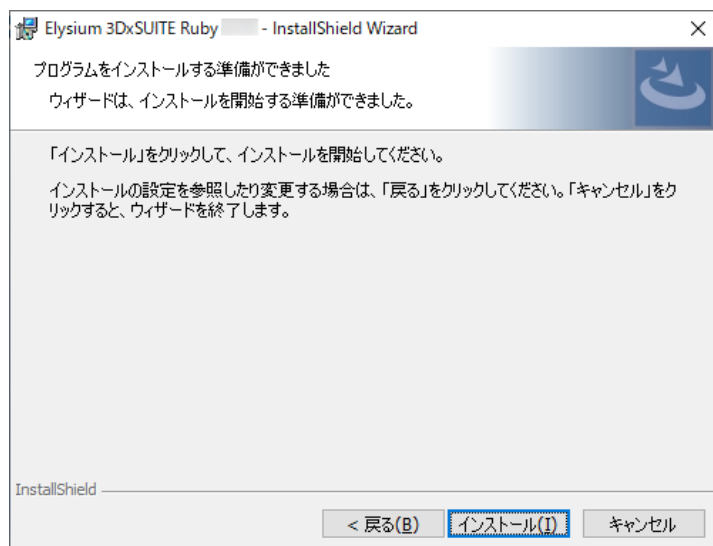


- c. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

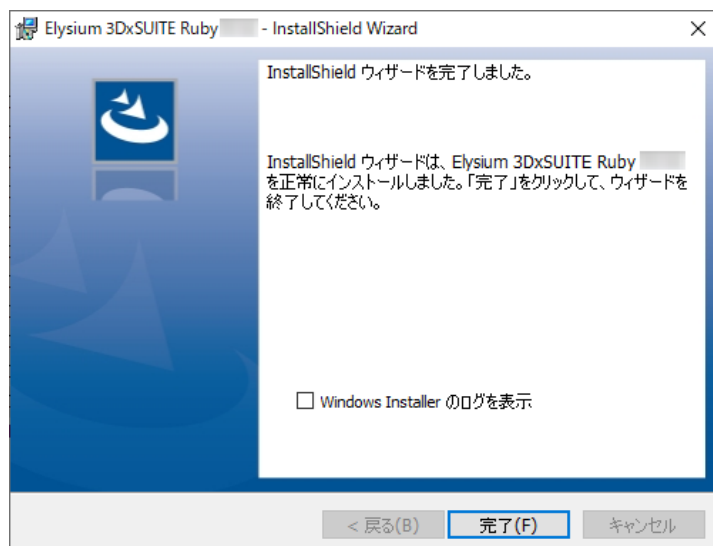


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

- d. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

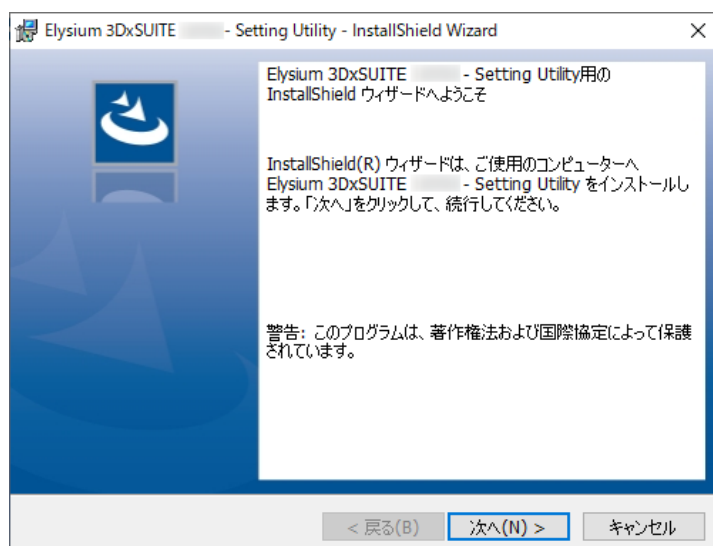


- e. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

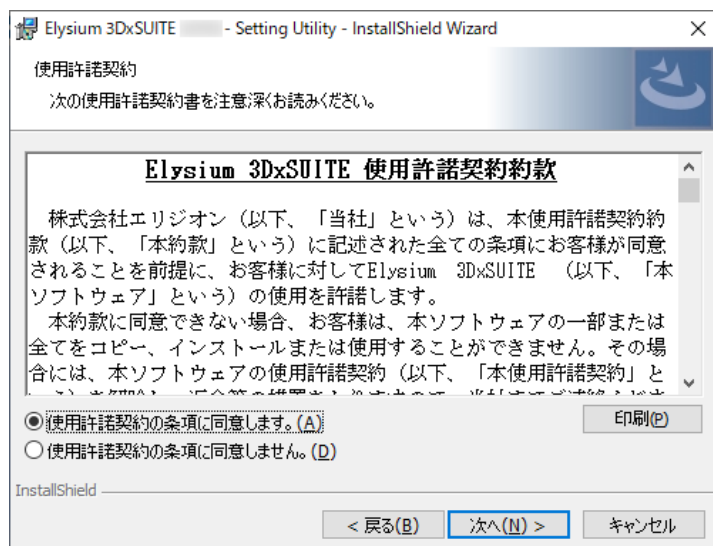


11. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

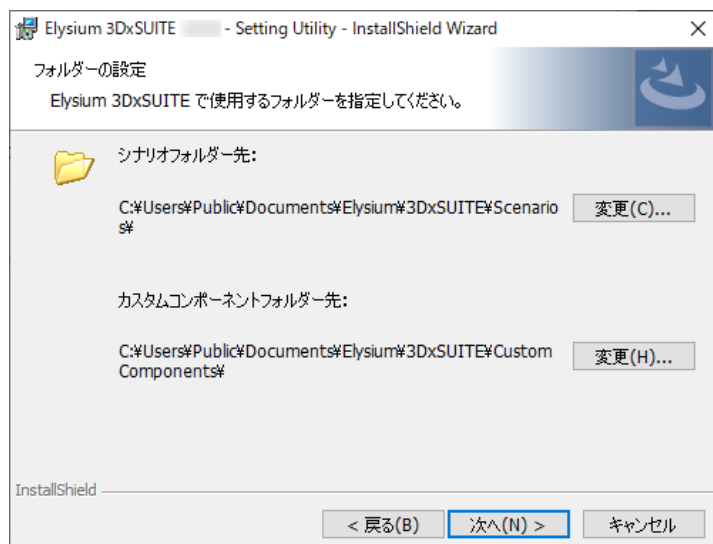
a. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



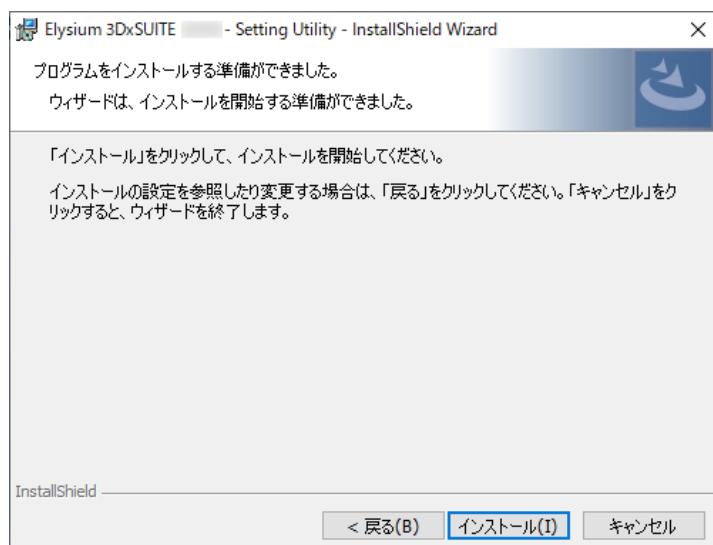
b. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



- c. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



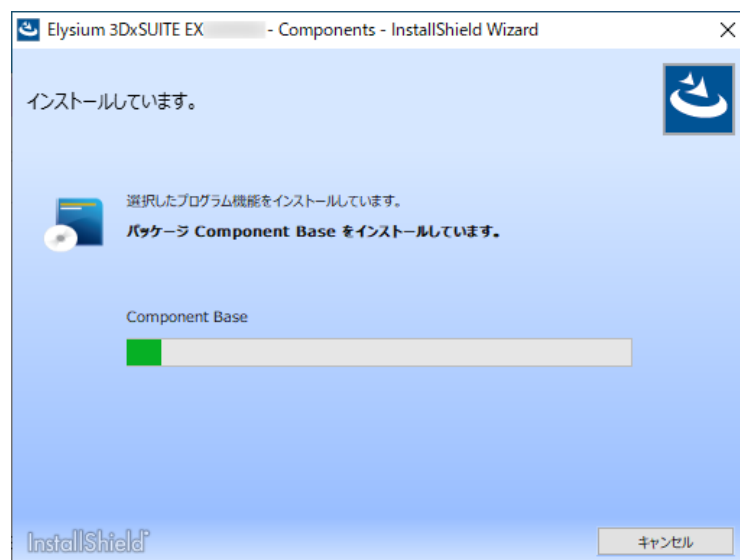
- d. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



- e. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



12. Components のインストールが実行されます。処理が終了するまで待機します。

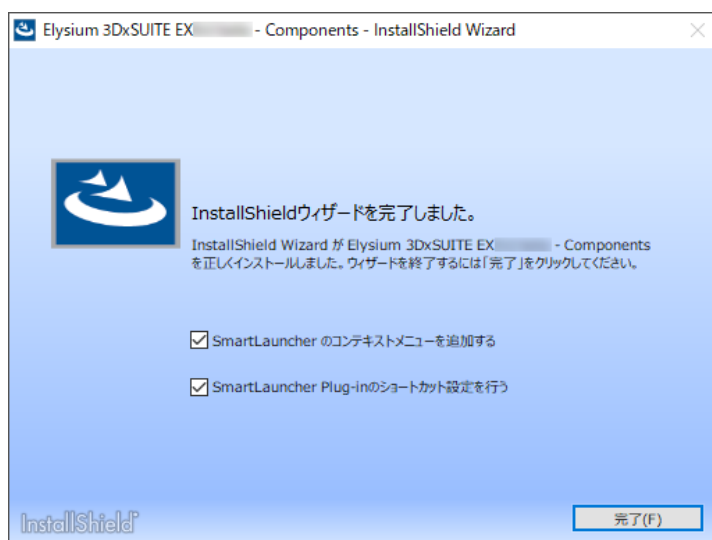


統合インストーラーによるインストールの実行中に [キャンセル] をクリックした場合、そこまで実行されたインストールはロールバックされません。必要な場合には、インストールされたアプリケーションを手動でアンインストールしてください。

13. Components のインストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。必要な項目を選択して [完了] をクリックします。終了後に OS の再起動が必要になる場合があります。

- SmartLauncher のコンテキストメニューを追加する
オンの場合、エクスプローラーでファイルを右クリックした際に表示されるメニューに [Elysium] が追加され、ファイルの変換やシナリオの実行を行えるようになります。
- SmartLauncher Plug-in のショートカット設定を行う
オンの場合、引き続き SmartLauncher (Plug-in) のショートカット設定を実施できま

す。SmartLauncher (Plug-in) のショートカット設定については、"3DxSUITE SmartLauncher マニュアル" を参照してください。



[完了] をクリックした際、OS の再起動を求めるダイアログが表示される場合があります。ショートカット設定を行う前にこのダイアログで [はい] をクリックすると、すぐに OS が再起動されてしまい、この時点で設定を行うことができなくなります。



SmartLauncher Plug-in のショートカット設定を行う場合には、再起動を求めるダイアログで [はい] をクリックする前に実行してください。なおショートカット設定を行う前に [はい] をクリックした場合でも、後ほど "3DxSUITE 設定" から同じ設定を実行できます。

2.1.2. 選択インストール



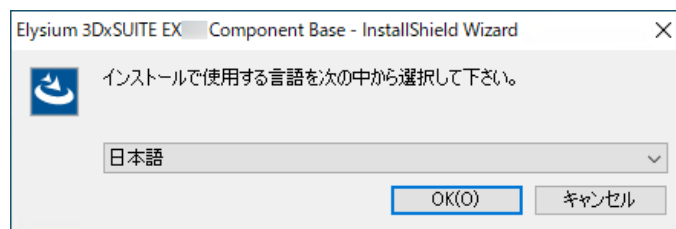
統合インストーラーによるインストールを実施している場合、通常は本手順を実施する必要はありません。

Components インストーラーの並びにあるフォルダー内のインストーラーを実行することで、必要な Component を選択してインストールすることができます。

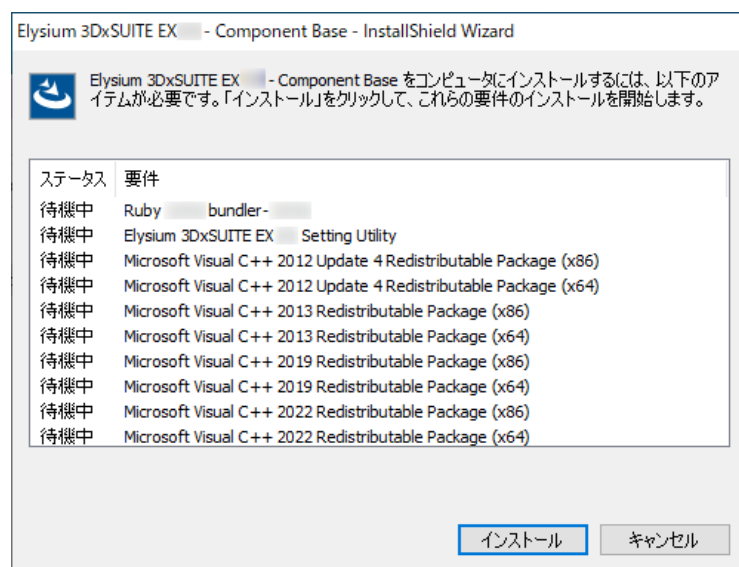
- [3DxSUITE Component Base](#)
 - 3DxSUITE 製品を実行するために必ずインストールする必要があります。
- [Adapter](#)
 - Adapter ごとにインストールできます。ただし、Adapter のインストールを実行する前に 3DxSUITE Component Base をインストールする必要があります。

Component Base

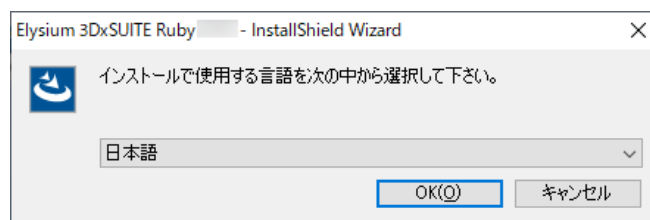
1. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



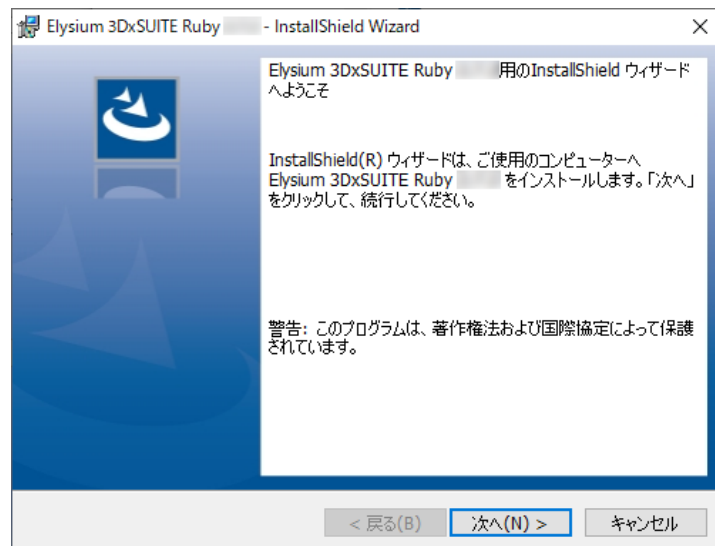
2. 以下のダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックしインストールを行います。(すでにインストールされている環境では、このダイアログは表示されません。)



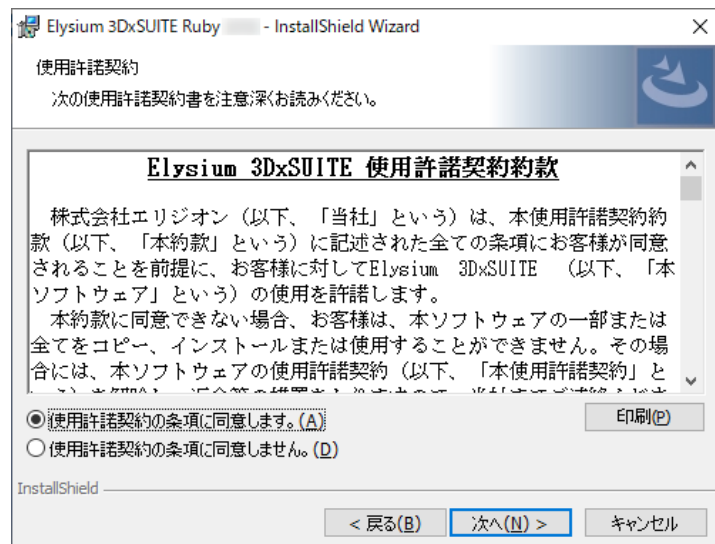
3. Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されていない環境の場合、Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、Elysium 3DxSUITE Ruby インストール後の手順へ進んでください。
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



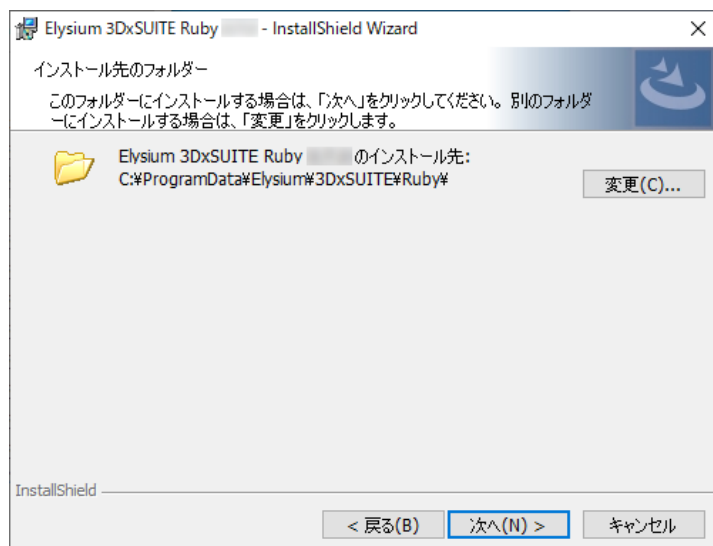
- b. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



- c. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。

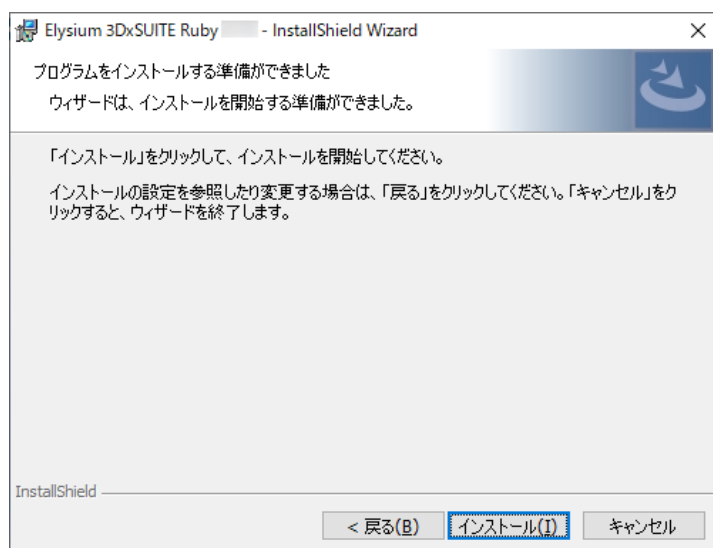


- d. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

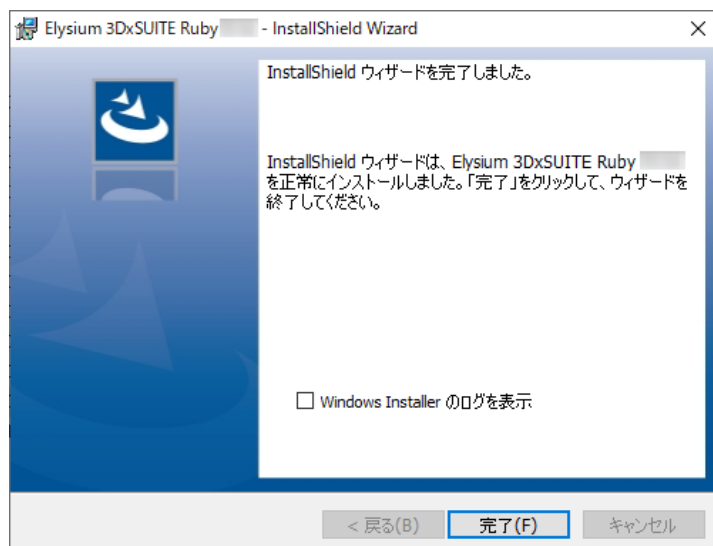


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

- e. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

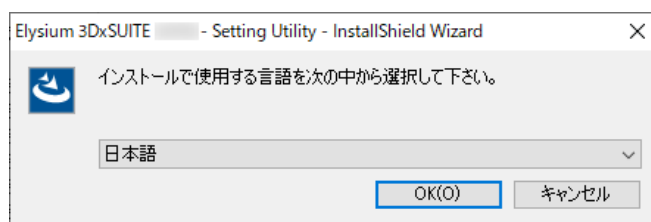


- f. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

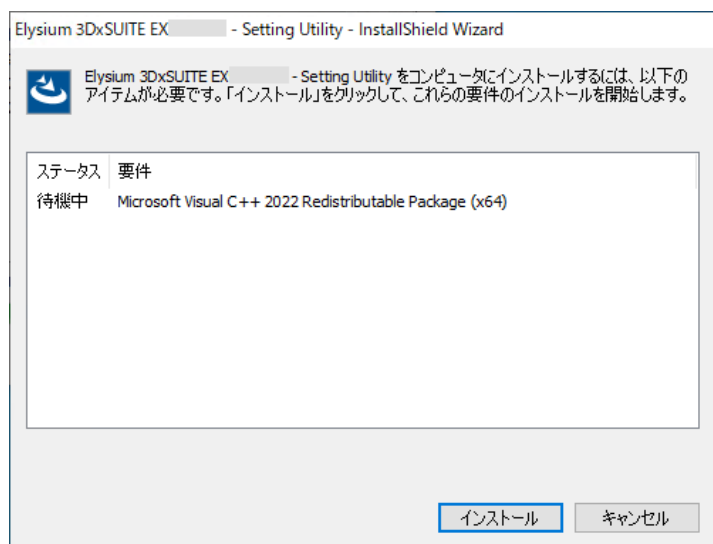


4. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

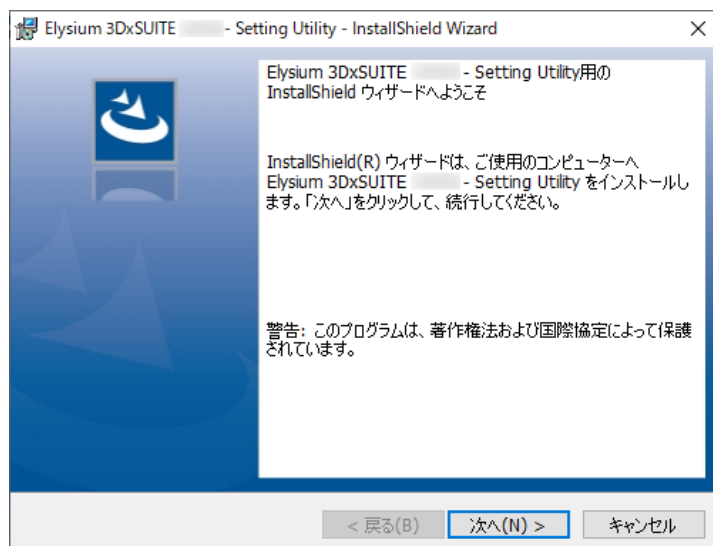
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



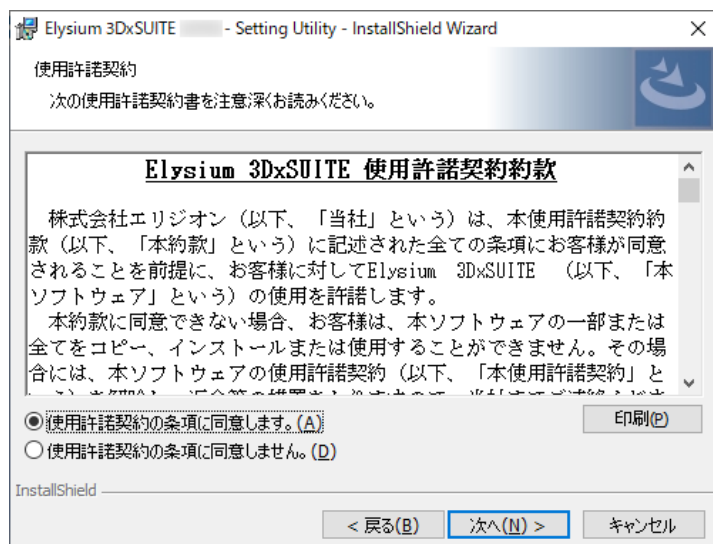
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



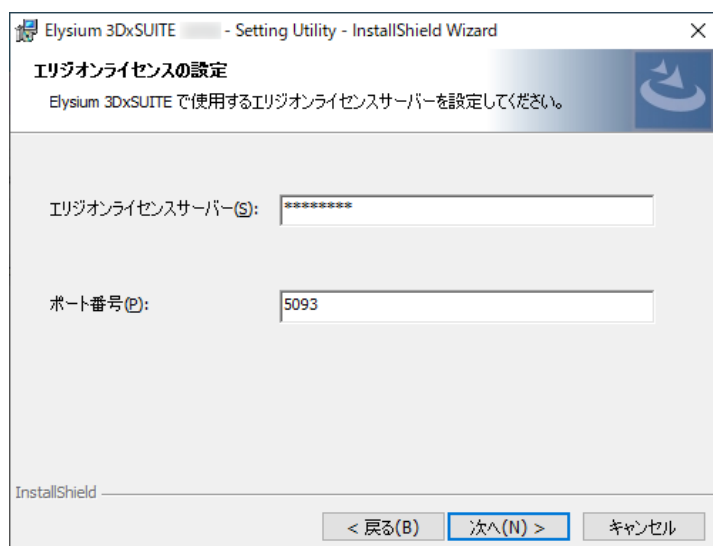
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



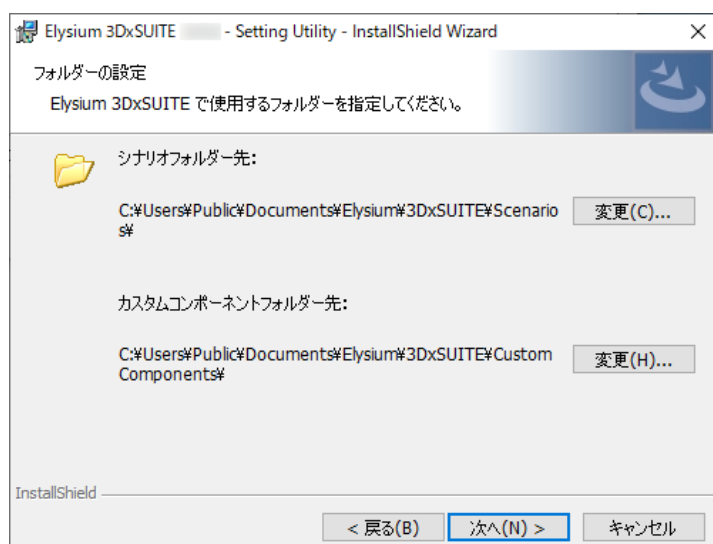
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



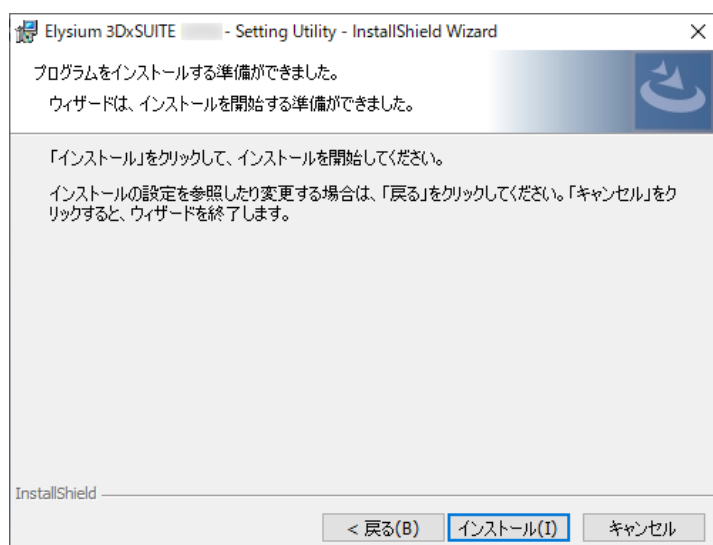
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



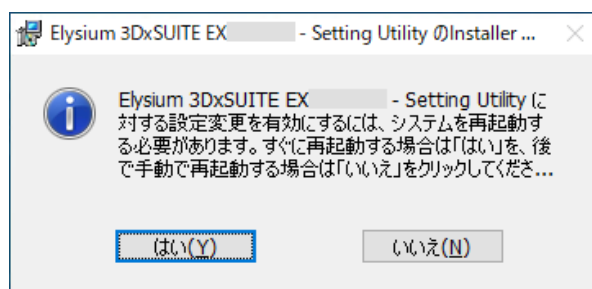
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



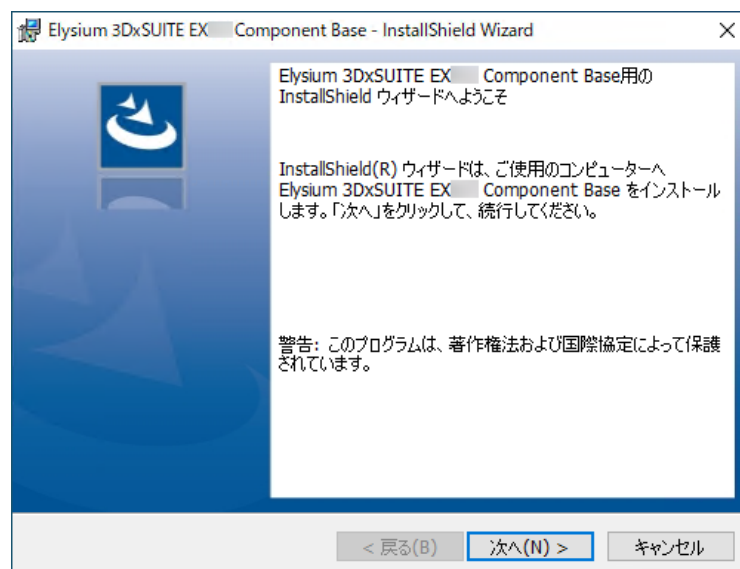
- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



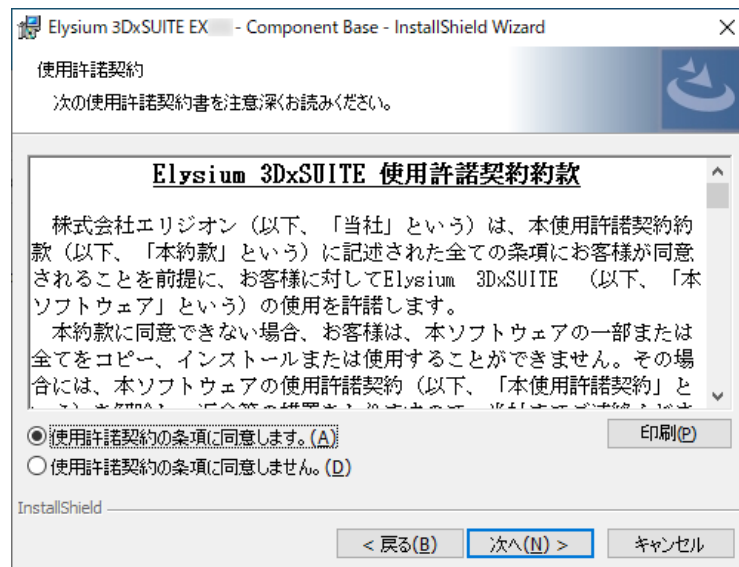
- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。



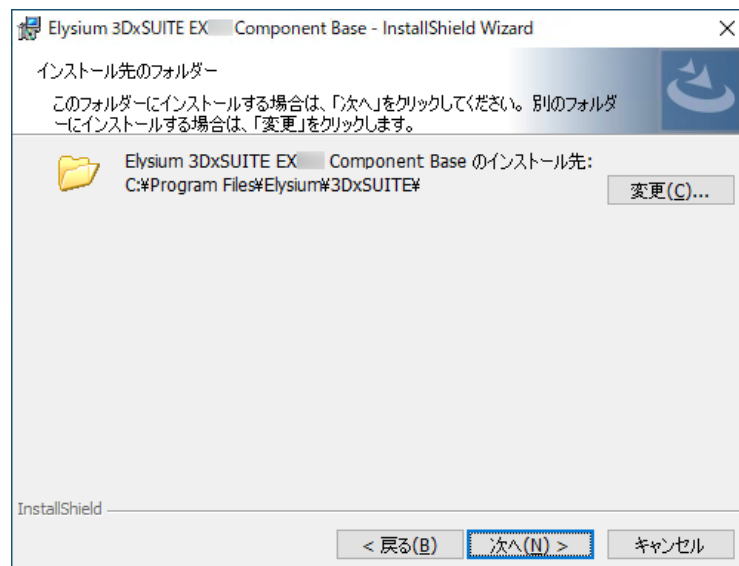
5. インストールウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。



6. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

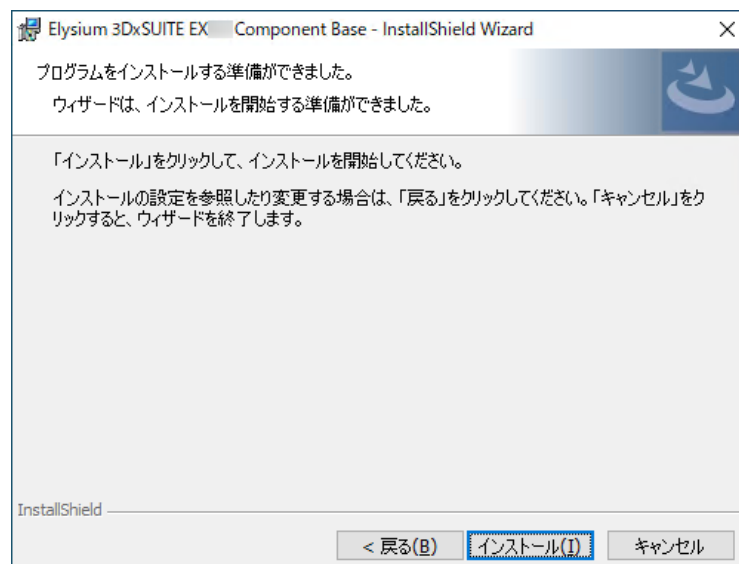


7. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ] をクリックします。



インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

8. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

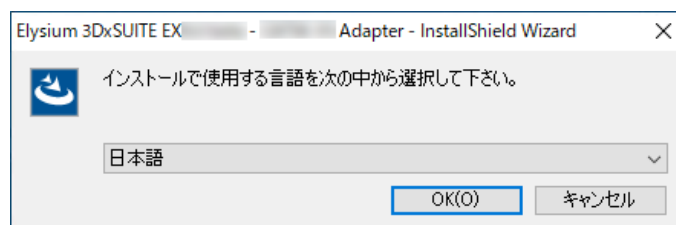


9. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックします。終了後に OS の再起動が必要になる場合があります。

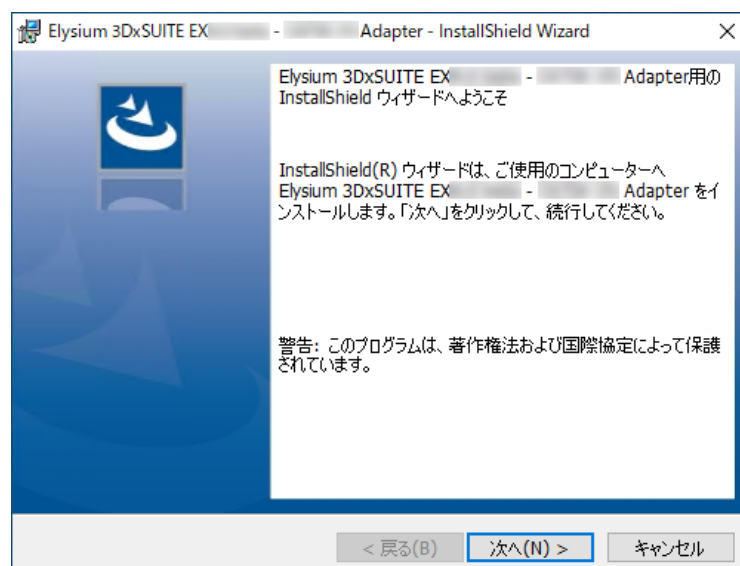


Adapter

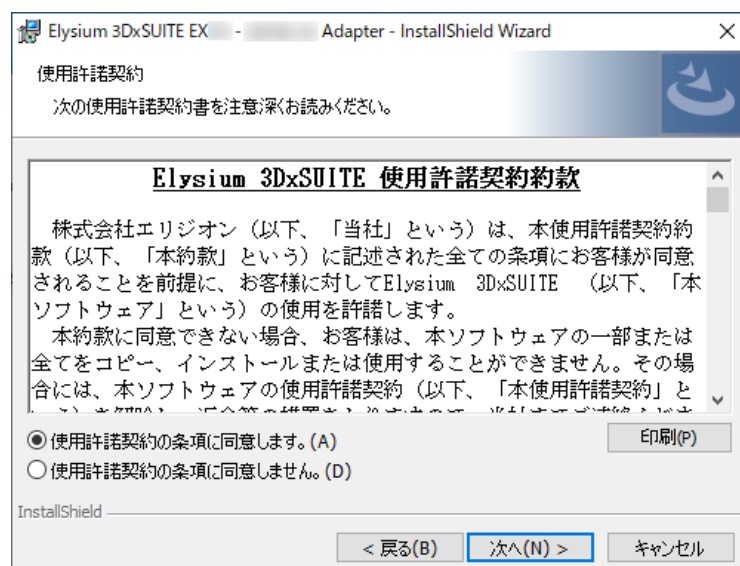
1. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



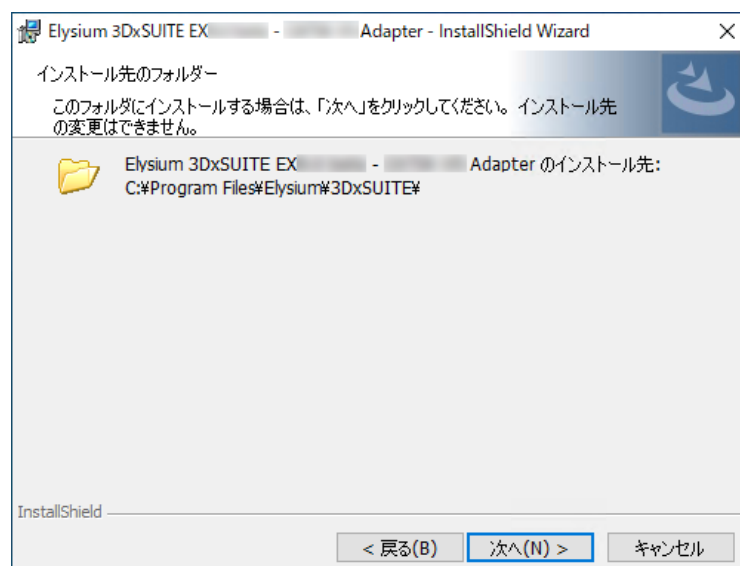
2. インストールウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。



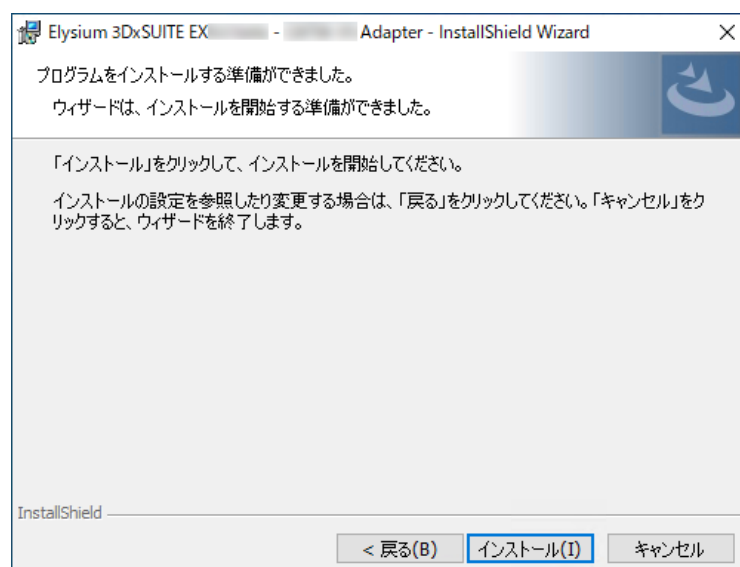
3. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



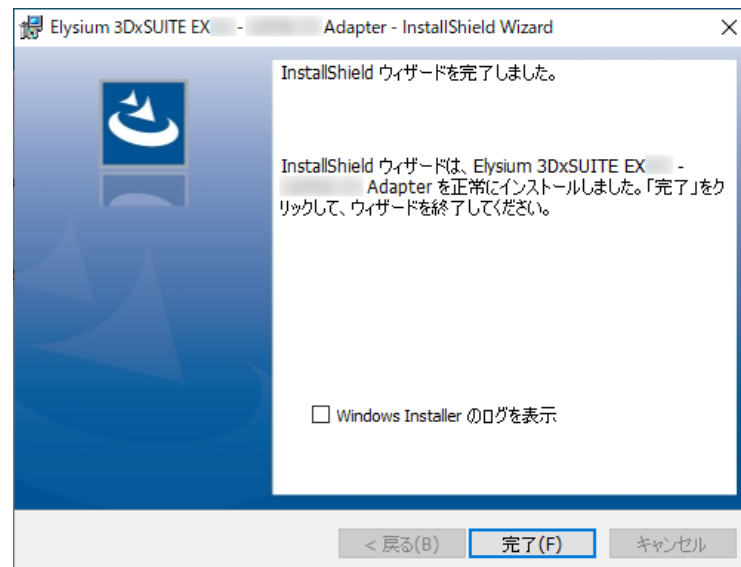
4. インストール先のフォルダーが表示されます。3DxSUITE Component Base で指定したフォルダーにインストールされるため、変更はできません。[次へ] をクリックします。



5. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



6. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックします。終了後に OS の再起動が必要になる場合があります。



2.1.3. サイレントインストール

統合インストーラーの場合

管理者として実行したコマンドプロンプトからオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、Components をユーザーの入力を必要とせずにインストールすることができます。

- インストーラー "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" は以下のパスにあります。
 - <3DxSUITE Components パッケージ>\
- コマンドの形式は以下の通りです。
 - 完全インストール (改行は不要)

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /silent  
INSTALLDIR=<任意のフォルダーパス> ELY_SEC_SERVER=<ホスト名>  
ELY_SEC_PORT=<ポート番号>
```

- カスタムインストール (改行は不要)

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /silent  
INSTALLDIR=<任意のフォルダーパス> ELY_SEC_SERVER=<ホスト名>  
ELY_SEC_PORT=<ポート番号> ISFeatureInstall=<インストールするコンポーネント>
```

指定可能なオプションは以下の通りです。

- INSTALLDIR

説明	インストールフォルダーを指定します。
指定可能な値	任意のフォルダーパス

デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	-

- ELY_SEC_SERVER

説明	ライセンスサーバーのホスト名を指定します。
指定可能な値	任意の文字列
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	-

- ELY_SEC_PORT

説明	ライセンスサーバーのポート番号を指定します。
指定可能な値	任意の数字
デフォルト値	5093
備考	-

- /debuglog

説明	インストーラーログを書き出すパスを指定します。本オプションを指定するとログが書き出されます。このオプションはサイレントインストール以外の場合でも使用できます。
指定可能な値	ログファイルのパス ("/debuglog" との間にスペースを入れないで、パスをダブルクォーテーションで囲って指定してください)
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	<p>実行例は以下の通りです。</p> <pre>Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /debuglog"C:\temp\components.log"</pre>

- ISFeatureInstall

説明	インストールするコンポーネントおよび Utility Tool を指定します。
指定可能な値	インストールするコンポーネントおよび Utility Tool を示す文字列 (複数指定可、コンマ区切り)
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	このオプションを指定しない場合にはすべてのコンポーネントと Utility Tool がインストールされます。



下記の "SETTING_COMMON_DATA_FOLDER"、"SETTING_CATEGORY"、
"SETTING_SL_DATA_FOLDER" は、3 つのパラメーターがすべて設定されてい
るときのみ有効なパラメーターになります。

- SETTING_COMMON_DATA_FOLDER

説明	本オプションでフォルダーを指定すると、指定フォルダー内のファイル (preference.json および user_environment.bat) がコピーされます。コピー先は下記の "SETTING_CATEGORY" オプションで指定します。
指定可能な値	任意のフォルダーパス
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	-

- SETTING_CATEGORY

説明	上記 "SETTING_COMMON_DATA_FOLDER" オプションを指定した際にコピーされるファイルの保存先を指定します。
指定可能な値	UserCommon もしくは LocalUser
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	<p>UserCommon を指定すると、ファイルは以下に保存されます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> %PUBLIC%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\Common </div> <p>LocalUser を指定すると、ファイルは以下に保存されます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> %LOCALAPPDATA%\Elysium\3DxSUITE\Config\Common </div>

- SETTING_SL_DATA_FOLDER

説明	本オプションで指定されたフォルダー内にあるファイル (sl_preference_v1.json) が、インストール対象のコンピューターにコピーされます。
指定可能な値	任意のフォルダーパス
デフォルト値	指定なし (空文字列)
備考	<p>ファイルは以下に保存されます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> %LOCALAPPDATA%\Elysium\3DxSUITE\Config\SmartLauncher </div>

コンポーネントおよび Utility Tool に対応する設定用文字列は以下の通りです。CB および SLB は

必ず指定してください。インストールするコンポーネント間で共通する設定用文字列がある場合、その文字列は1度だけ指定してください。(コマンドの例を参照してください)

コンポーネントおよび Utility Tool	設定用文字列
3DxSUITE Component Base	CB
3DxSUITE SmartLauncher Base	SLB
ScenarioEditor	SE
3DEXPERIENCE Adapter	DEXP
SmartLauncher (3DEXPERIENCE Plug-in)	DEXP,DEX_SL
CATIA V5 (Plug-in) Adapter	V5P
SmartLauncher (CATIA V5 Plug-in)	V5P,V5_SL
Creo Elements/Direct Adapter	CREDP
Creo Parametric (Plug-in) Adapter	CRPP
SmartLauncher (Creo Parametric Plug-in)	CRPP,CRP_SL
Inventor Adapter	AIP
NX (Plug-in) Adapter	NXP
SmartLauncher (NX Plug-in)	NXP,NX_SL
NX I-deas Adapter	IDEP
SOLIDWORKS Adapter	SWP
SmartLauncher (SOLIDWORKS Plug-in)	SWP,SW_SL
3D PDF Adapter	PDFS
3DXML Adapter	XMLS
ACIS Adapter	ACISS
CADmeister Adapter	CDMS
CATIA V4 Adapter	V4S
CATIA V5 (Standalone) Adapter	V5S
Creo Parametric(Standalone) Adapter	CRPS
Creo View Adapter	CVS
iCAD Adapter	ICADS
IGES Adapter	IGESS
JT Adapter	JTS
Nastran Adapter	NSTRS
NX (Standalone) Adapter	NXS

コンポーネントおよび Utility Tool	設定用文字列
OBJ Adapter	OBJS
Parasolid Adapter	PARS
PLM XML Adapter	PLXMS
PointCloud Adapter	POCLS
QIF Adapter	QIFS
Solid Edge Adapter	SEP
STEP Adapter	STPS
STEP BOM Adapter	STPBS
STL Adapter	STLS
VRML Adapter	VRMLS
XPDMXML Adapter	XPDXMS
XVL Adapter	XVLS

コマンドの例:

- 完全インストール (改行は不要)

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /silent INSTALLDIR="C:\\Program Files\\Elysium\\Components" ELY_SEC_SERVER=Sever ELY_SEC_PORT=5093
```

- カスタムインストール (改行は不要)

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /silent INSTALLDIR="C:\\Program Files\\Elysium\\Components" ELY_SEC_SERVER=Sever ELY_SEC_PORT=5093 ISFeatureInstall=CB,SLB,V5P,V5_SL,STPS
```

個別の Component インストーラーの場合

管理者として実行したコマンドプロンプトからオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、各 Component をユーザーの入力を必要とせずにインストールすることができます。

- 各 Component のインストーラーは以下のパスにあります。
 - <3DxSUITE Components パッケージ>\\<Component 名>
- コマンド例は以下の通りです。ここでは 3D PDF Adapter を例として記載していますが、他の Component についても同様です。

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_3D_PDF_Adapter.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意



3DxSUITE Component Base インストーラーをサイレントインストールで実行した場合、処理の終了後に OS が再起動される場合があります。ご注意ください。

2.2. アンインストール手順



アンインストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

2.2.1. 手動アンインストール

統合インストーラーでインストールした場合

1. Windows の [スタート] メニューから [設定] を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Components" を選択して、アンインストールを実行します。

個別の Component インストーラーでインストールした場合



以下は 3D PDF Adapter を例として記載していますが、他の Component も同様です。

1. Windows の [スタート] メニューから [設定] を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - 3D PDF Adapter" を選択して、アンインストールを実行します。

2.2.2. サイレントアンインストール

統合インストーラーでインストールした場合

管理者として実行したコマンドプロンプトから以下の通りオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、Components をユーザーの入力を必要とせずアンインストールすることができます。

コマンドの例:

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe /silent /remove
```



"/debuglog" オプションを指定することもできます。オプションの詳細については、[こちら](#) を参照してください。

個別の Component インストーラーでインストールした場合

管理者として実行したコマンドプロンプトから以下の通りオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、各 Component をユーザーの入力を必要とせずにアンインストールすることができます。

- コマンド例は以下の通りです。ここでは 3D PDF Adapter を例として記載していますが、他の Component についても同様です。

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_3D_PDF_Adapter.exe /s /x /v"/l* \"C:\temp\ininstall.log\" /qn"
```

3. Elysium 3DxSUITE Viewer

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

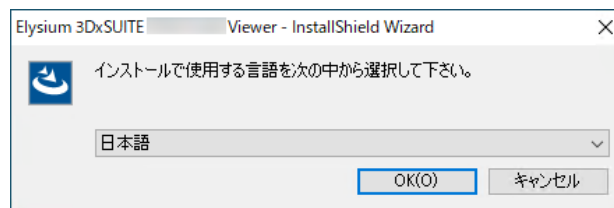
3.1. インストール手順



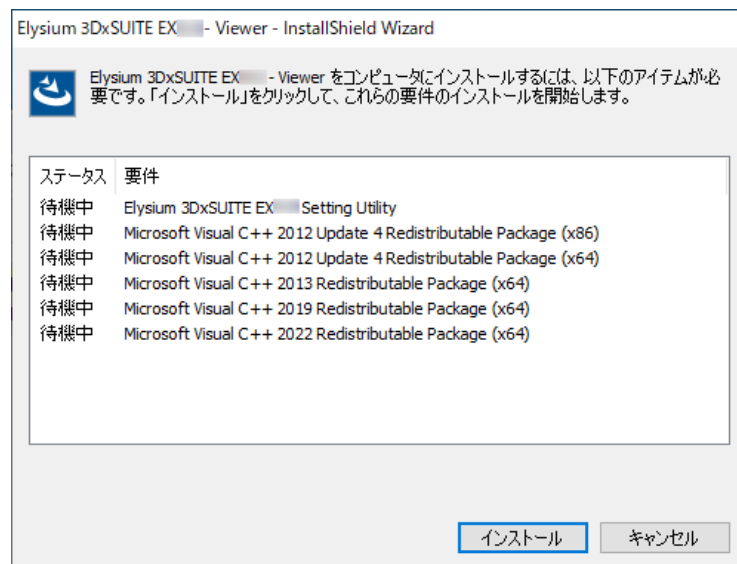
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

3.1.1. 手動インストール

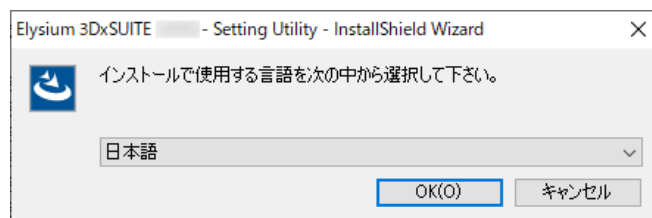
- Viewer のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Viewer パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
- インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



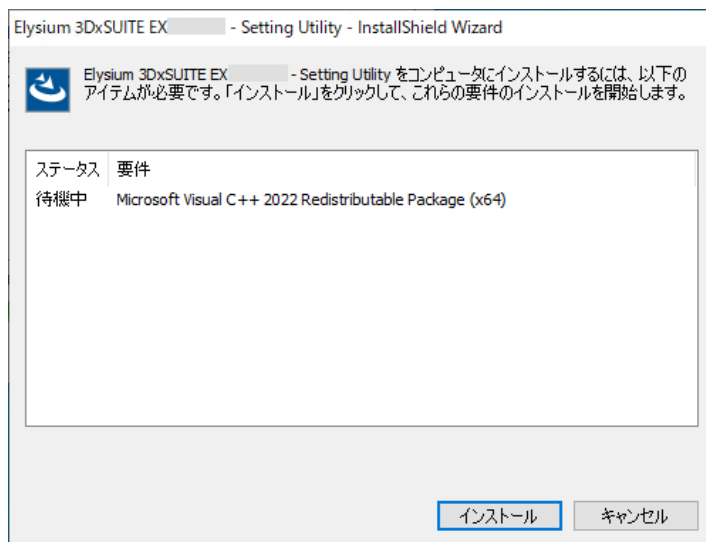
- このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックしてインストールを行います。(すでにインストールされている環境では、このダイアログは表示されません。)



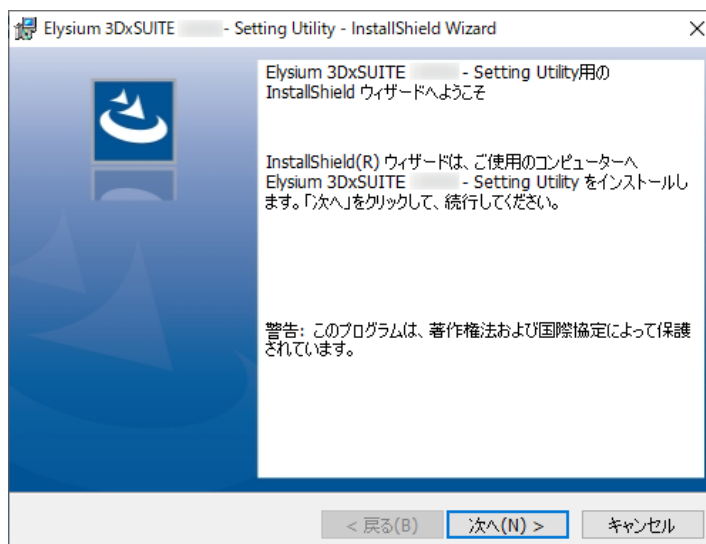
- Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。
 - インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



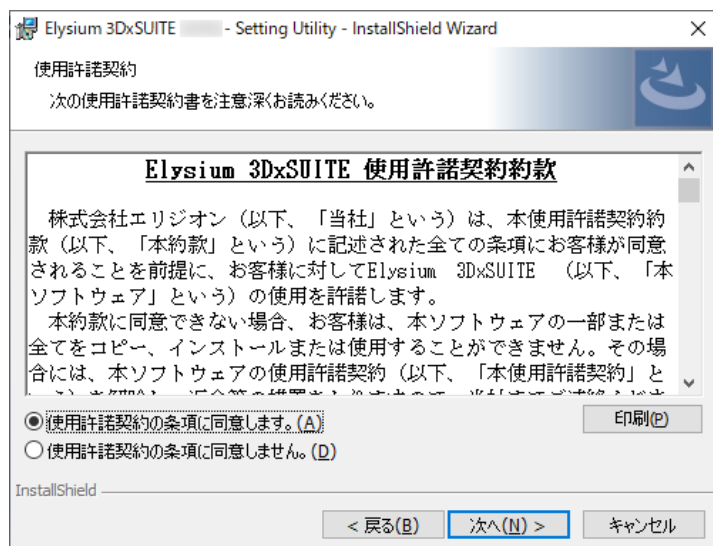
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



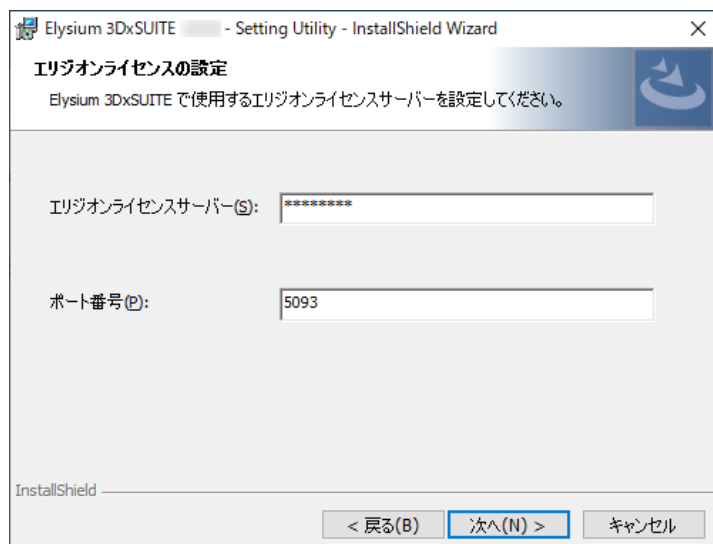
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



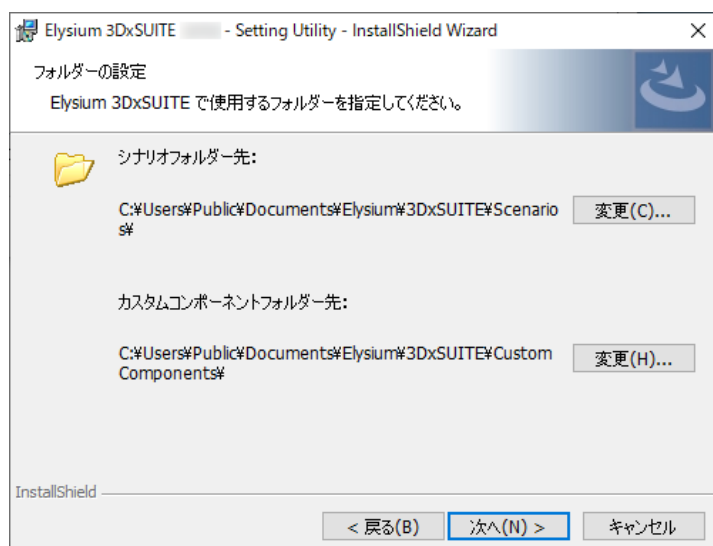
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



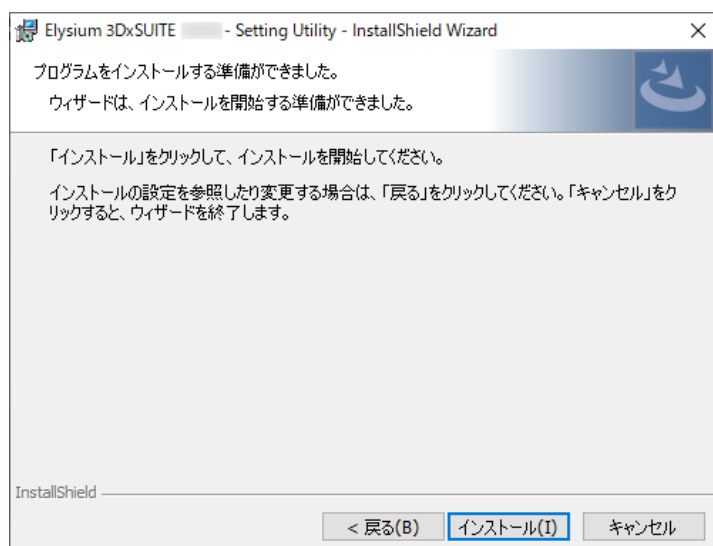
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



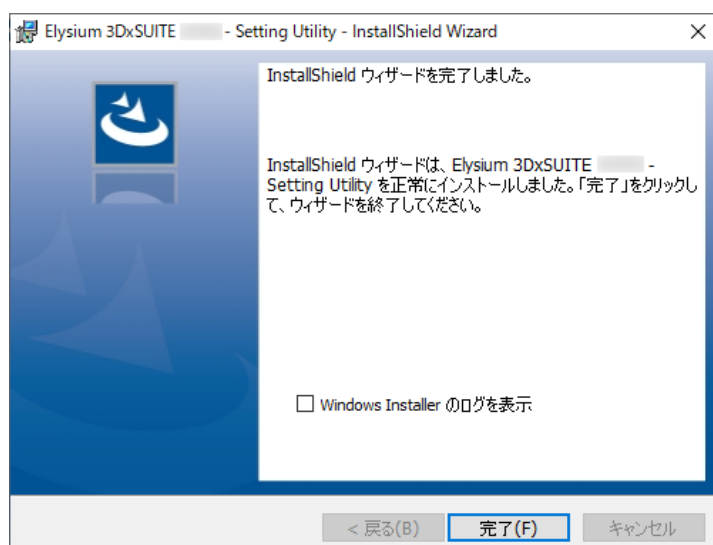
- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



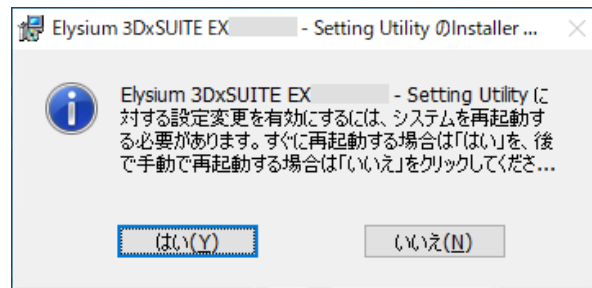
g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



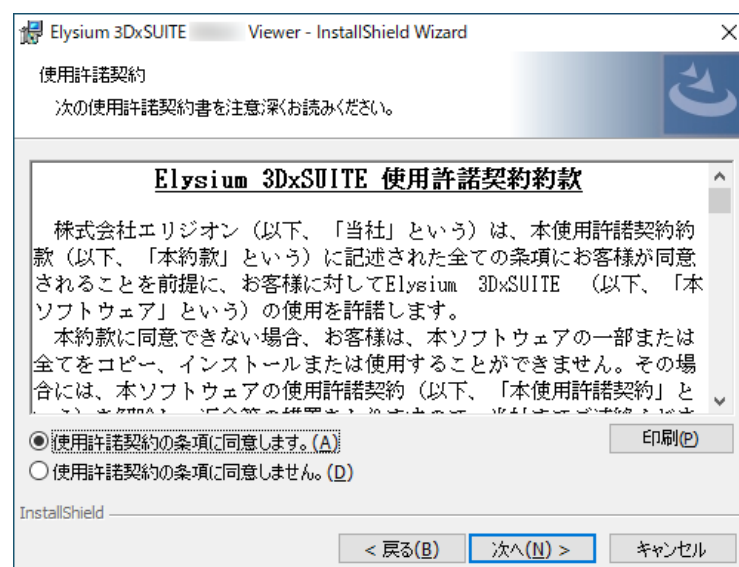
- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。



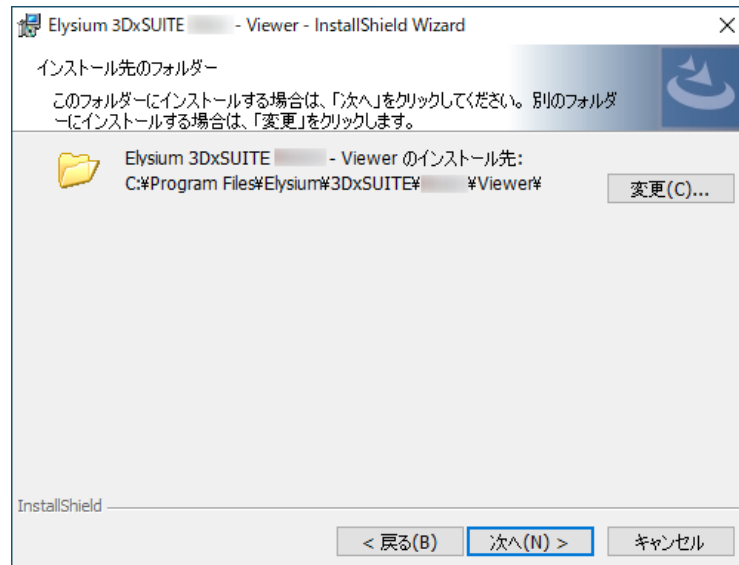
5. Viewer のインストールウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。



6. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択してから [次へ] をクリックします。

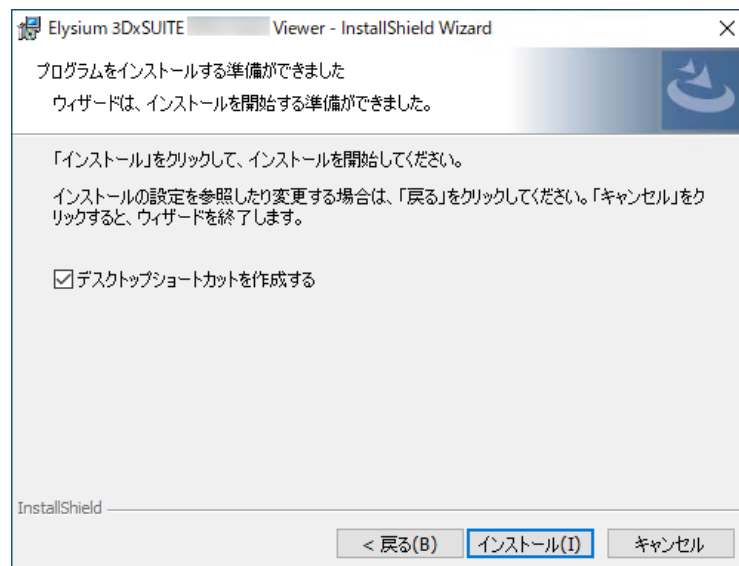


7. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ] をクリックします。

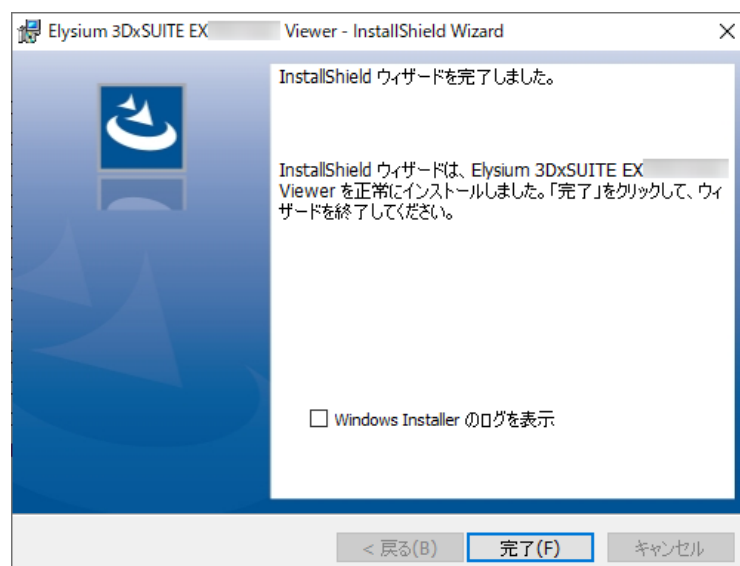


インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

8. 以下のダイアログが表示されます。デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外します。[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



9. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてダイアログを閉じます。



3.1.2. サイレントインストール

コマンドにて Viewer の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明をご参照ください。

- コマンド例

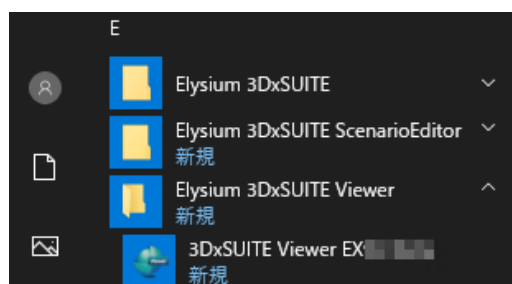
```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\"
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\Viewer\" /qn"
```

サイレントインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • /l* "\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

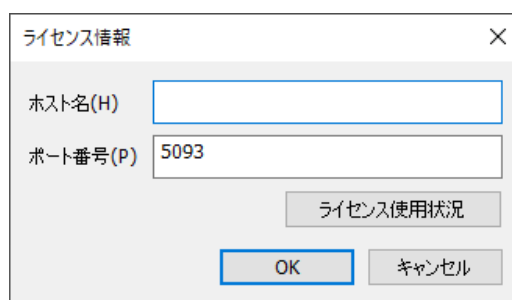
3.2. 起動手順

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE Viewer] - [3DxSUITE Viewer EX9.1] を選択します。



3.2.1. ライセンス設定

インストール後、初めて Viewer を起動する時にライセンス設定のダイアログが表示される場合があります。次回起動時からは、このダイアログは表示されません。なお本ダイアログは Viewer 起動後に [ヘルプ] - [ライセンス情報] を選択して開くこともできます。



[ライセンス使用状況] をクリックするとライセンスの使用状況を確認することができます。



- ライセンス情報ダイアログで初期値を変更して [OK] をクリックした場合、Viewer を利用する全ユーザー共通の設定としてライセンス情報が保存されます。その場合、後で 3DxSUITE 設定からライセンスに関する設定を変更しても、Viewer のライセンス情報は変更されません。
- ライセンス情報ダイアログで初期値を変更しても [OK] を一度もクリックしていない場合、3DxSUITE 設定に設定されている内容を参照してライセンスを確保します。そのため 3DxSUITE 設定でライセンスに関する設定を変更すると、Viewer のライセンス情報も変更されます。

3.3. 終了手順

メニューの [ファイル] - [アプリケーションの終了] を選択するか、ウィンドウを閉じて終了してください。

3.4. アンインストール手順

3.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Viewer" を選択して、アンインストールを実行します。

3.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe /s /x /v"/l* "\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* "\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

4. Elysium 3DxSUITE Editor

事前にインストールする必要があるプログラム

- [Components](#)

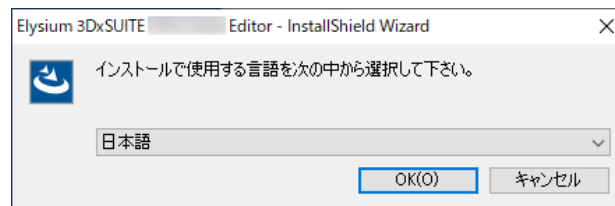
4.1. インストール手順



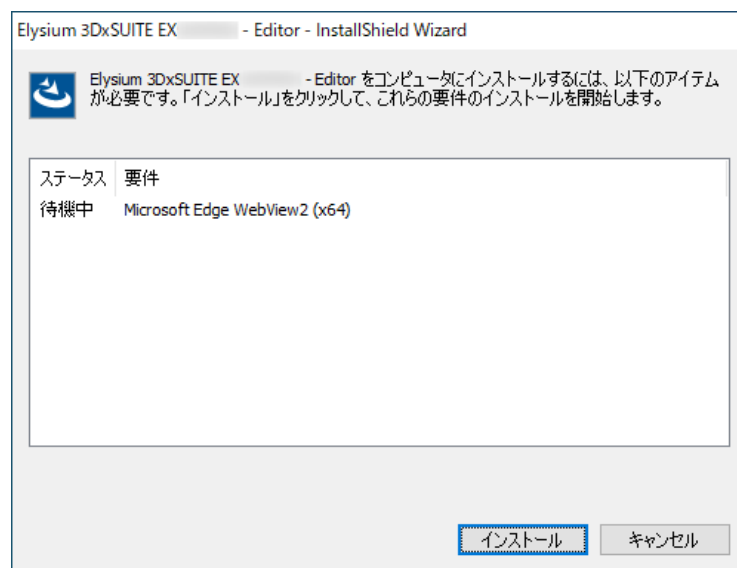
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。
事前にインストールする必要があるプログラムがインストールされていない場合、
実行が中止されます。

4.1.1. 手動インストール

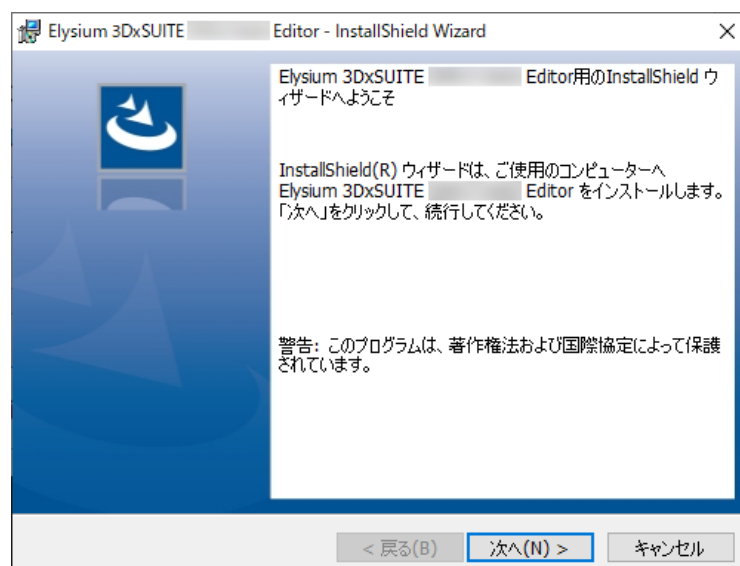
1. Editor のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Editor パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



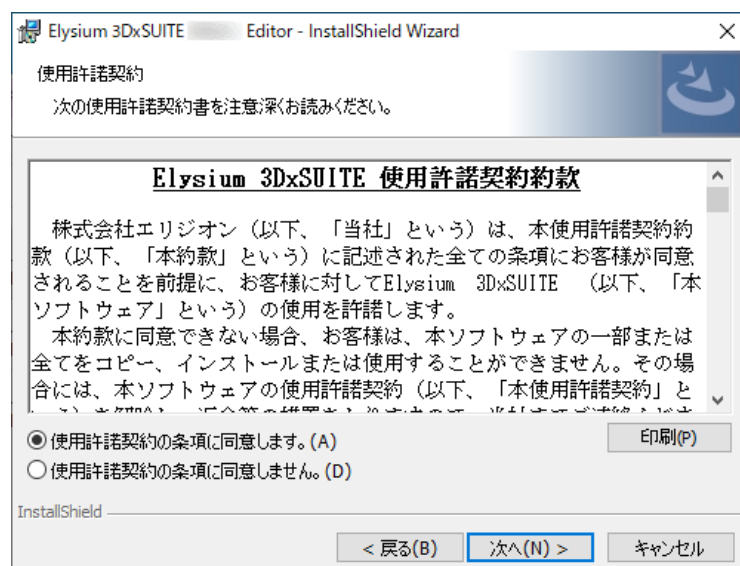
3. Microsoft Edge WebView2 がインストールされていない場合、以下の画面が表示されるので [インストール] をクリックします。すでにインストールされている場合は次の手順へ進んでください。



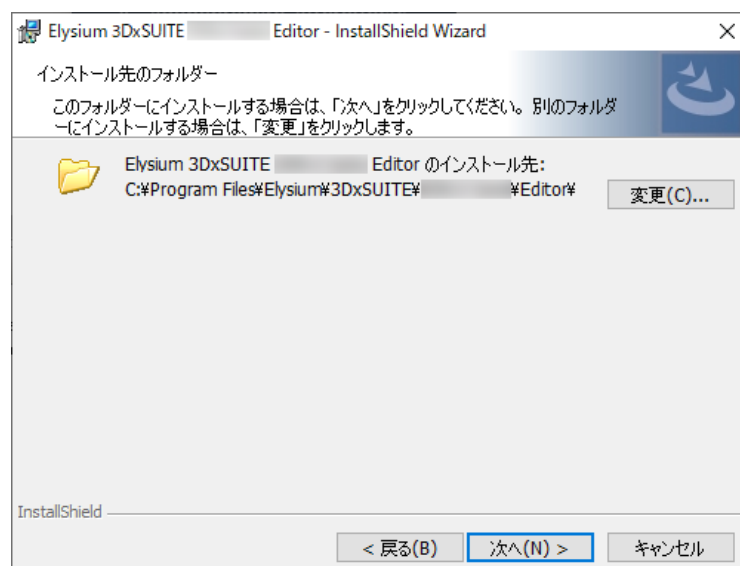
4. Editor のセットアップ画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



5. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

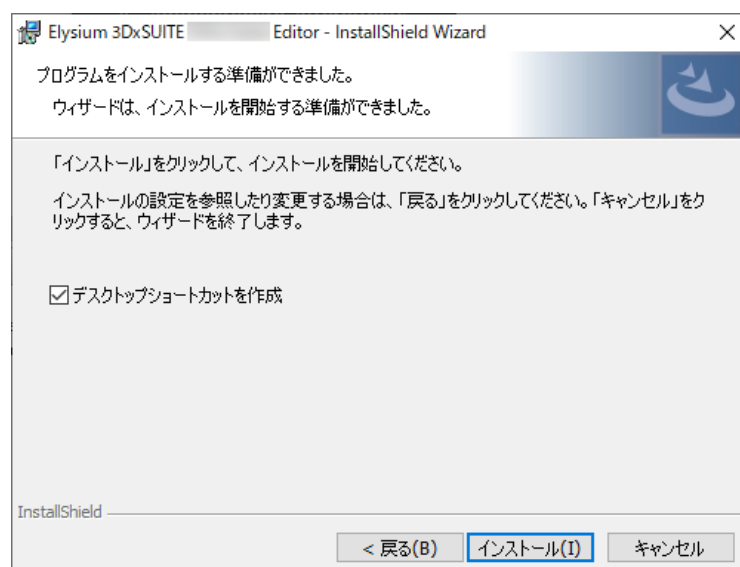


6. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ] をクリックします。

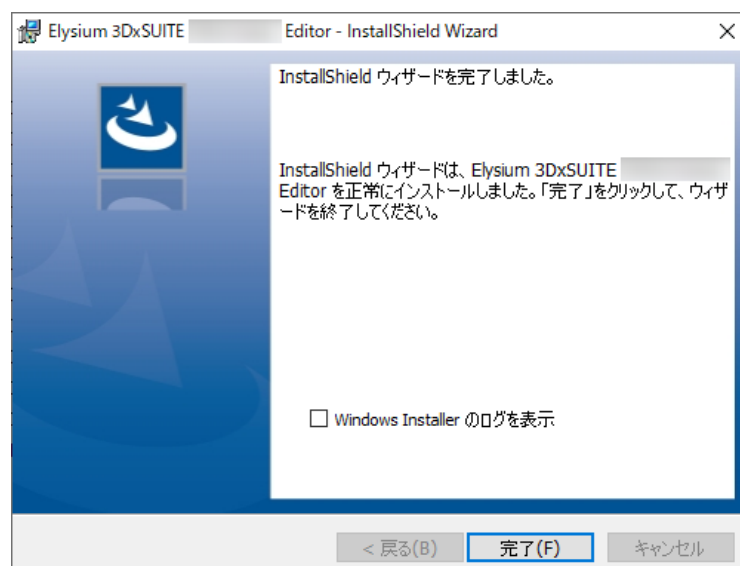


インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

7. 以下のダイアログが表示されます。デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外した上で、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



8. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてダイアログを閉じます。



4.1.2. サイレントインストール

コマンドを実行して UI を表示せずに Editor の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明を参照してください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\"
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\Editor\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

4.1.3. CADmeister 独立型入出力オプション

CADmeister 独立型入出力オプションを使用するには、<3DxSUITE Module for CADmeister パッケージ> 内の CRESTAM フォルダーを、Components をインストールしたドライブのルートフォルダーにコピーします。(例: C:\CRESTAM)

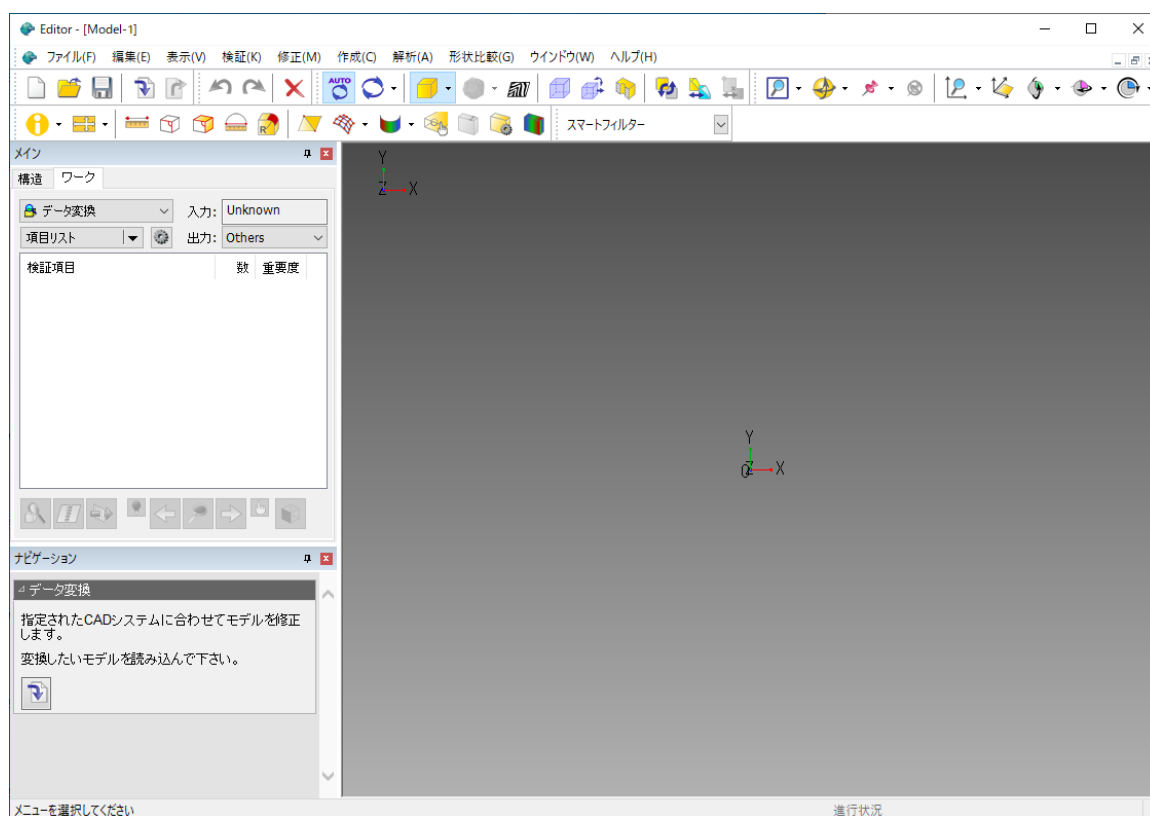


3DxSUITE EX9.0 以前の CRESTAM フォルダーと、Editor EX9.1 および Components EX9.1 を組み合わせて使用することはできません。3DxSUITE EX9.1 の CRESTAM フォルダーと Editor EX9.1 および Components EX9.1 を組み合わせてご利用ください。

なお、複数のバージョンの Editor でそれぞれ CADmeister 独立型入出力オプションを使用したい場合は、各バージョンの Components を別々のドライブに導入し、それらのドライブのルートに対応する CRESTAM フォルダーを配置する必要があります。

4.2. 起動手順

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE Editor] - [3DxSUITE Editor EX9.1] を選択し、Editor を起動してください。



Editor を最初に起動する前に 3DxSUITE 設定を起動し、入出力する CAD に関する設定を実施しておくことを推奨します。

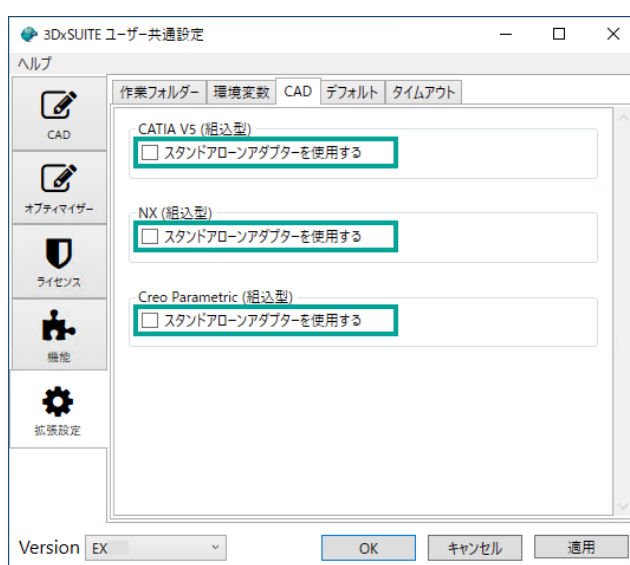


3DxSUITE 設定は、Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ユーザー共通設定] または [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ローカルユーザー設定] を選択することで起動します。

以下の CAD 形式のファイルを Editor にドラッグ＆ドロップした場合、既定の設定では Plug-in Adapter が使用されます。

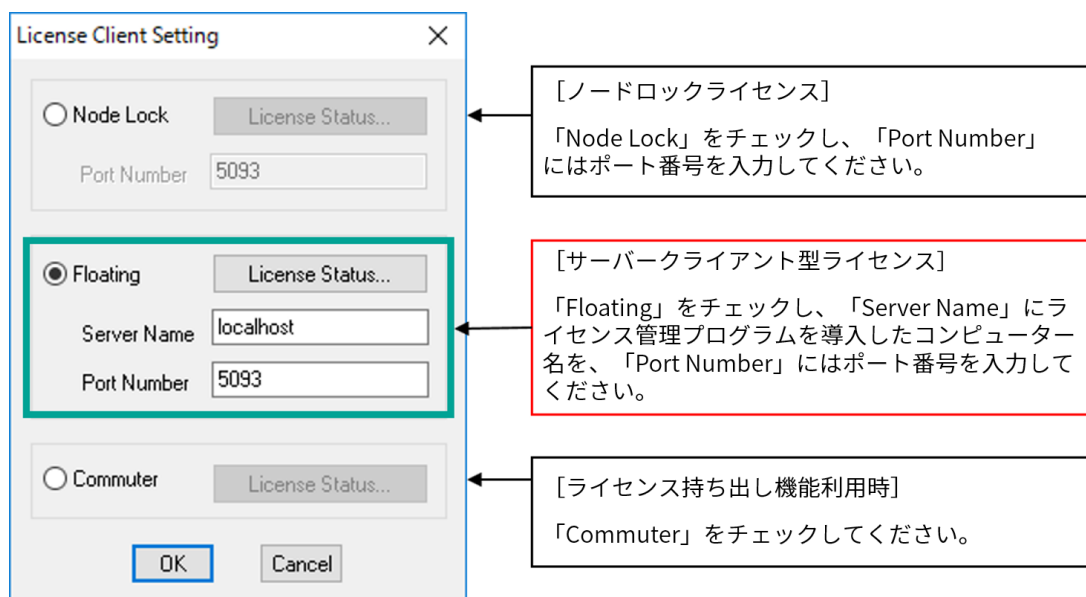
- CATIA V5
- NX
- Creo Parametric

このため Plug-in Adapter のライセンスを保有していない場合にはライセンスに関するエラーが発生します。これらの CAD 形式のファイルをドラッグ＆ドロップした際に Plug-in Adapter ではなく Standalone Adapter が使用されるようにするためには、"3DxSUITE 設定" で "スタンドアローンアダプターを使用する" をオンにしてください。



4.2.1. ライセンス設定

Editor 起動時にライセンス設定ダイアログが表示された場合には、サーバー名、ポート番号、およびライセンスの種類 (ノードロック / フローティング / コミューター) が正しく設定されているかを確認し、必要に応じて修正してください。



- [License Status] をクリックすることでライセンスの使用状況を確認することができます。
- ライセンスサーバーの詳細については別冊 "Sentinel RMS License Manager セットアップ&クイックスタートガイド" を参照してください。ドキュメントのパスは別冊 "Elysium 3DxSUITE: 製品概要" の 6 章に記載しています。



- License Client Setting ダイアログで初期値を変更して [OK] をクリックした場合、そのユーザーに個別の Editor 設定としてライセンス情報が保存されます。その場合、後で 3DxSUITE 設定からライセンスに関する設定を変更しても、Editor のライセンス情報は変更されません。
- License Client Setting ダイアログで初期値を変更しても [OK] を一度もクリックしていない場合、3DxSUITE 設定に設定されている内容を参照してライセンスを確保します。そのため 3DxSUITE 設定でライセンスに関する設定を変更すると、Editor のライセンス情報も変更されます。

4.3. 終了手順

メニューから [ファイル] - [アプリケーションの終了] を選択して終了してください。

4.4. アンインストール手順

4.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Editor" を選択して、アンインストールを実行します。

4.4.2. サイレントアンインストール

サイレントアンインストールを行うためのコマンドは以下の通りです。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。詳細については、以下のコマンド例とコマンド引数の説明を参照してください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe /s /x /v"/l* \"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

5. Elysium 3DxSUITE SmartLauncher

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

5.1. インストール手順



"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を用いて Components をインストールした場合、SmartLauncher も同時にインストールされます。この場合は、SmartLauncher を個別にインストールする必要はありません。

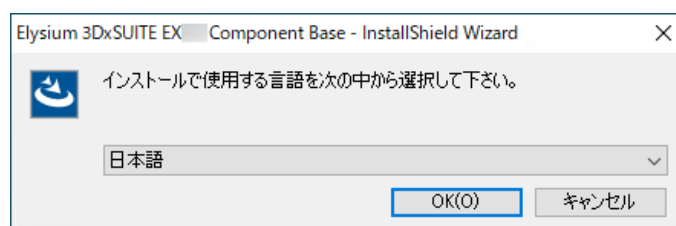
以下は、"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を用いずに、各コンポーネントと SmartLauncher を個別にインストールする場合の手順になります。



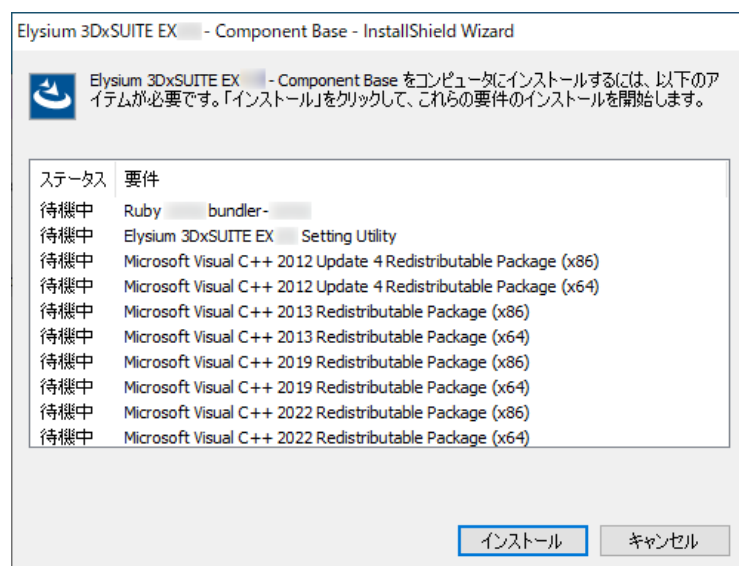
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

5.1.1. SmartLauncher (Standalone) の手動インストール

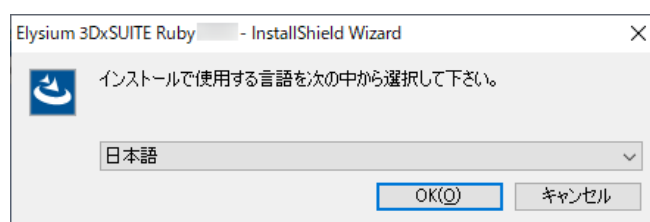
- 3DxSUITE Component Base のインストーラーを実行します。"3DxSUITE Component Base" をすでにインストールしている場合は "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe" を実行する手順に進んでください。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\Component_Base\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Component_Base.exe
- インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



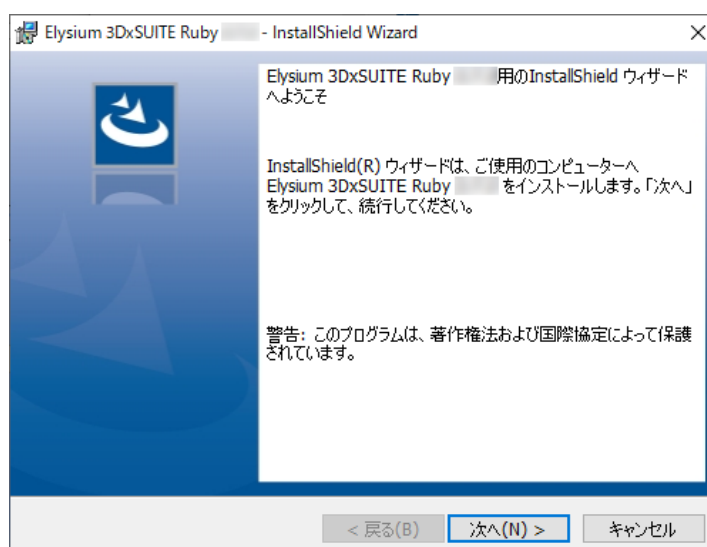
- このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックします。



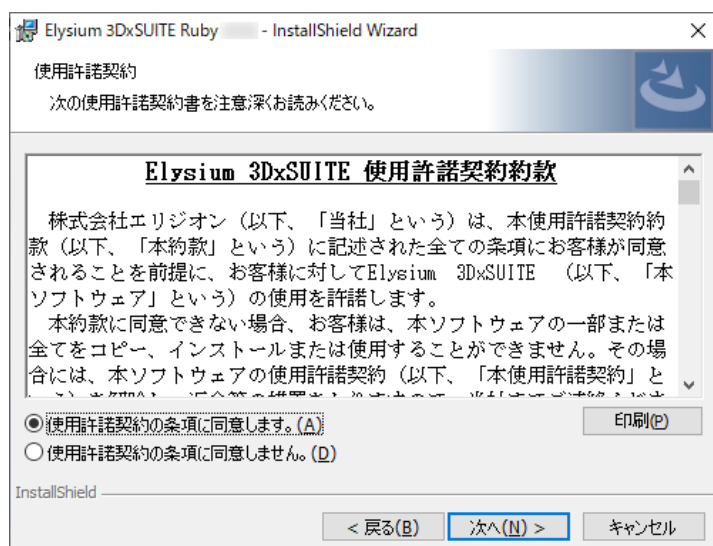
4. Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されていない環境の場合、Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、Elysium 3DxSUITE Ruby インストール後の手順へ進んでください。
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



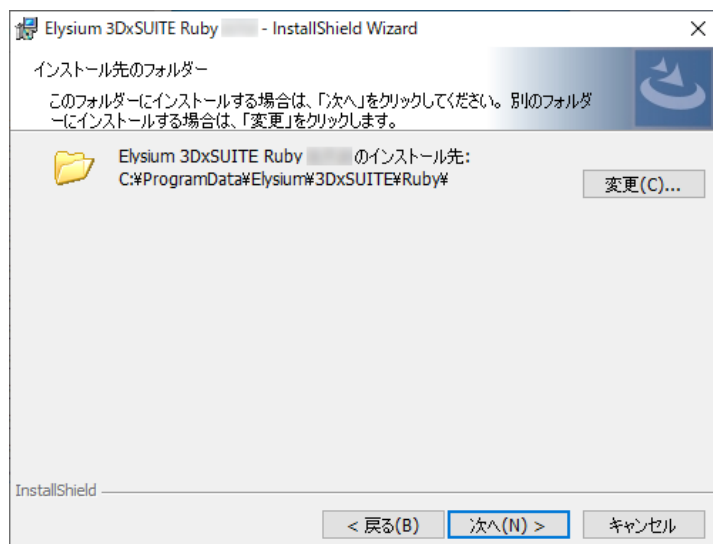
- b. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



- c. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。

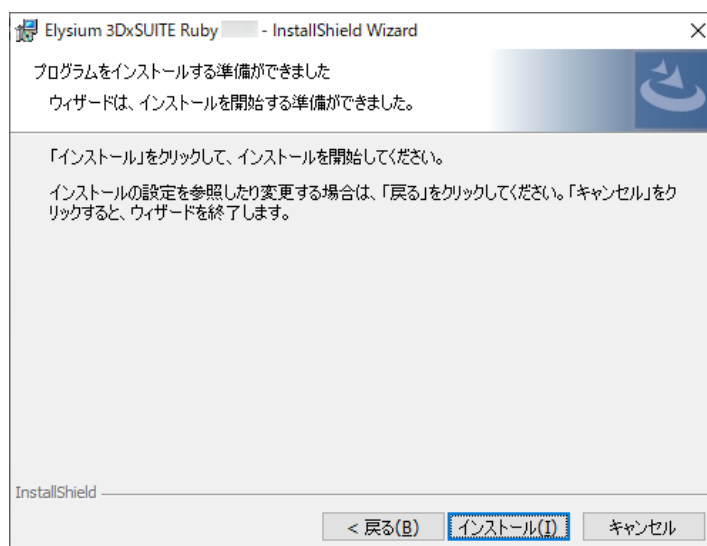


- d. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

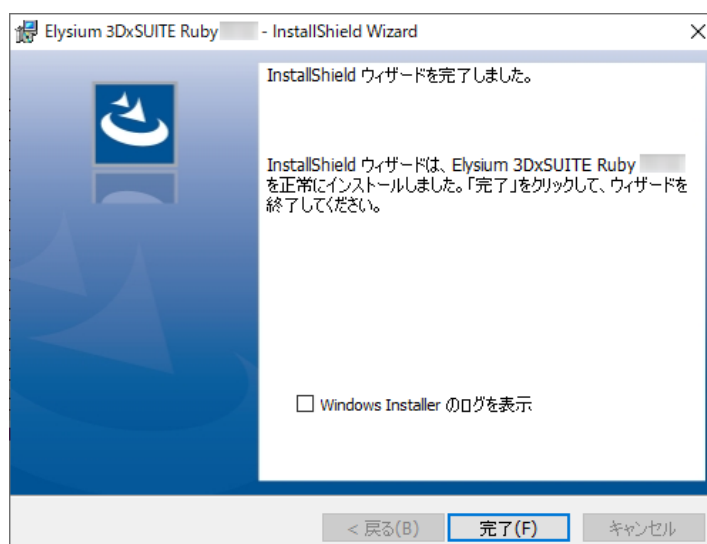


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

- e. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

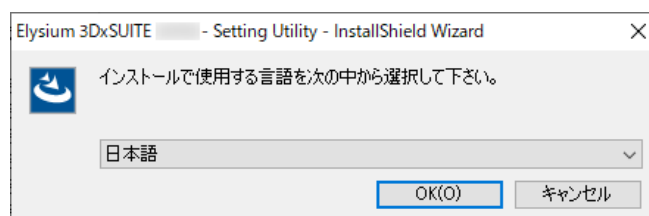


- f. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

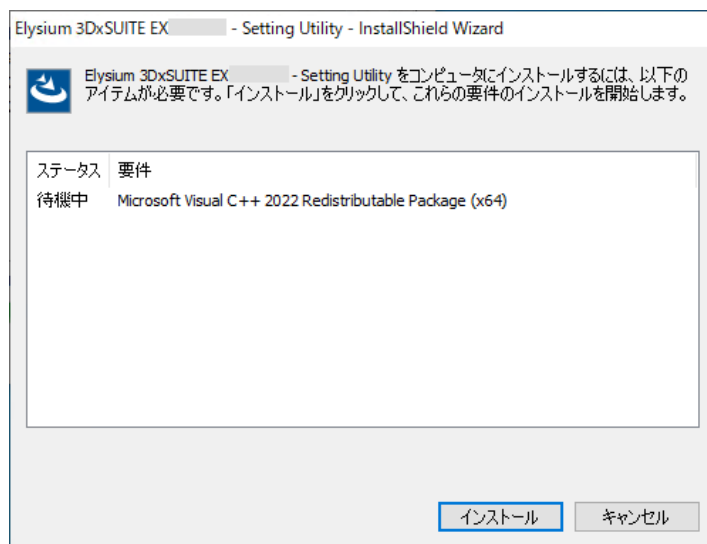


5. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

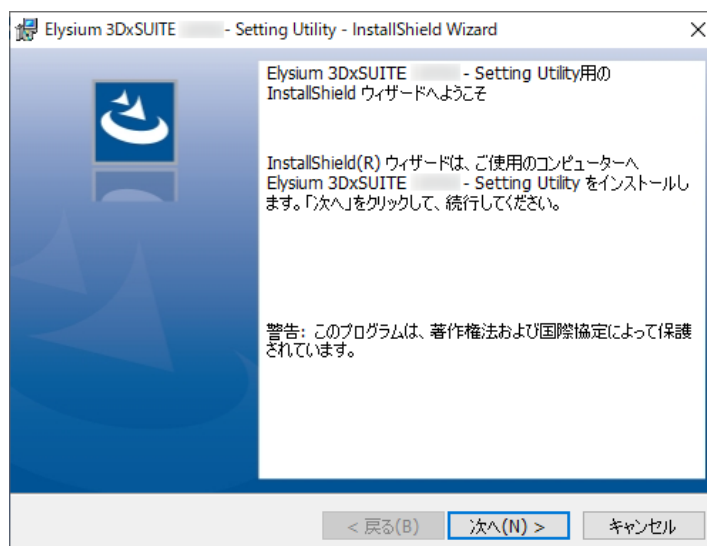
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



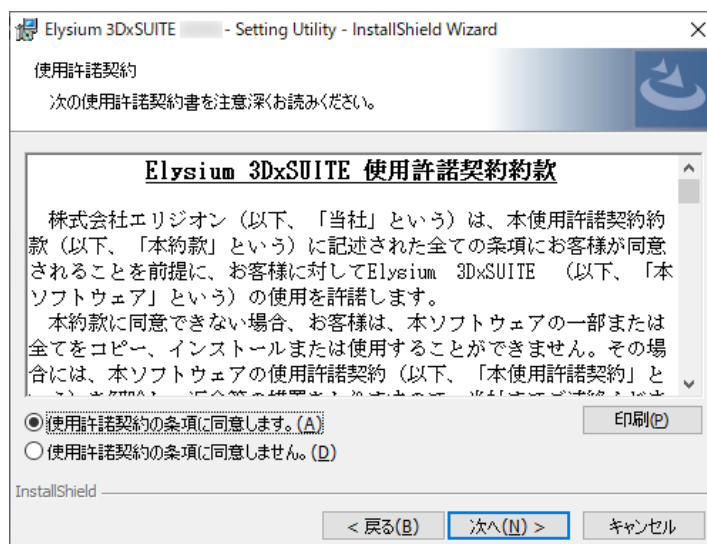
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



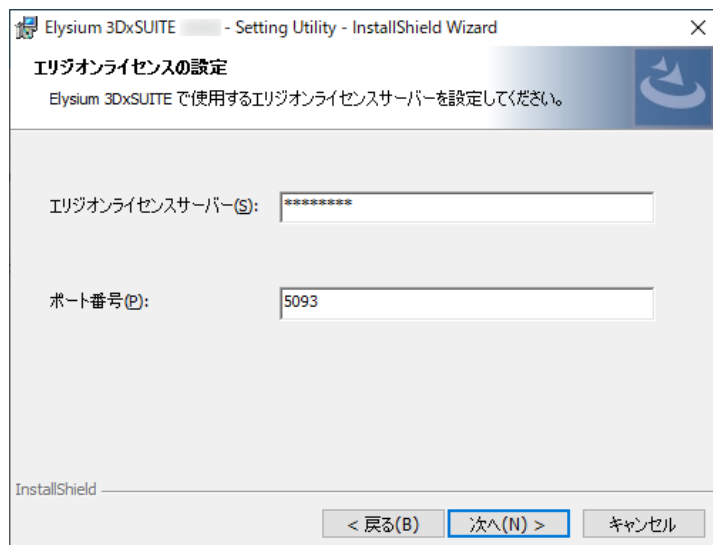
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



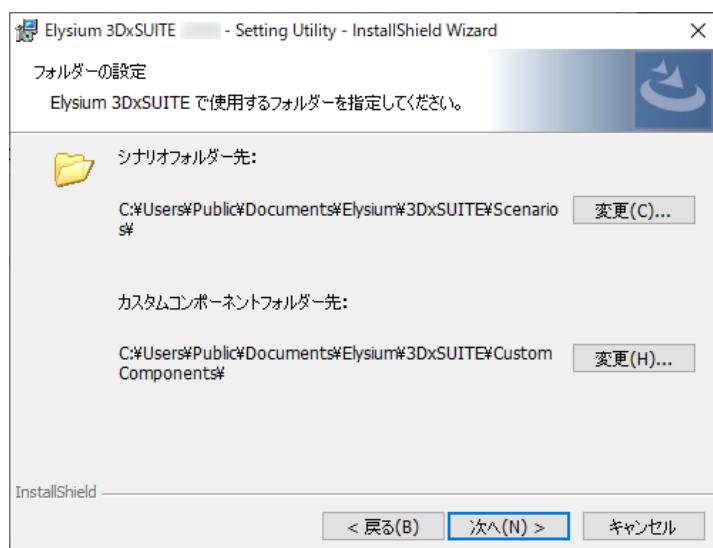
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



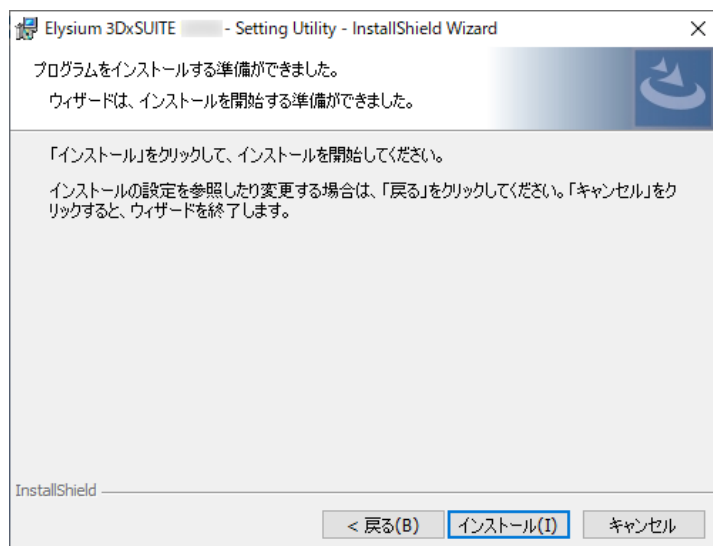
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



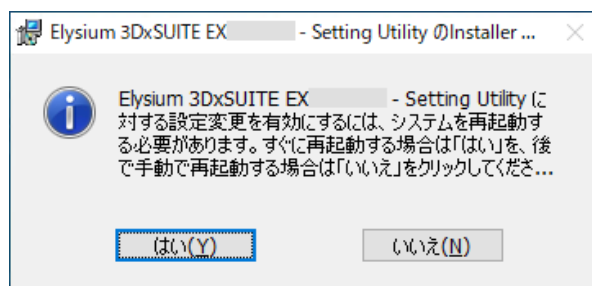
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



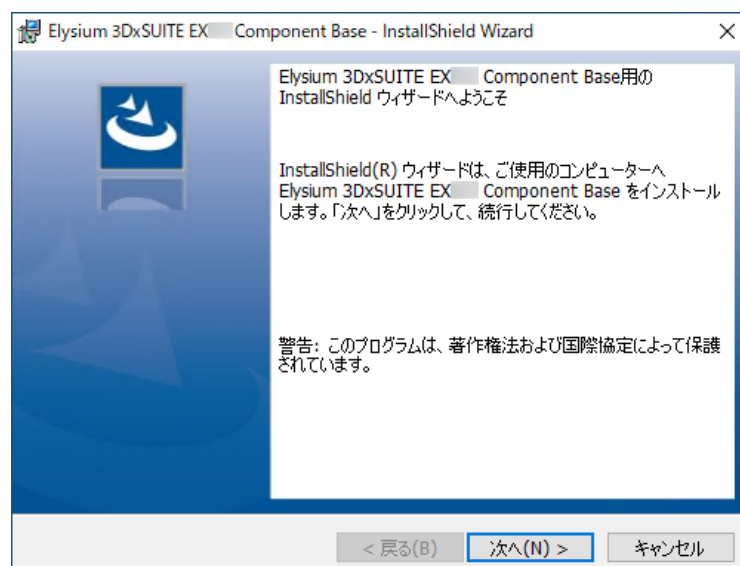
- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



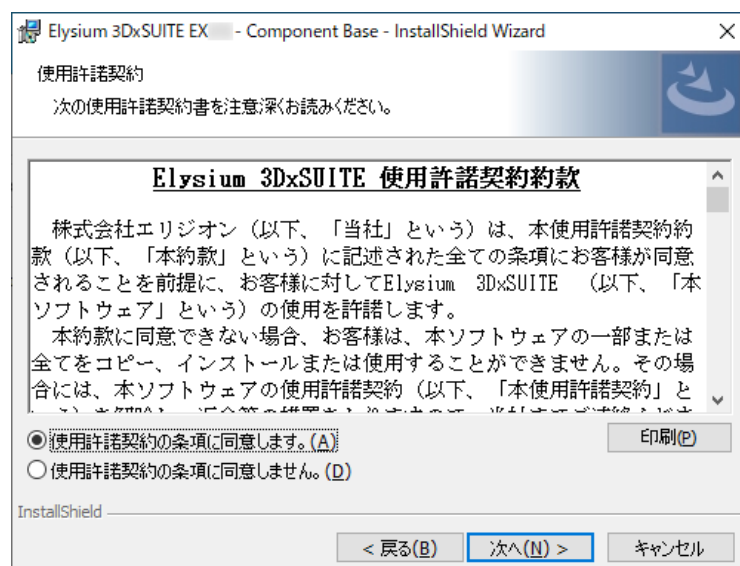
- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。



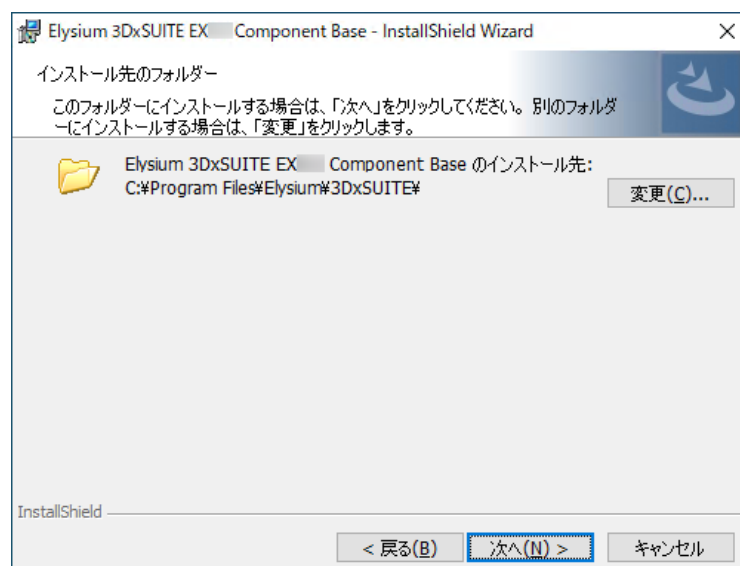
6. "3DxSUITE Component Base" のインストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



7. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

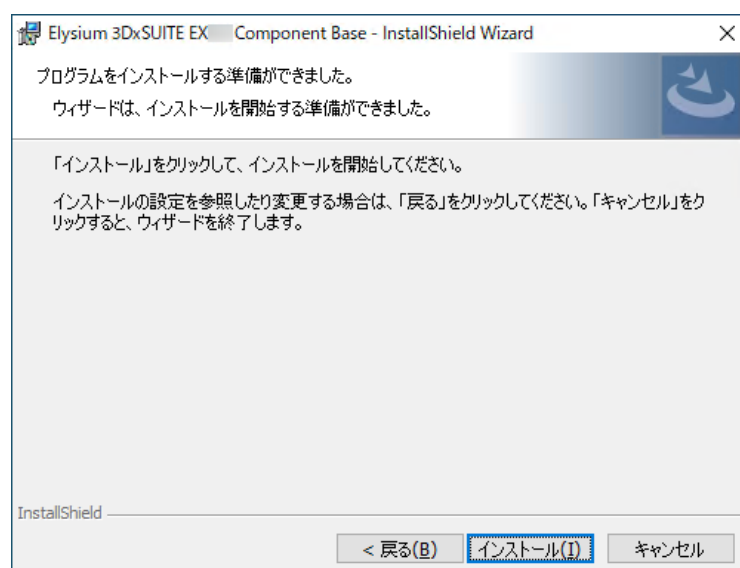


8. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

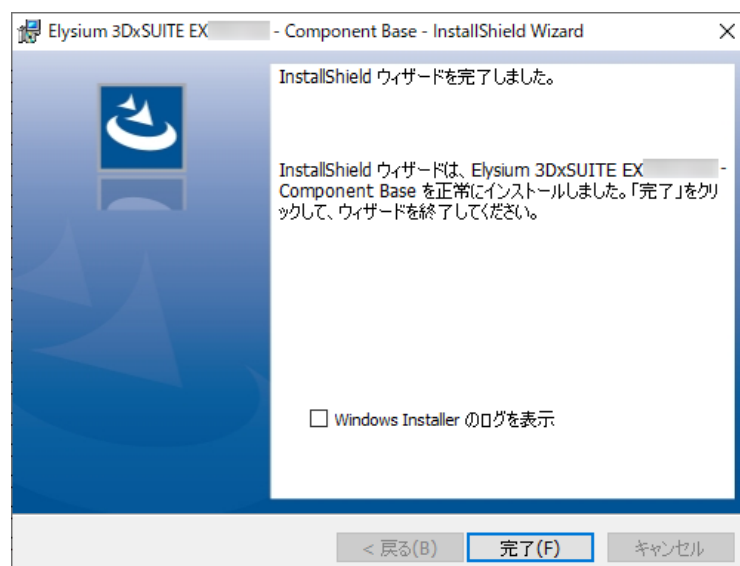


インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

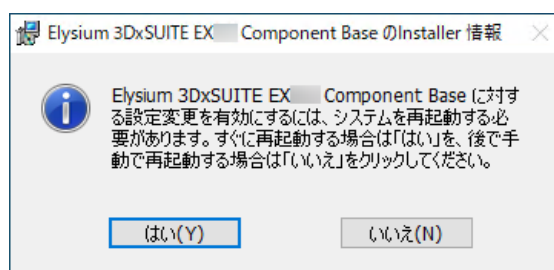
9. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



10. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックして "3DxSUITE Component Base" のインストールを終了します。



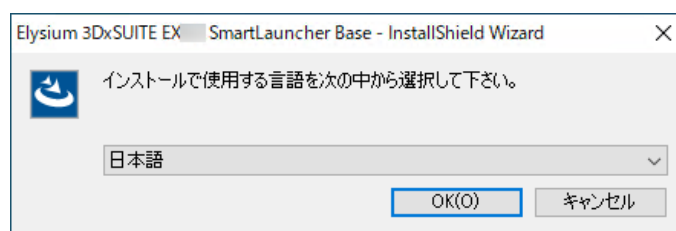
11. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。



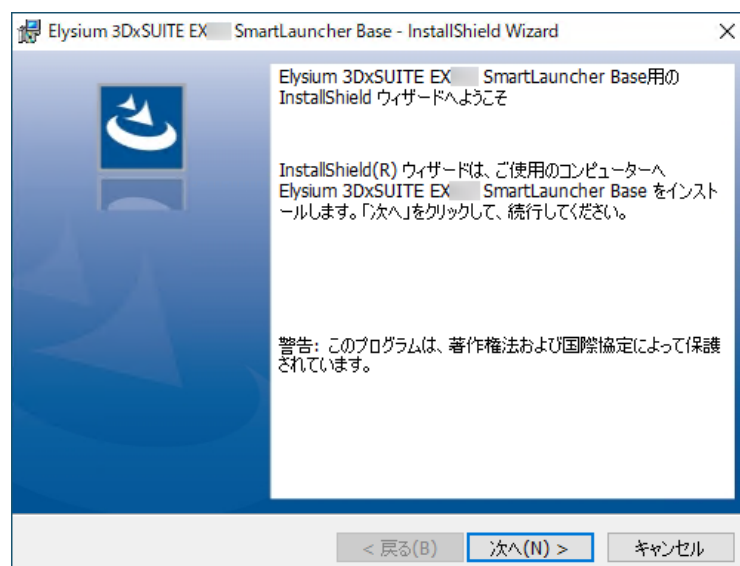
12. 続いて、3DxSUITE SmartLauncher Base のインストーラーを実行します。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\SmartLauncher_Base\
- インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe

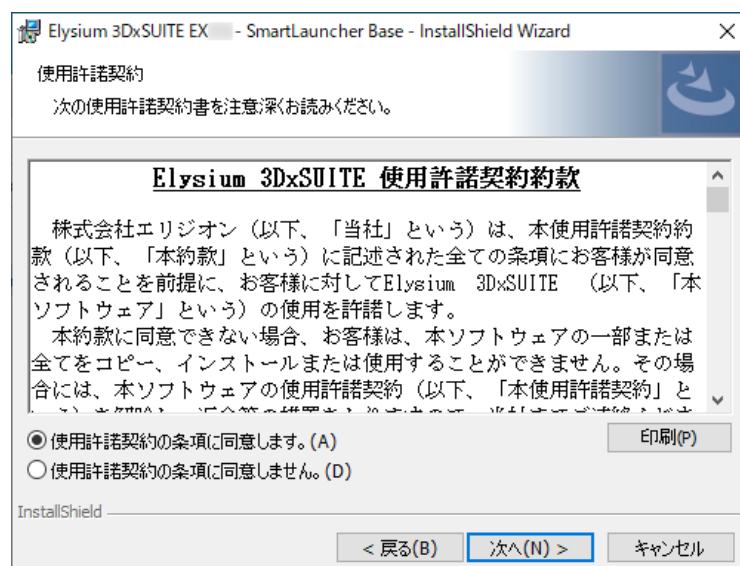
13. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



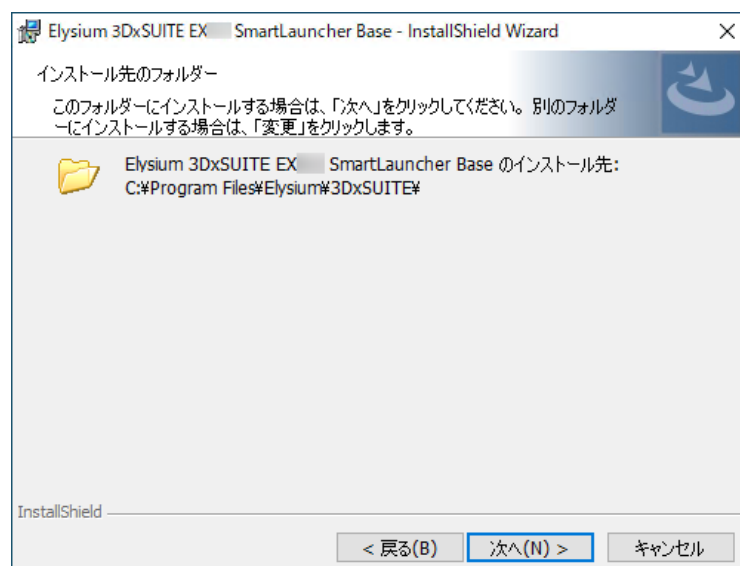
14. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



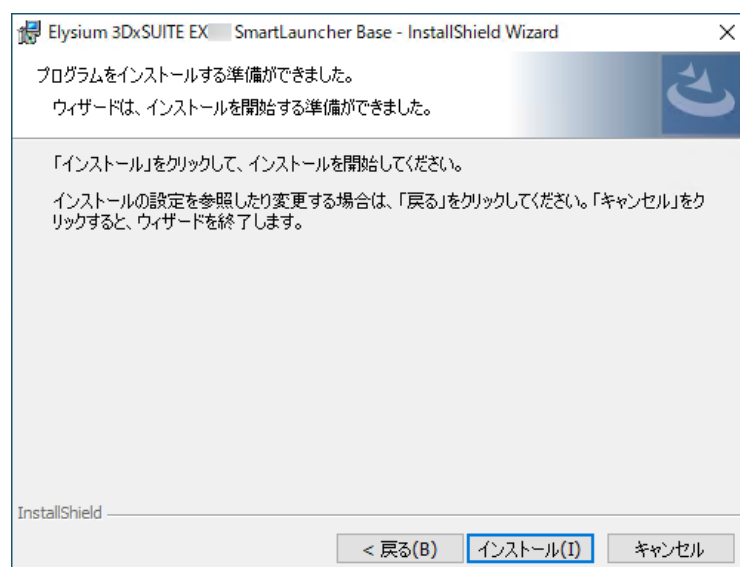
15. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



16. インストール先のフォルダーが表示されます。3DxSUITE Component Base で指定したフォルダーにインストールされるため、変更はできません。[次へ] をクリックします。



17. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



18. インストールが終了すると、以下のダイアログが表示されます。必要な項目を選択した上で [完了] をクリックします。



- SmartLauncher のコンテキストメニューを追加
オンにすると、SmartLauncher を Windows コンテキストメニューに追加します。
- Windows Installer のログを表示
オンにすると、インストール終了後に Windows Installer のログを表示します。



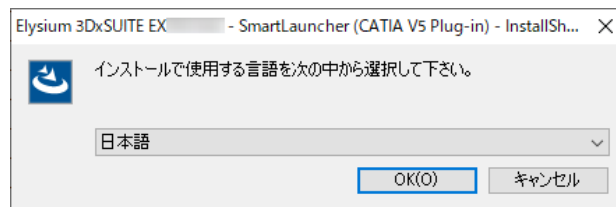
この時点では、SmartLauncher を利用するための基盤のみがインストールされた状態です。引き続き、実行する処理に必要な Component をインストールしてください。Component は <3DxSUITE Components パッケージ> 内の各フォルダー内にあるインストーラーを実行することで、インストールすることができます。各インストーラーの詳細については、[Appendix A, 3DxSUITE インストーラー一覧](#) を参照してください。

5.1.2. SmartLauncher (Plug-in) の手動インストール

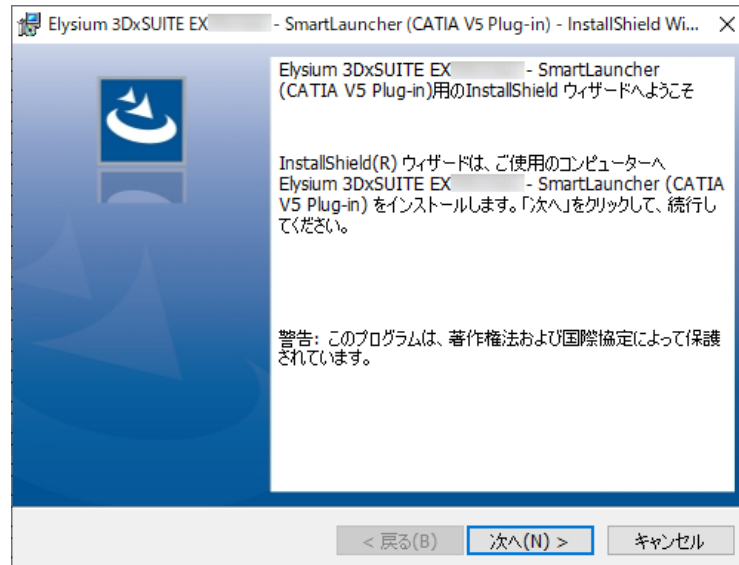


SmartLauncher (Plug-in) をインストールするためには、事前に対応する CAD Adapter、3DxSUITE Component Base、3DxSUITE SmartLauncher Base をインストールしておく必要があります。例えば CATIA V5 向けの SmartLauncher (Plug-in) をインストールする場合には、事前に CATIA V5 (Plug-in) Adapter、3DxSUITE Component Base、3DxSUITE SmartLauncher Base をインストールしてください。

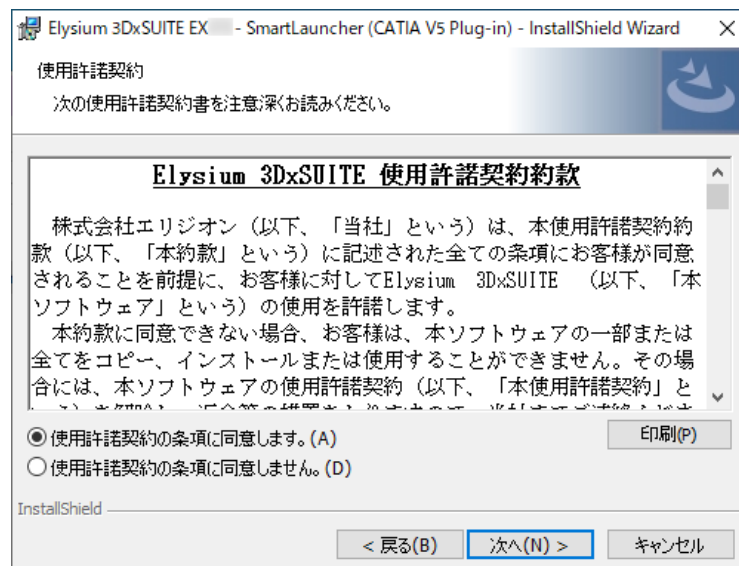
1. SmartLauncher (Plug-in) のインストーラーを実行します。以降の手順では、CATIA V5 向け SmartLauncher (Plug-in) のインストーラーを実行した際の画像を例として説明しますが、いずれの CAD であっても手順は同じです。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\SmartLauncher_***\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_***.exe
(*** は SmartLauncher (Plug-in) をインストールする CAD の名称)
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



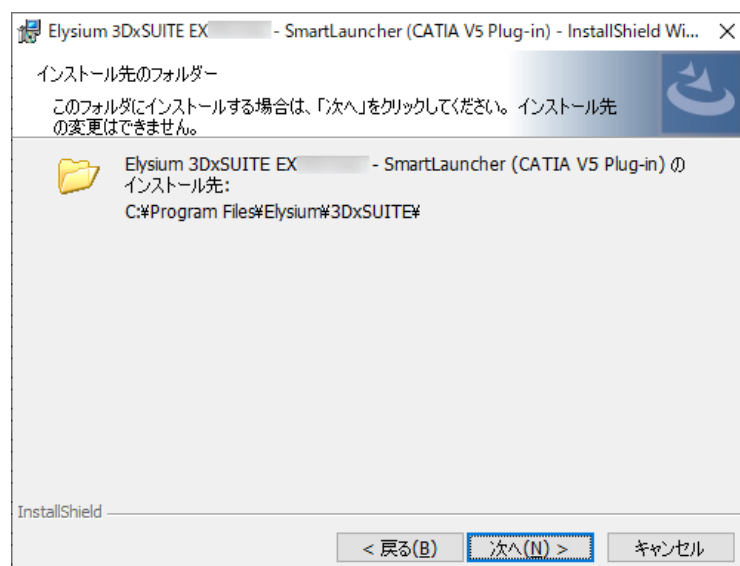
3. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



4. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



5. インストール先のフォルダーが表示されます。3DxSUITE Component Base で指定したフォルダーにインストールされるため、変更はできません。[次へ] をクリックします。



6. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが終了すると、以下のダイアログが表示されます。必要な項目を選択した上で [完了] をクリックします。



- SmartLauncher Plug-in のショートカット設定を行う

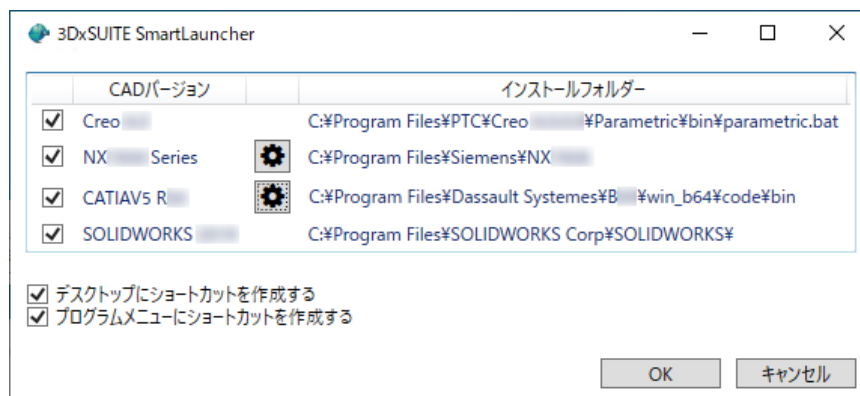
オンにすると、インストール終了後に SmartLauncher Plug-in のショートカット設定ダイアログを表示します。



[完了] をクリックした際、OS の再起動を求めるダイアログが表示される場合があります。ショートカット設定を行う前にこのダイアログで [はい] をクリックすると、すぐに OS の再起動が実行されるため、この時点で設定を行うことができなくなります。


SmartLauncher Plug-in のショートカット設定を行う場合には、再起動を求めるダイアログで [はい] をクリックする前に実施してください。なおショートカット設定を行う前に [はい] をクリックした場合であっても、後ほど "3DxSUITE 設定" から同じ設定を実施することができます。

8. "SmartLauncher Plug-in のショートカット設定を行う" をオンにした場合、以下のダイアログが表示されます。必要に応じてチェックボックスのオン / オフを変更し、[OK] をクリックします。



このダイアログには、レジストリーから自動検知された各 CAD の導入フォルダーが表示されます。同一 CAD バージョンが複数導入されている場合や、過去の古い CAD 情報がレジストリーに残っている場合には自動検知に失敗する場合があります。

CAD を起動する際の環境ファイル (CATIA V5 の ENV ファイル、3DEXPERIENCE の ENV ファイル

ル、NX の custom_dirs.dat) はダイアログ上の拡張設定アイコン () から指定できます。

上記ダイアログ内のオプション "デスクトップにショートカットを作成する"、"プログラムメニューにショートカットを作成する" は、チェックボックスをオンにした CAD バージョンに対してのみ有効です。

表示されている CAD 導入環境を変更する場合、または導入されている CAD バージョンが表示されていない場合は、ダイアログを閉じた上で 3DxSUITE 設定から設定を行ってください。

5.1.3. SmartLauncher (Standalone) のサイレントインストール

管理者として実行したコマンドプロンプトからオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、SmartLauncher (Standalone) をユーザーの入力を必要とせずにインストールできます。実行するコマンドの例は以下の通りです。さらにオプションを追加することでインストールするコンポーネントや設定内容を細かく指定できます。

コマンドの例 (改行は不要) :

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\" /qn"
```

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\SmartLauncher_Base\
- インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe

指定可能なオプションは以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • INSTALL_SHELL_EXTENSION=0/1 : SmartLauncher のコンテキストメニューを追加するか否かを指定します。デフォルト値は 1 です。(0: SmartLauncherのコンテキストメニューを追加しない / 1: SmartLauncherのコンテキストメニューを追加する) • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

5.1.4. SmartLauncher (Plug-in) のサイレントインストール

管理者として実行したコマンドプロンプトからオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、SmartLauncher (Plug-in) をユーザーの入力を必要とせずにインストールできます。実行ファイルは、SmartLauncher (Plug-in) を利用する CAD に対応したものを指定してください。

コマンドの例 (Creo Parametric 向け SmartLauncher (Plug-in) の場合) :

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Creo_Parametric.exe /s /v"/l*
"C:\temp\install.log\"/qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

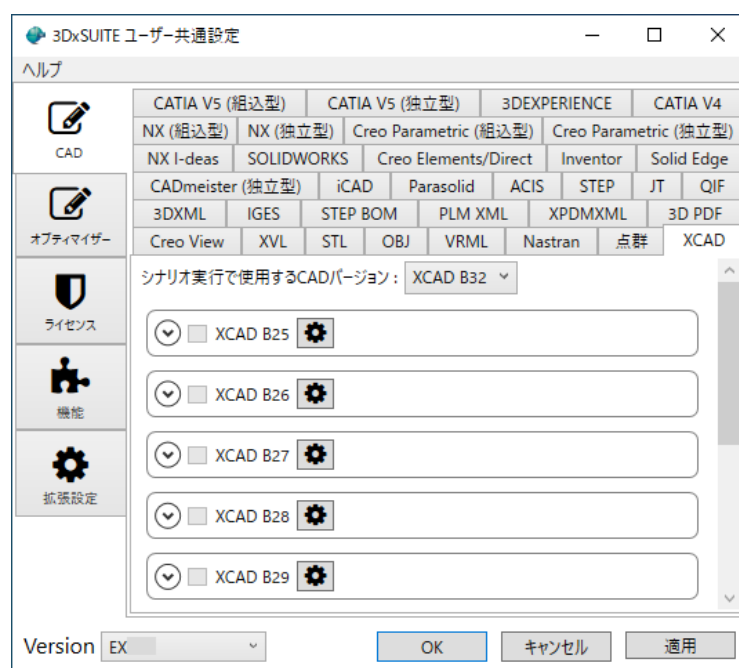
コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • CREATE_ALL_SHORTCUTS=0/1 : 自動的に CAD 起動ショートカットを作成するか否かを指定します。デフォルト値は 1 です。(0 : インストール時に自動的に CAD 起動ショートカットを作成しない / 1 : インストール時に自動的に CAD 起動ショートカットを作成する) • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

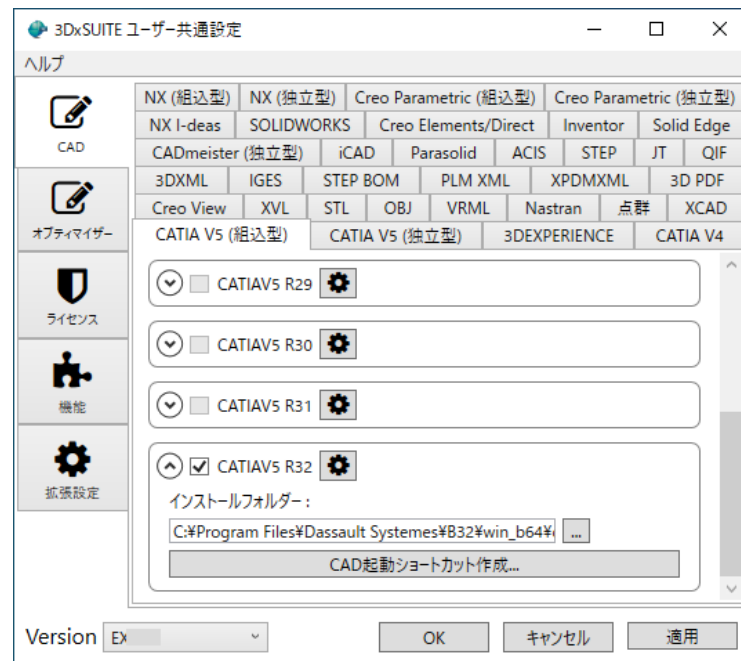
5.2. SmartLauncher (Plug-in) 設定手順

SmartLauncher (Plug-in) の設定は、3DxSUITE 設定で実行してください。手順は以下の通りです。

1. Windows メニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ユーザー共通設定] または [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ローカルユーザー設定] を選択します。
2. [CAD] タブを選択します。



3. 設定を実施する CAD のタブを選択し、変換に用いるバージョンについて以下の内容を設定します。



- 。チェックボックスのオン / オフで、当該バージョンを変換に使用するか否かを指定できます。
- 。ギアマークを押すと表示されるダイアログで、変換のためのコンフィグキーワードを設定できます。(任意)
- 。"インストールフォルダー" に CAD の実行ファイルが配置されているフォルダーのパスを設定します。
- 。"CAD起動ショートカット作成" をクリックすると、SmartLauncher (Plug-in) を組み込んだ状態で CAD を起動するためのショートカットを作成できます。(*1)

*1: CAD の UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できるのは、以下の CAD の特定のバージョンのみです。UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できる CAD のバージョンについては、リリースノートの "サポートCAD バージョン一覧" を参照してください。



- 。 CATIA V5
- 。 3DEXPERIENCE
- 。 Creo Parametric
- 。 NX
- 。 SOLIDWORKS

UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できない CAD のバージョンについては "CAD 起動ショートカット作成" ボタンが表示されません。それらのバージョンの CAD については、コンテキストメニューからのみ変換を実行できます。


4. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

5.2.1. CAD 別初期設定 / 注意事項


各 CAD Adapter の仕様や注意事項については、以下の内容と併せて "3DxSUITE コンポーネントマニュアル" の "3.1 Adapter" もご参照ください。

CATIA V5

- カスタマイズされた CATIA V5 環境に対して SmartLauncher (Plug-in) を導入するには、以下の 2 種類の方法があります。
 - カスタマイズ環境の設定を SmartLauncher (Plug-in) に引き継ぐ

5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順” にある手順に従って "CAD 起動ショートカット作成" をクリックすると表示されるダイアログで拡張設定アイコン () を押し、"以下の CATIA V5 ENV ファイルをコピーして使用する:" にカスタマイズされた CATIA V5 の環境ファイルを指定してください。またカスタマイズ環境で設定していた環境変数を使用する必要がある場合は、3DxSUITE 設定の "拡張設定" にある "環境変数" に設定してください。

- カスタマイズ環境に SmartLauncher (Plug-in) の設定を追加する


5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順” にある手順に従って "CAD 起動ショートカット作成" をクリックすると表示されるダイアログで拡張設定アイコン () を押し、"以下の CATIA V5 ENV ファイルをコピーして使用する:" にカスタマイズされた CATIA V5 の環境ファイルを指定してください。処理が終了すると、カスタマイズ環境と SmartLauncher (Plug-in) 環境が共存した、新しい環境ファイルが以下のパスに作成されます。(* は CAD のバージョン)

```
%Public%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\SmartLauncher\CATIAV5\R*\ELY_CATIAV5_R*.txt
```

作成された環境ファイルをカスタマイズ環境にコピーし、このファイルを用いてカスタマイズ環境の CATIA V5 を起動してください。

3DEXPERIENCE

- カスタマイズされた 3DEXPERIENCE 環境に対して SmartLauncher (Plug-in) を導入するには、以下の 2 種類の方法があります。
 - カスタマイズ環境の設定を SmartLauncher (Plug-in) に引き継ぐ

5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順” にある手順に従って "CAD 起動ショートカット作成" をクリックすると表示されるダイアログで拡張設定アイコン () を押し、"以下の 3DEXPERIENCE ENV ファイルをコピーして使用する:" にカスタマイズされた 3DEXPERIENCE の環境ファイルを指定してください。またカスタマイズ環境で設定していた環境変数を使用する必要がある場合は、3DxSUITE 設定の "拡張設定" にある "環境変数" に設定してください。

- カスタマイズ環境に SmartLauncher (Plug-in) の設定を追加する

5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順”にある手順に従って "CAD 起動ショートカット作成" をクリックすると表示されるダイアログで拡張設定アイコン (⚙️) を押し、"以下の 3DEXPERIENCE ENV ファイルをコピーして使用する:" にカスタマイズされた 3DEXPERIENCE の環境ファイルを指定してください。処理が終了すると、カスタマイズ環境と SmartLauncher (Plug-in) 環境が共存した、新しい環境ファイルが以下のパスに作成されます。(**** は CAD のバージョン)

```
%Public%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\SmartLauncher\3DEX\R****x\ELY_3DEX_ASX_R****x.txt
```

作成された環境ファイルをカスタマイズ環境にコピーし、このファイルを用いてカスタマイズ環境の 3DEXPERIENCE を起動してください。

- SmartLauncher (Standalone) を使う場合は、5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順”を参考にして3DxSUITE 設定にある [CAD] タブの [3DEXPERIENCE] タブを開き、(⚙️) を押してコンフィグキーワード 3DEX_LoginTicket を設定してください。3DEX_LoginTicket の取得方法は "Elysium 3DxSUITE コンポーネントマニュアル" の 3DEXPERIENCE Importer / Exporter を参照してください。

NX

- カスタマイズされた NX 環境 (Teamcenter 環境の NX 含む) や既定の NX 起動用ショートカット経由で SmartLauncher (Plug-in) を利用する方法は以下の通りです。
 - カスタマイズ環境の設定を SmartLauncher (Plug-in) に引き継ぐ

5.2, “SmartLauncher (Plug-in) 設定手順”にある手順に従って "CAD 起動ショートカット作成" をクリックすると表示されるダイアログで拡張設定アイコン (⚙️) を押し、"以下の custom_dirs.dat をコピーして使用する:" にカスタマイズ環境の UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE で指定されるファイル (custom_dirs.dat など) のパスを指定してください。

- カスタマイズ環境に SmartLauncher (Plug-in) の設定を追加する

以下のいずれかの方法で、カスタマイズ環境に SmartLauncher (Plug-in) の設定を追加してください。

- A. カスタマイズされた NX 環境を起動する際に参照している UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE (custom_dirs.dat など) に、SmartLauncher (Plug-in) for NX の導入フォルダーのパスを追記する。
- B. 環境変数 UGII_USER_DIR に SmartLauncher (Plug-in) for NX の導入フォルダーのパスを指定する。

SmartLauncher (Plug-in) for NX の導入フォルダーのパスは以下の通りです。

- <3DxSUITE 導入フォルダー>\SmartLauncher\cad_plugin\114\<NXバージョン>

(例) C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\SmartLauncher\cad_plugin\114\NX1953



Teamcenter 経由で NX を起動して DFX 向けシナリオを実行すると、Teamcenter Rich Client を起動するバッチの中で PowerShell のパスが消えてしまうため、DFX コンポーネントが実行できなくなります。以下のように環境変数 "AUX_PATH" に PowerShell のフォルダーを指定することで正常に実行することができます。

AUX_PATH=C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\

Creo Parametric

- カスタマイズされた Creo Parametric の環境や、既定の Creo Parametric 起動用ショートカット経由で SmartLauncher (Plug-in) を利用する方法は以下の通りです。

1. 任意の場所に protk.dat ファイルを作成します。このファイルには以下の内容を記載してください。(SmartLauncher を既定のフォルダーに導入しており、Creo Parametric 6.0 を利用する場合)

```
NAME ELY_CREOP_CONVERTER_PLUG_IN
EXEC_FILE C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\SmartLauncher\cad_plugin\104\Creo6\dll\PDMPProe.dll
TEXT_DIR C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\SmartLauncher\cad_plugin\104\Creo6\text_fbt
REVISION Wildfire
STARTUP dll
END
```

2. Creo Parametric が起動時に読み込む config.pro に下記の行を追加します。(既定では、<Creo Parametric のインストールフォルダー>\Common Files\text\config.pro が読み込まれます)

PROTKDAT <手順 1. で作成した protk.dat のフルパス>

- オンメモリー設定がオフの場合、Creo Parametric を起動したまま変換を実行すると、起動している Creo Parametric とは別に新たに Creo Parametric を使用する変換が実行されます。その際、Creo Parametric のライセンスファイルに "DUP_GROUP" というキーワードが含まれない場合には、Creo Parametric 自体のライセンスが 2 本必要となるのでご注意ください。オンメモリー設定がオンの場合は、従来同様、Creo Parametric のライセンスを 1 本のみ使用します。

SOLIDWORKS

- SOLIDWORKS 向けの SmartLauncher (Plug-in) は、インストールしただけではメニューに表示されません。以下の手順で有効化してください。
1. "3DxSUITE SmartLauncher for SOLIDWORKS 20**" を用いて SOLIDWORKS を起動しま

す。(20** は SOLIDWORKS のバージョン)

2. メニューから [ツール] - [アドイン] を選択します。
3. "アドイン" ダイアログで "Elysium Tool for SOLIDWORKS" をオンにします。
4. [OK] をクリックして "アドイン" ダイアログを閉じます。

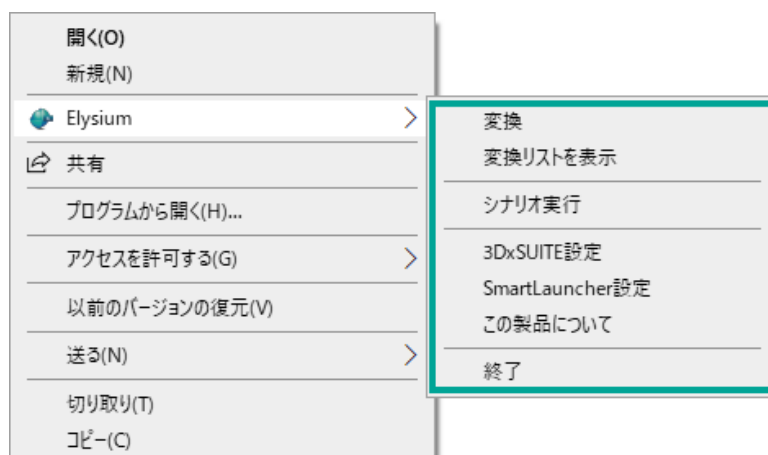
5.3. 起動手順

SmartLauncher (Standalone)、SmartLauncher (Plug-in) は以下の各メニューから起動できます。

5.3.1. SmartLauncher (Standalone) の起動

以下の手順でエクスプローラーのコンテキストメニューから起動できます。

1. 変換対象ファイルを選択し右クリックします。
2. 表示されるコンテキストメニューから [Elysium] - [変換] を選択します。"開く" ダイアログが表示されます。(Windows 11 の場合は [その他のオプションを表示] を選択してから、[Elysium] を選択してください)



5.3.2. SmartLauncher (Plug-in) の起動

SmartLauncher (Plug-in) は Windows メニューまたはデスクトップ上のショートカットから起動します。

- Windows メニューから起動する場合は、以下のメニューから起動したい CAD / バージョンのバッチを実行してください。
 - [Elysium 3DxSUITE SmartLauncher] - [3DxSUITE SmartLauncher for (CAD名) (Version)]
- ショートカットから起動する場合は、デスクトップ上にある "3DxSUITE SmartLauncher for (CAD名) (Version)" をダブルクリックしてください。

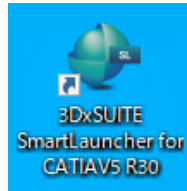


図 1. CATIA V5 R30 起動用ショートカットの例

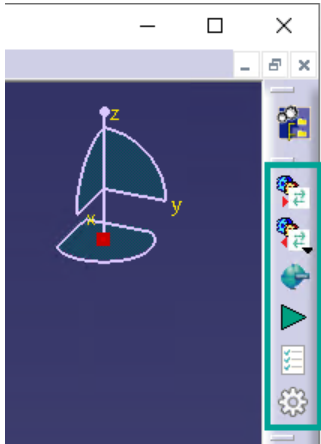

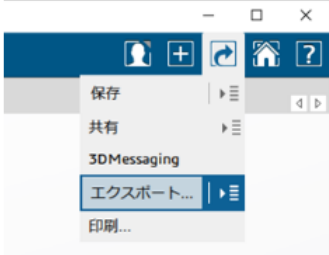
CAD の UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できるのは、以下の CAD の特定のバージョンのみです。UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できる CAD のバージョンについては、リリースノートの "サポート CAD バージョン一覧" を参照してください。

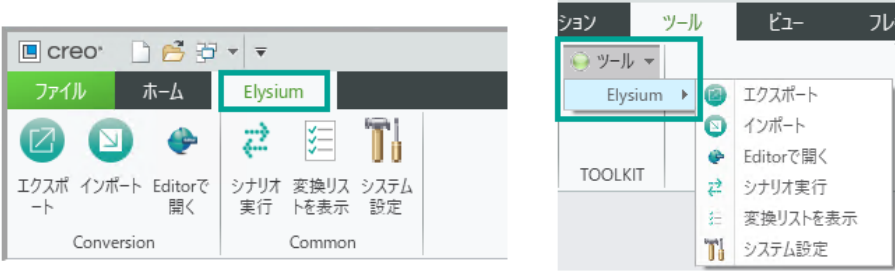
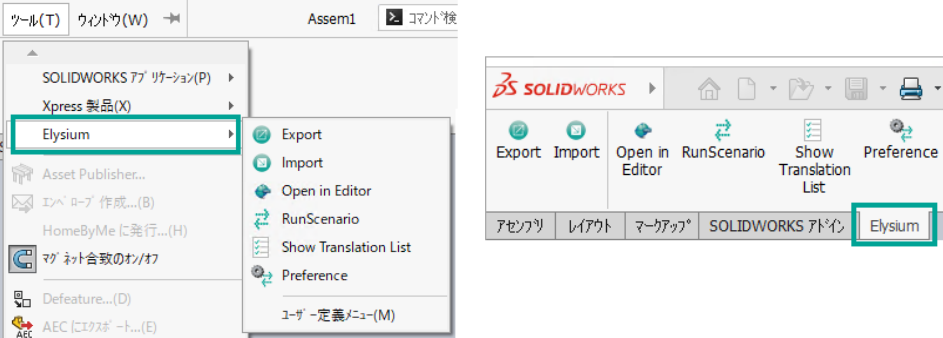


- CATIA V5
- 3DEXPERIENCE
- Creo Parametric
- NX
- SOLIDWORKS

UI から SmartLauncher (Plug-in) を起動できない CAD のバージョンについてはコンテキストメニューからのみ変換を実行できます。

SmartLauncher (Plug-in) は CAD のメニューに組み込まれて表示されます。

CAD	SmartLauncher (Plug-in) 表示位置
CATIA V5	
3DEXPERIENCE	<div>   </div> <p>※入出力ファイル形式として *_Elysium を指定すると変換が実行されます。</p>

CAD	SmartLauncher (Plug-in) 表示位置
Creo	
NX	
SOLIDWORKS	

5.4. アンインストール手順



アンインストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

以下の手順で SmartLauncher (Plug-in) のアンインストールを実行した場合、処理は終了するもののアプリケーションは削除されません。



1. Components インストーラーを用いて 3DxSUITE SmartLauncher Base と SmartLauncher (Plug-in) をインストールする。
2. 3DxSUITE SmartLauncher Base を直接指定してアンインストールする。
3. Components をアンインストールする。

この現象は SmartLauncher (Plug-in) がインストールされている状態で 3DxSUITE SmartLauncher Base をアンインストールしたことに起因して発生しています。このような状況になった場合には、Components 経由ではなく SmartLauncher (Plug-in) を直接指定してアンインストールしてください。

5.4.1. SmartLauncher (Standalone) の手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - SmartLauncher Base" を選択して、アンインストールを実行します。

5.4.2. SmartLauncher (Standalone) のサイレントアンインストール

管理者として実行したコマンドプロンプトから以下の通りオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、SmartLauncher (Standalone) をユーザーの入力を必要とせずアンインストールすることができます。

コマンドの例:

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\"/qn"
```

5.4.3. SmartLauncher (Plug-in) の手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - SmartLauncher (***) Plug-in)" を選択して、アンインストールを実行します。(***) は CAD 名)

5.4.4. SmartLauncher (Plug-in) のサイレントアンインストール

管理者として実行したコマンドプロンプトから以下の通りオプションを引数に指定してインストーラーを実行することにより、SmartLauncher (Plug-in) をユーザーの入力を必要とせずアンインストールすることができます。実行ファイルは、アンインストールする SmartLauncher (Plug-in) に対応したものを指定してください。

コマンドの例 (CATIA V5 向け SmartLauncher (Plug-in) の場合):

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_CATIA_V5.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\"/qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* "\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

6. Elysium 3DxSUITE SmartController

事前にインストールする必要があるプログラム

- [Components](#)

(3DxSUITE Component Base, 3DxSUITE SmartLauncher Base)



SmartController を起動する前に、3DxSUITE 設定でライセンスの設定を実行する必要があります。



SmartController を最初に起動した際には、3DxSUITE 設定に設定されたライセンス設定が使用されます。2 回目以降の起動時には、SmartController に設定されているライセンス設定が優先的に使用されます。

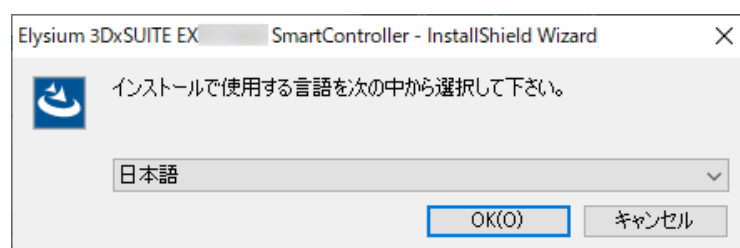
6.1. インストール手順



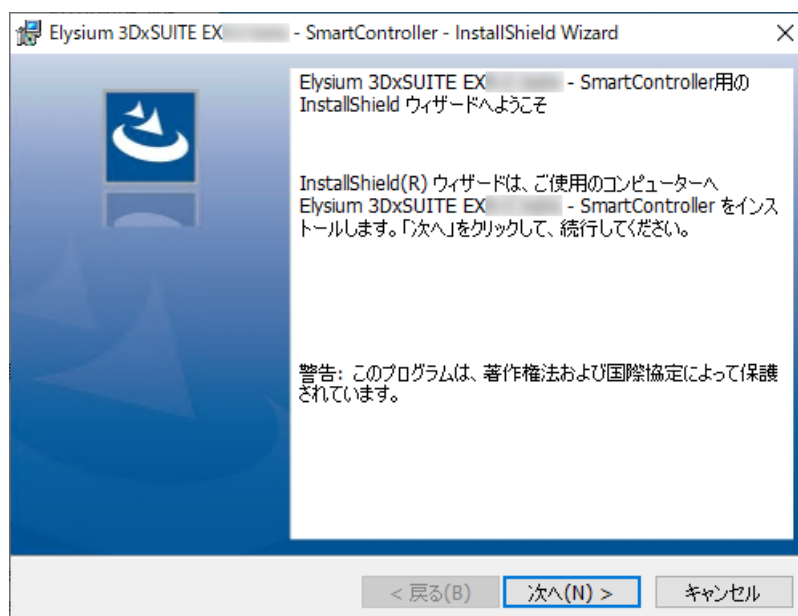
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。
事前にインストールする必要があるプログラムがインストールされていない場合、実行が中止されます。

6.1.1. 手動インストール

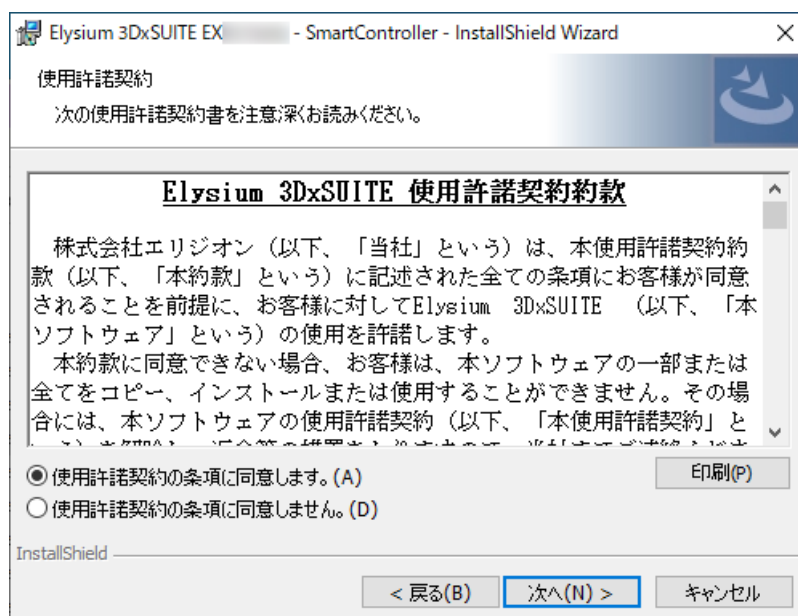
1. SmartController のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE SmartController パッケージ>
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



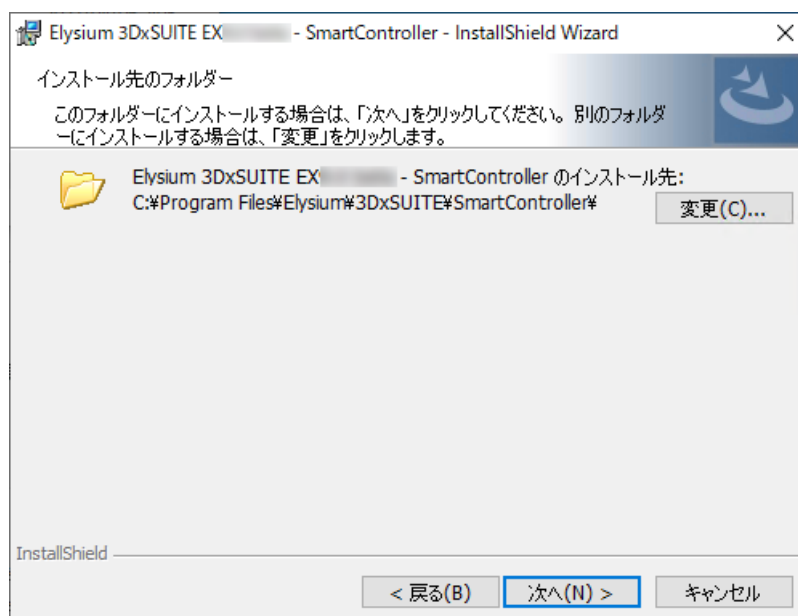
3. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



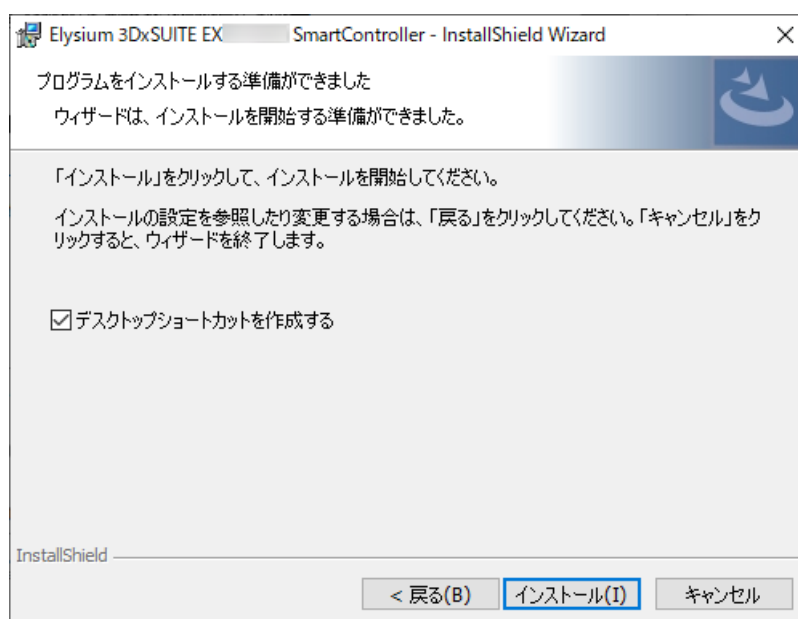
4. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



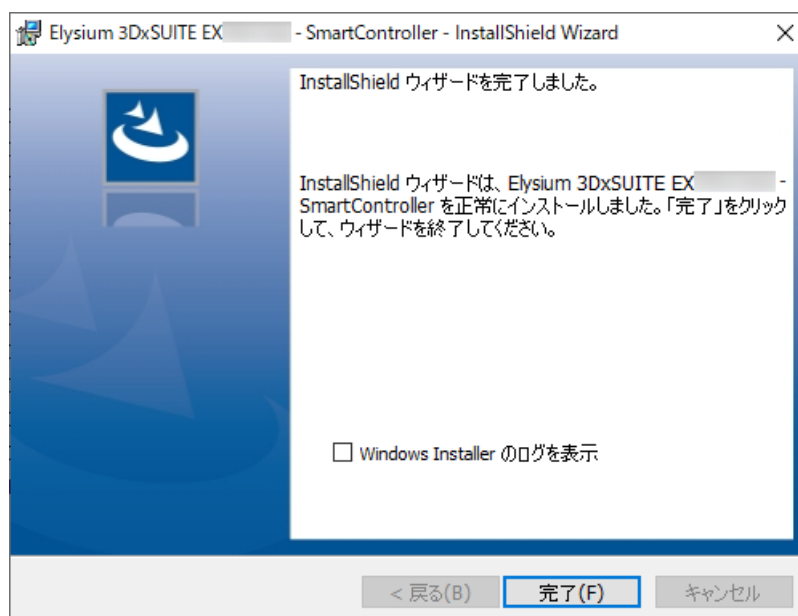
5. インストール先のフォルダーが表示されます。3DxSUITE Component Base で指定したフォルダーにインストールされるため、変更はできません。[次へ] をクリックします。



6. デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外します。[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



6.1.2. サイレントインストール

コマンドにて SmartController の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明を参照してください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\"  
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\SmartController\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

6.2. 起動手順

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE SmartController] を選択して起動してください。デスクトップ上の [3DxSUITE SmartController] ショートカットをダブルクリックして起動することもできます。



6.3. 終了手順

ウインドウを閉じて終了します。

6.4. アンインストール手順

6.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - SmartController" を選択して、アンインストールを実行します。

6.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。コマンドについては、以下のコマンド例と [コマンド引数](#) の説明を参照してください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

7. Elysium 3DxSUITE SmartController Pro

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし



SmartController Pro を起動する前に、3DxSUITE 設定でライセンスの設定をする必要があります。



SmartController Pro を最初に起動した際には、3DxSUITE 設定に設定されたライセンス設定が使用されます。2 回目以降の起動時には、SmartController Pro に設定されているライセンス設定が優先的に使用されます。

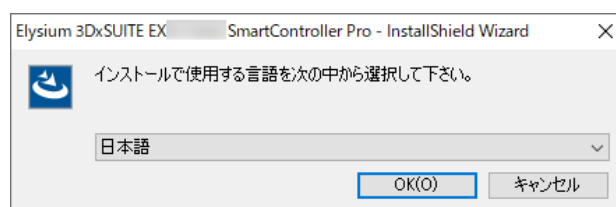
7.1. インストール手順



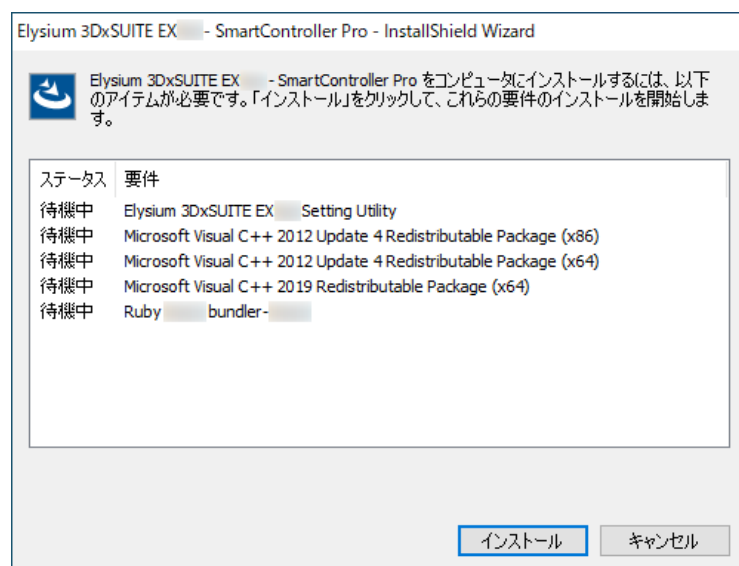
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

7.1.1. 手動インストール

- SmartController Pro のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE SmartController Pro パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe
- インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。

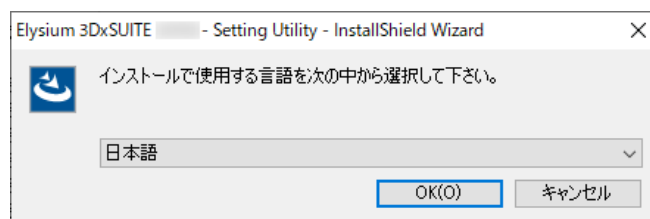


- このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックします。

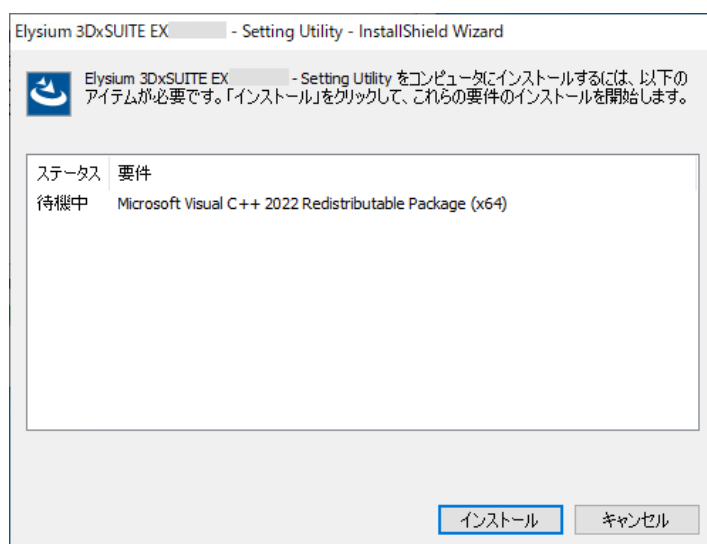


4. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

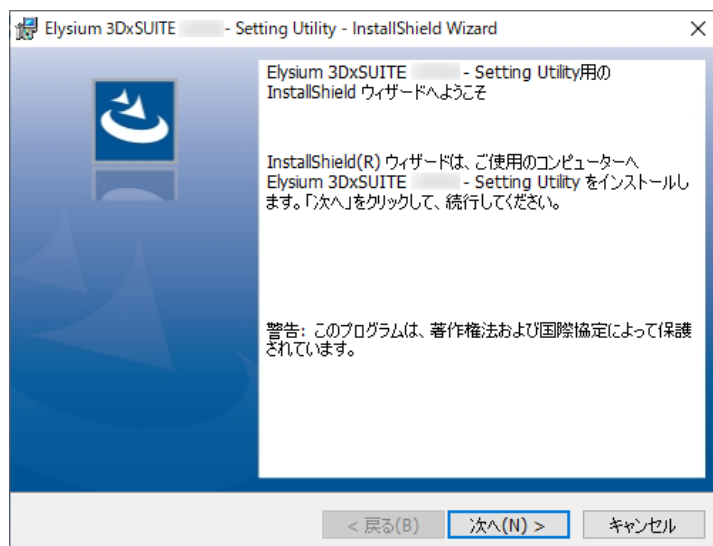
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



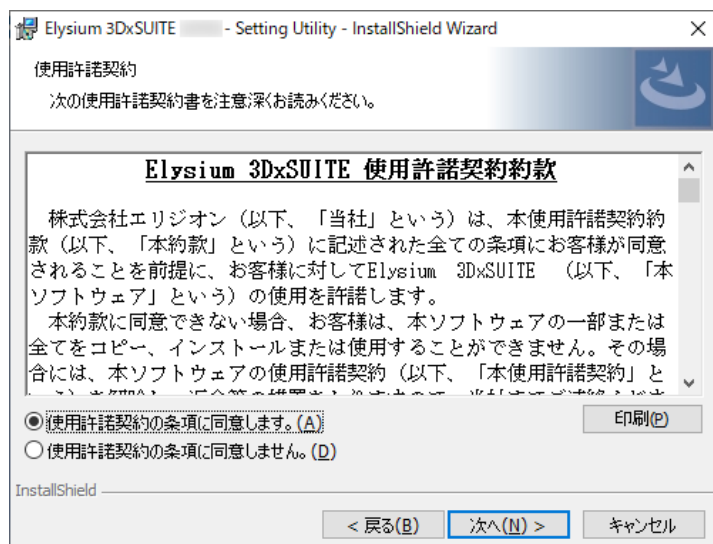
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



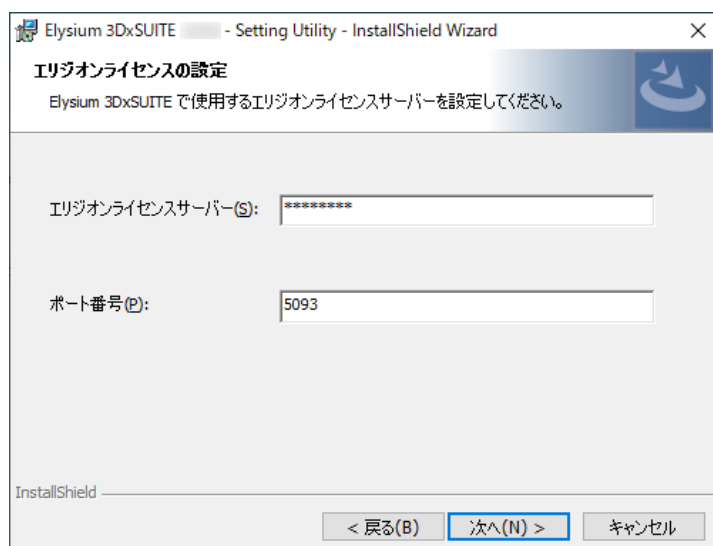
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



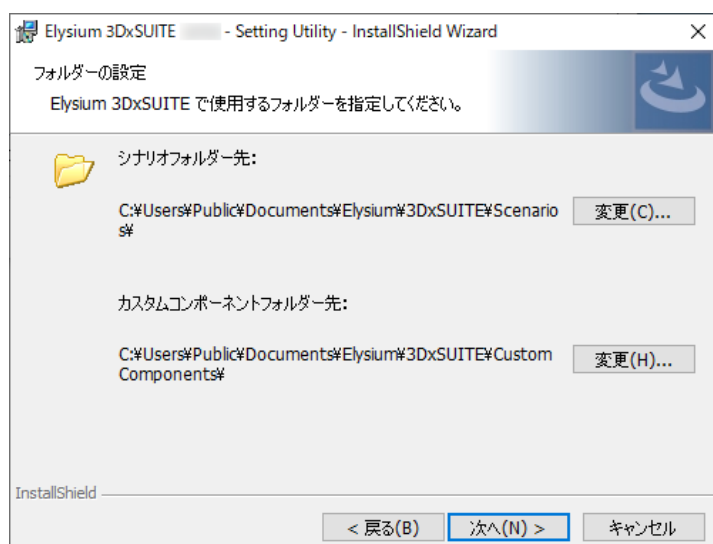
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



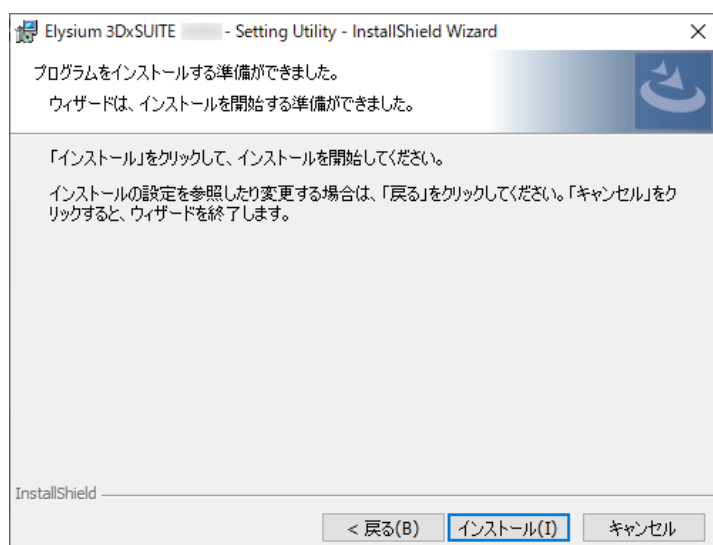
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



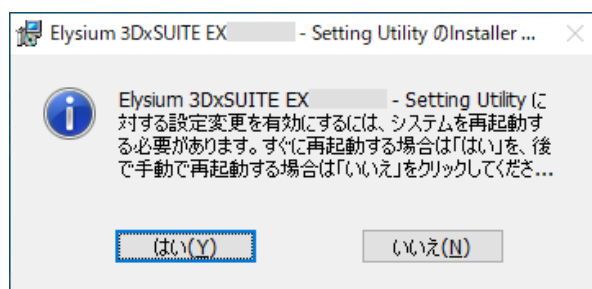
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

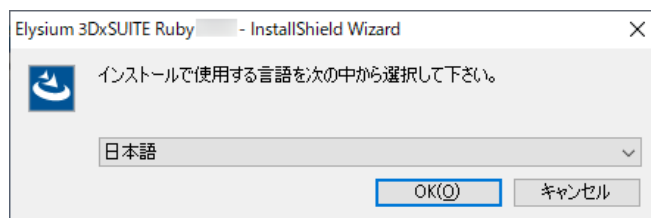


- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。

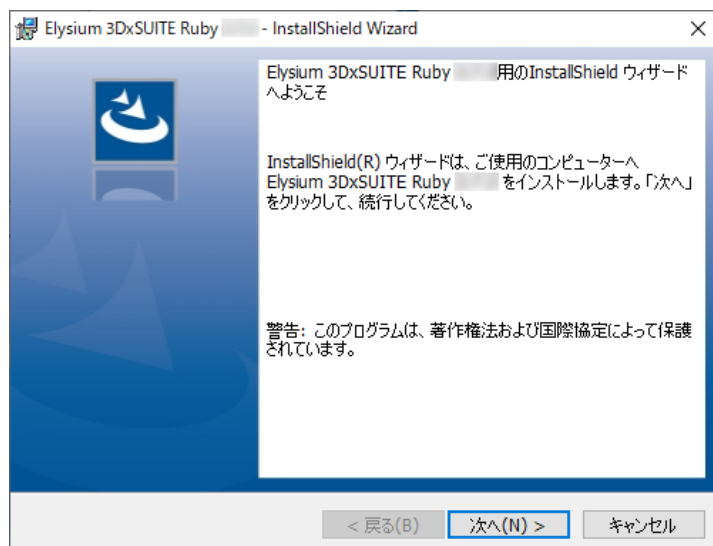


5. Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されていない環境の場合、Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、Elysium 3DxSUITE Ruby インストール後の手順へ進んでください。

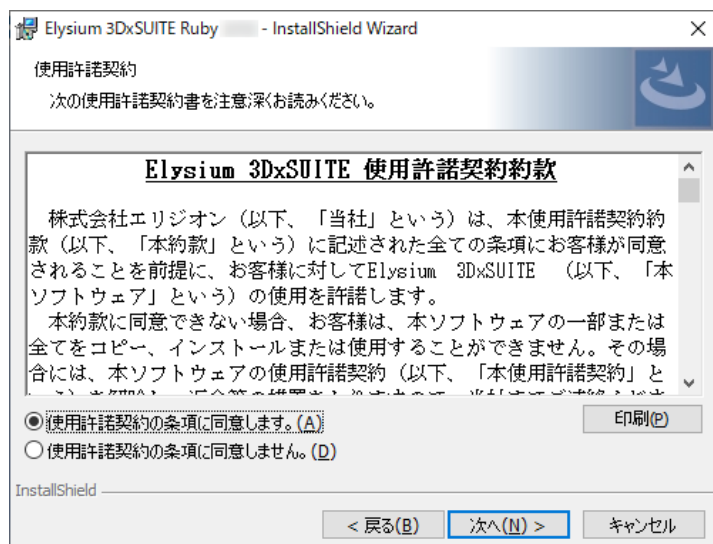
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



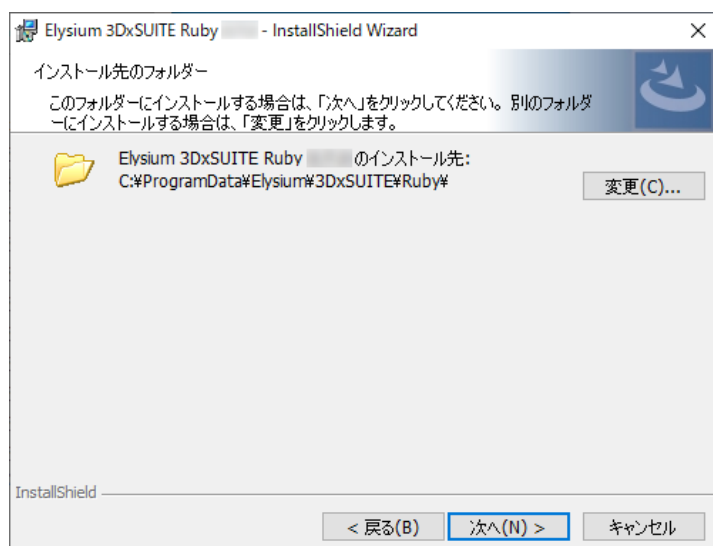
- b. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



- c. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。

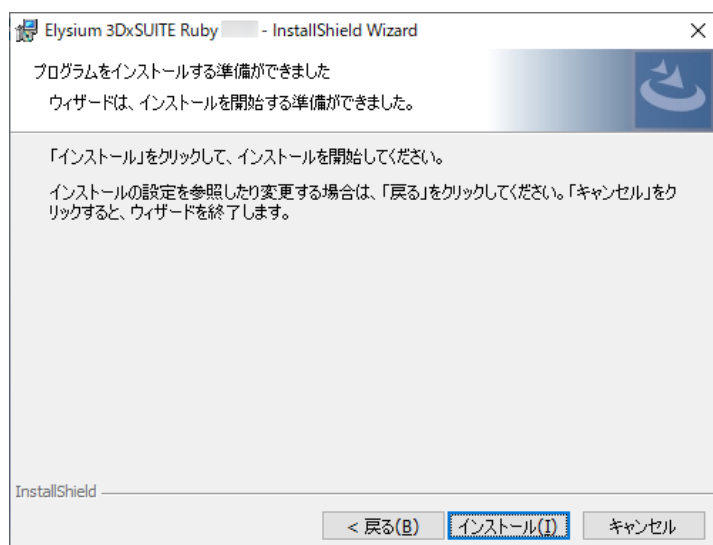


- d. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

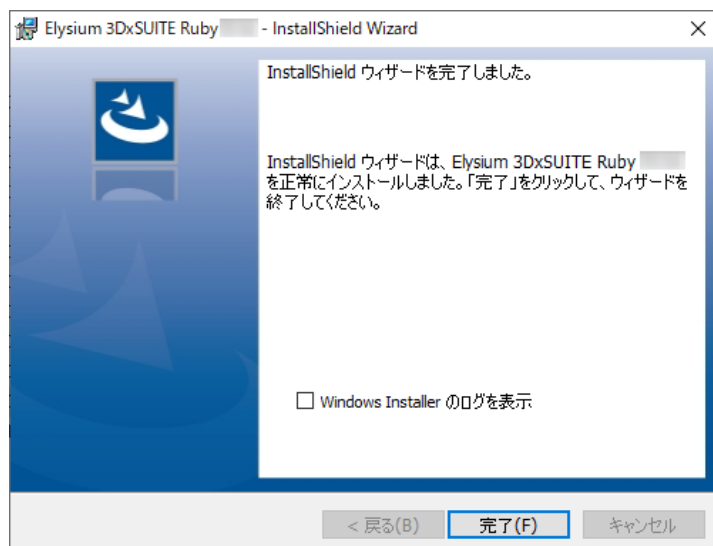


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

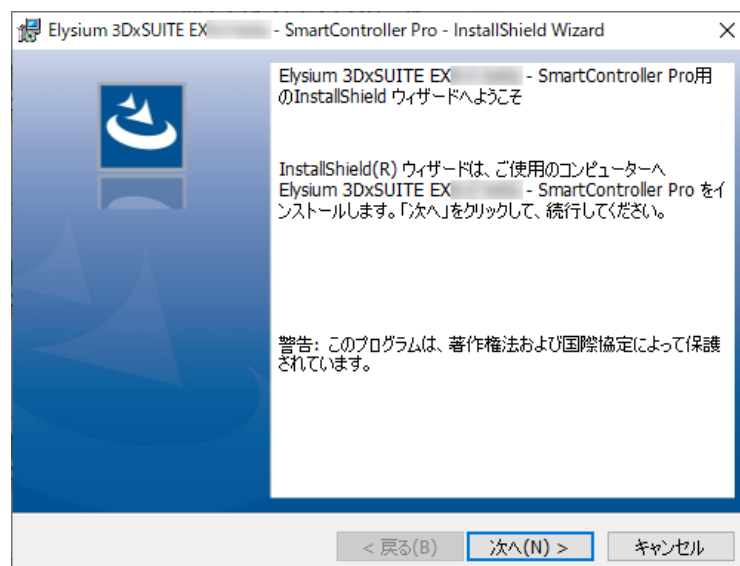
- e. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



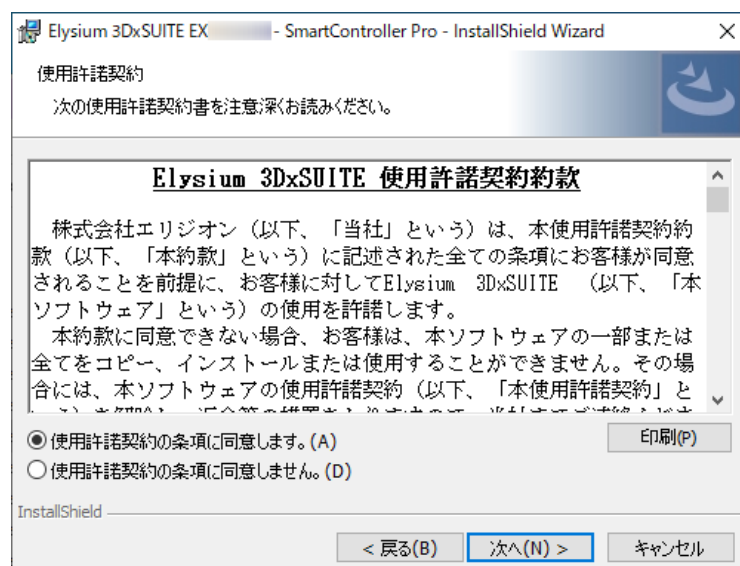
- f. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



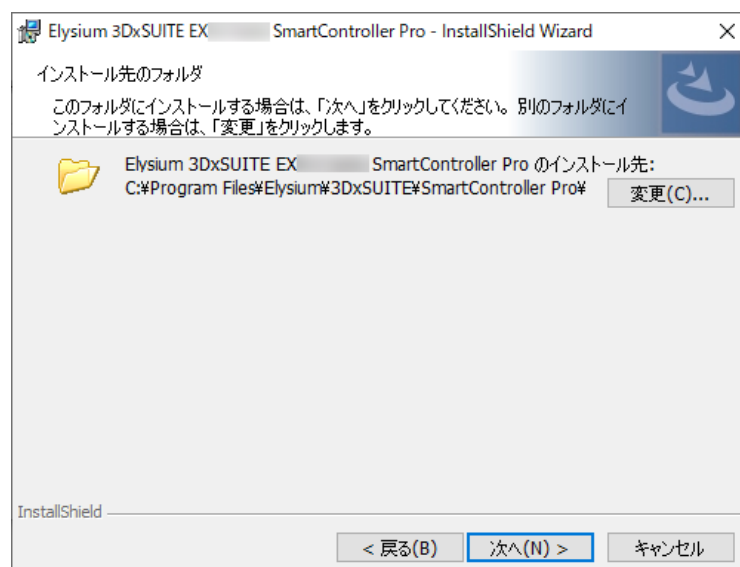
6. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



7. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

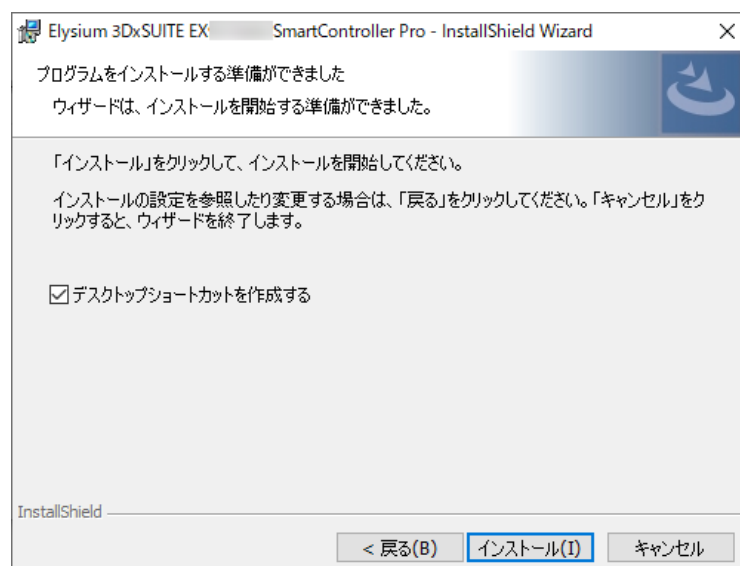


8. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。



インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

9. デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外します。[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



10. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



7.1.2. サイレントインストール

コマンドにて SmartController Pro の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明を参照してください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\"  
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\SmartController_Pro\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • /l* "<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR="<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

7.2. 起動手順



SmartController Pro を最初に起動した際には、3DxSUITE 設定に設定されたライセンス設定が使用されます。2 回目以降の起動時には、SmartController Pro に設定されているライセンス設定が優先的に使用されます。

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE SmartController Pro] を選択して起動してください。デスクトップ上の [3DxSUITE SmartController Pro] ショートカットをダブルクリックして起動することもできます。



7.3. 終了手順

ウインドウを閉じて終了します。

7.4. アンインストール手順

7.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - SmartController Pro" を選択して、アンインストールを実行します。

7.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l*\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

8. Elysium 3DxSUITE TransServer

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

8.1. インストール手順



- TransServer と WorkerNode は同じライセンスサーバーを参照するようにしてください。
- TransServer が動作するコンピューター (A) から WorkerNode が動作するコンピューター (B) の名前を解決できる必要があります。また逆に (B) から (A) の名前も解決できる必要があります。
- TransServer は、既定の設定において、参照するライセンスサーバー上のライセンスをすべて利用できることを前提にジョブの割り振りを行います。他の Elysium 製品や他の TransServer も利用しているライセンスサーバーを参照するように設定した場合、ジョブの割り振りを行う際にエラーが発生することがあります。



インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

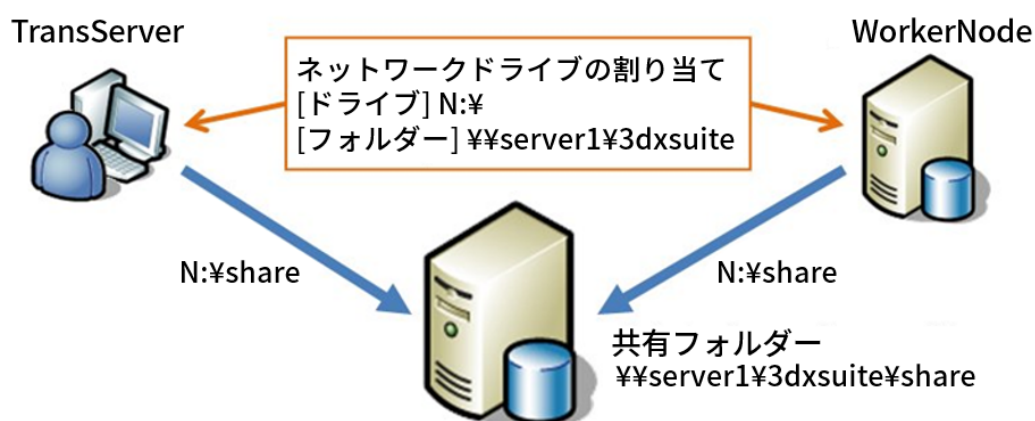
TransServer はサイレントインストールには対応していません。手動インストールを行ってください。

8.1.1. 共有フォルダーの設定

TransServer をインストールしたコンピューターは、WorkerNode をインストールしたコンピューターと 1 つのフォルダーを同じパス (例. N:\share) で共有する必要があります。ここでは、各コンピューターにネットワーク経由で共有されるフォルダー (以降は共有フォルダーと表記) を設定する方法を説明します。

共有フォルダーを設定する際、以下の点に注意してください。

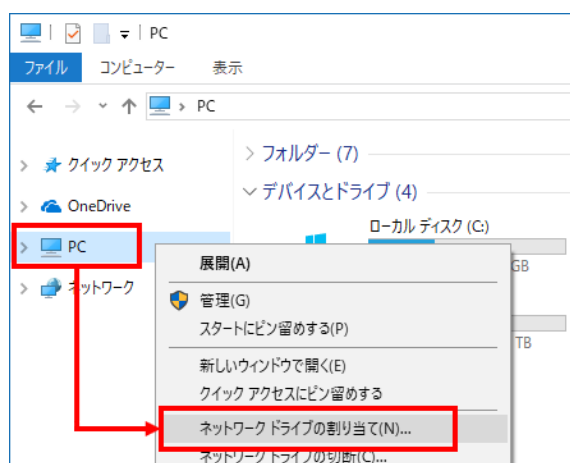
- データ処理時の出力フォルダーやワークフォルダーは共有フォルダーの下に作成されるため、共有フォルダーには 空き容量の大きなドライブを割り当てる必要があります。
- 共有フォルダーには UNCパス (\\ で始まるパス) を設定することはできません。
- ドライブのルートフォルダー ("N:\ " など) を共有フォルダーに設定することはできません。



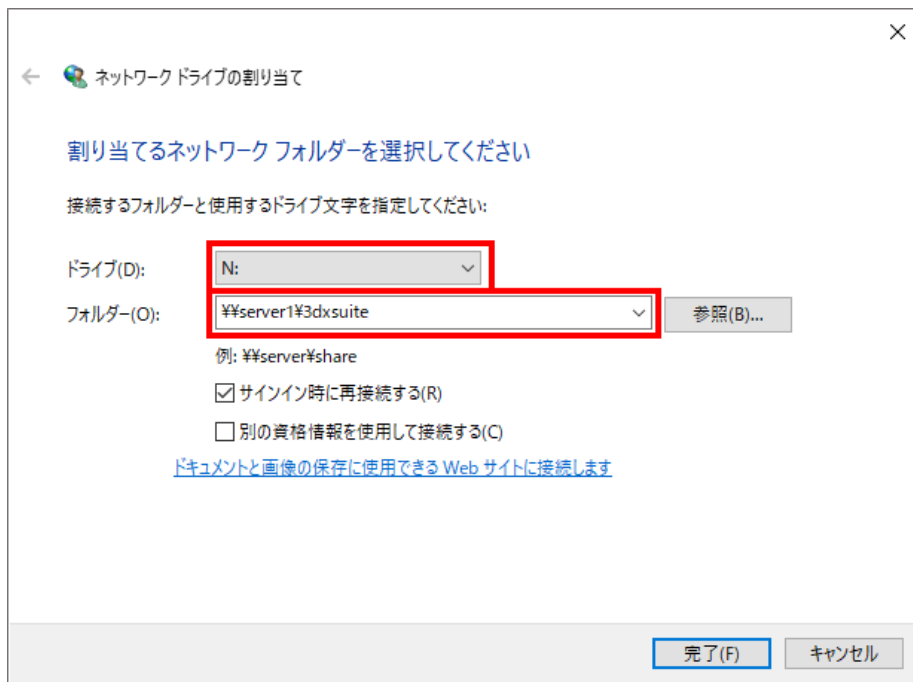
上の例では、server1 というコンピュータのフォルダー "\\server1\3dxsuite\share" を共有フォルダーとしています。ただし共有フォルダーに UNC パスを設定することができないため、 "\\server1\3dxsuite" というフォルダーを N ドライブに割り当てて "N:\share" というパスに変更してから共有フォルダーとして使用しています。

UNC パスを任意のドライブに割り当てる方法

1. [PC] を右クリックして、[ネットワーク ドライブの割り当て] を選択します。



2. ドライブ欄からドライブ名を選び、フォルダー欄には割り当てる予定の UNC パスを設定します。最後に [完了] をクリックします。



上記の設定は、WorkerNode をインストールしたコンピューターや WorkerNode を使用するすべてのコンピューターに対して行ってください。

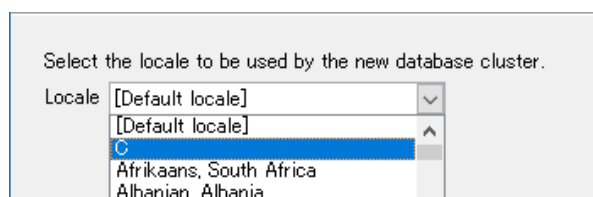
8.1.2. PostgreSQL のインストール

PostgreSQL を導入します。PostgreSQL のバージョンは 12.* を使用します。

- 下記ページから PostgreSQL 12.* (Windows x86-64) のインストーラーをダウンロードします。
 - <https://www.enterprisedb.com/downloads/postgres-postgresql-downloads>
- インストーラーの指示に従って PostgreSQL をインストールします。
 - インストーラーは管理者でログインしてから実行してください。
 - PostgreSQL の導入フォルダー (C:\Program Files\PostgreSQL\12) をあらかじめ作成しておき、everyone にそのフォルダーに対するフルコントロールの権限を与えた後にインストーラーを実行してください。
 - Select Components
PostgreSQL Server と "pgAdmin4" は必ずインストールしてください。
 - Data Directory
デフォルトのパスは C:\Program Files\PostgreSQL\12\data となっていますが、OS のバージョンによっては Program Files 以下のフォルダーにデータを格納すると問題が発生する場合があります。ドライブ直下にフォルダーを作成しそのフォルダーを指定してください。
例) C:\pgdata\12
 - Password
ここで設定した文字列を以下のファイルに平文で記述する必要があります。平文で記述して問題ない文字列を設定してください。
<3DxSUITE TransServer 導入フォルダー>\k2dashboard\config\database.yml

- Advanced Options

Locale プルダウンメニューから "C" をクリックしてください。



3. 導入完了後、OS を再起動してから Windows のサービス一覧を開き、"postgresql-x64-12" もしくは "postgresql-x64-12 - PostgreSQL Server 12" というサービスがあることを確認します。サービスがあれば導入作業を続けます。

- サービス一覧は、Windows キーと R キーを同時に押すと表示される "ファイル名を指定して実行" ウィンドウに "services.msc" と入力して OK をクリックすると表示されます。
- サービスがない場合は、PostgreSQL の導入に失敗していると考えられます。トラブルシューティングやインターネット上の情報を参考に、PostgreSQL の導入を成功させてください。



PostgreSQL のインストール手順は動画も公開しています。下記ページの "PostgreSQLのインストール" を参照してください。

- https://www.elysium-global.com/ja/support/3dxsuite/guide_movie/

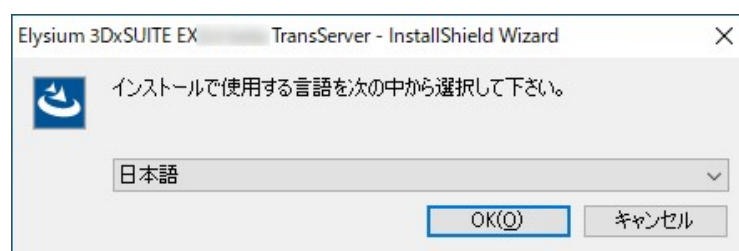
8.1.3. TransServer のインストール

以下の手順に従って導入、設定を行ってください。

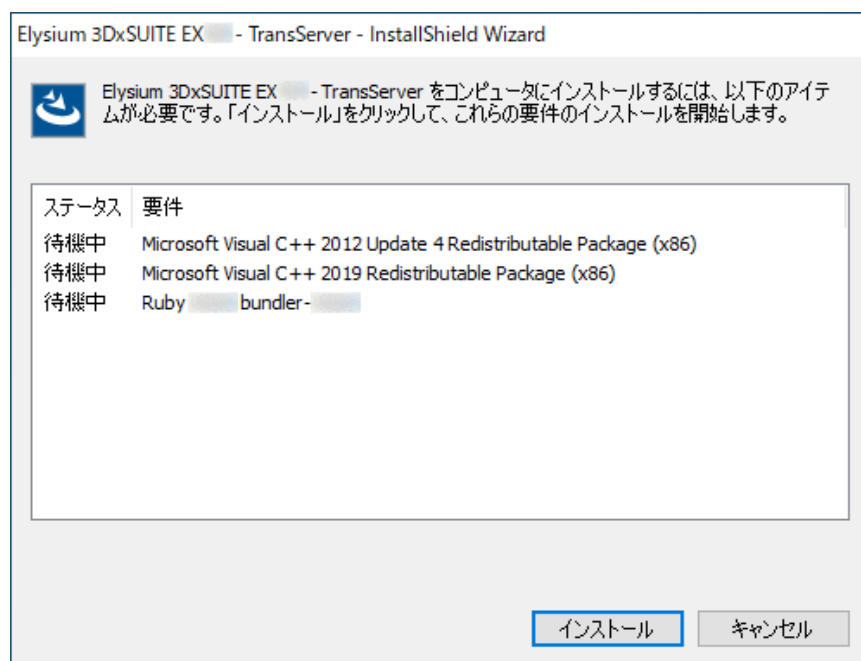
1. TransServer のインストーラーを実行します。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE TransServer パッケージ>\
- インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe

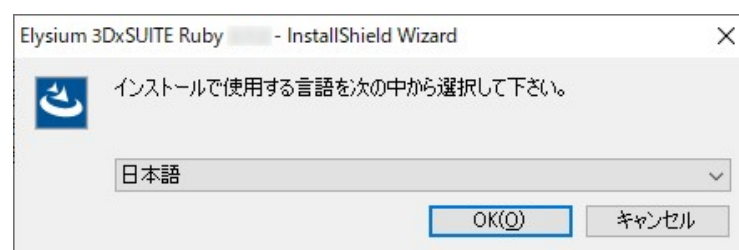
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



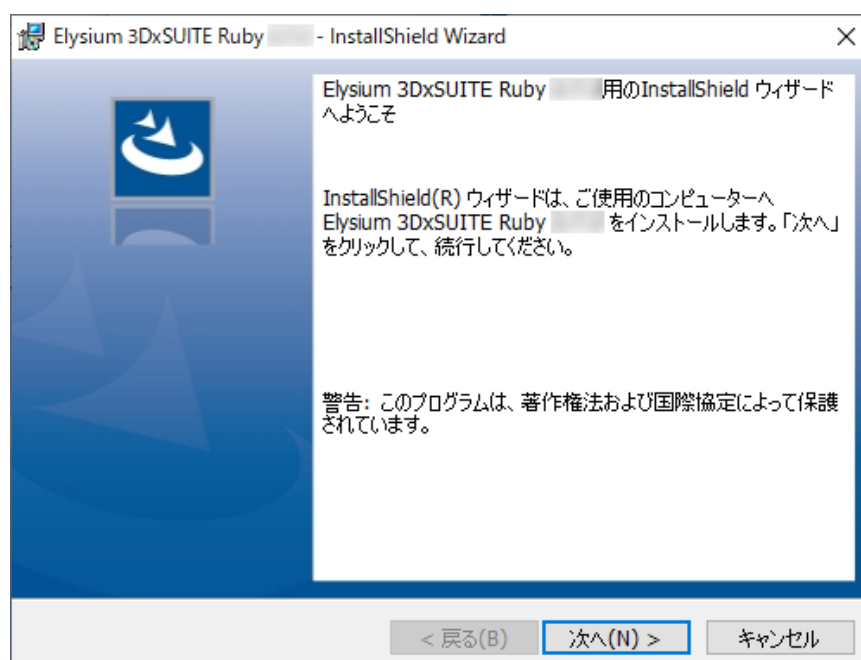
3. このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックし Ruby のインストールを行います。(すでにインストールされている環境では、このダイアログは表示されません。)



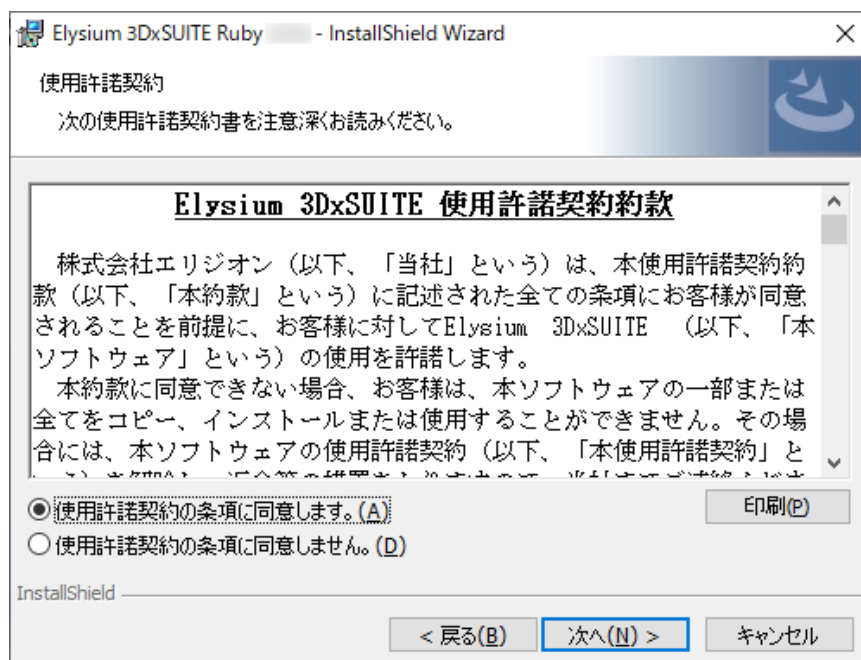
4. Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、11. へ進んでください。
5. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



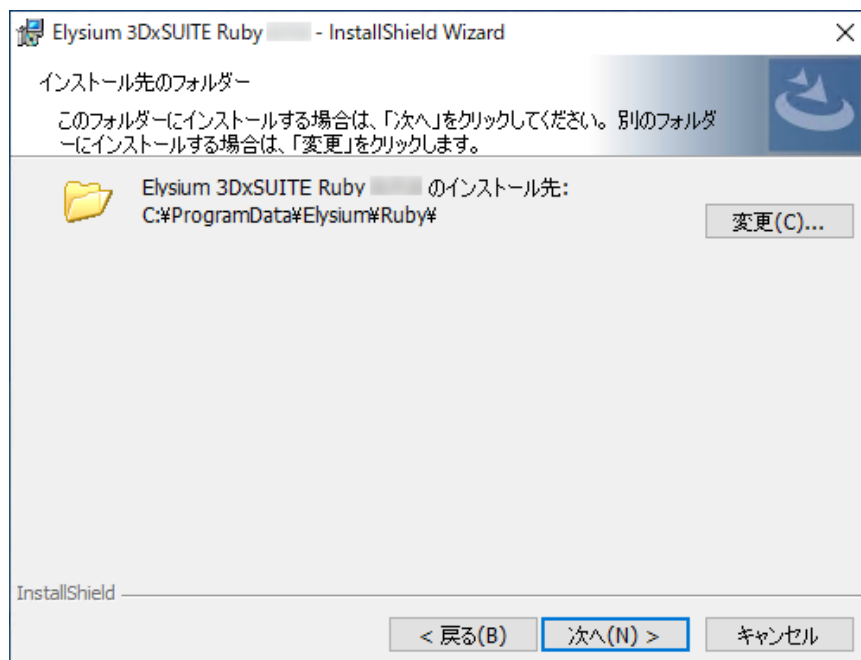
6. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



7. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



8. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ] をクリックします。

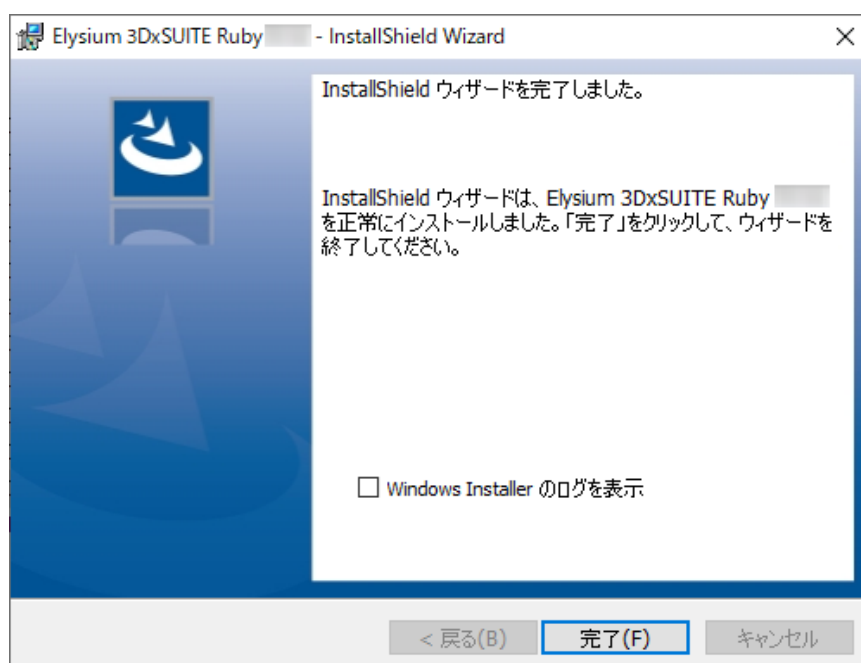


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

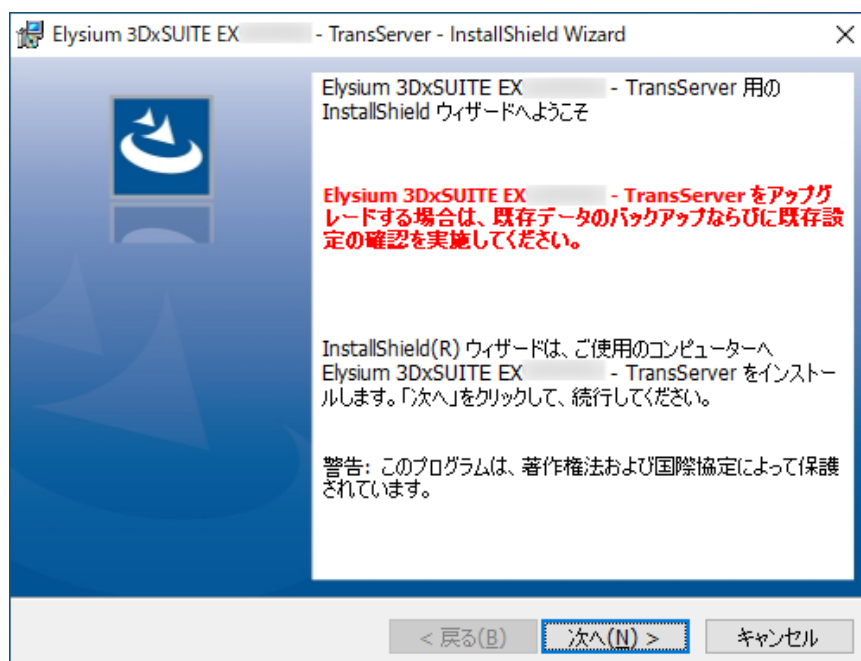
9. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



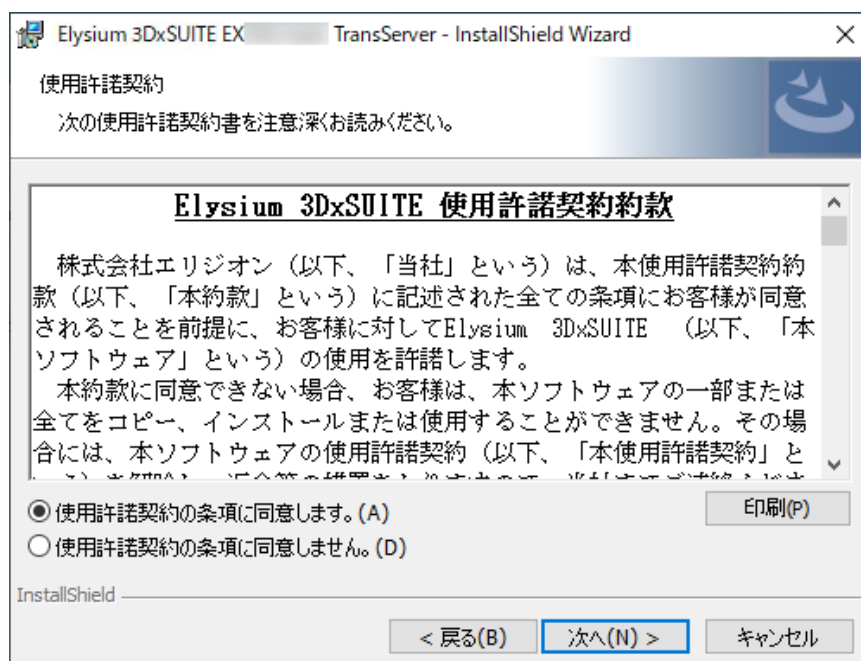
10. インストールが完了すると、以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックして Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーを終了し、TransServer のインストーラーに戻ります。



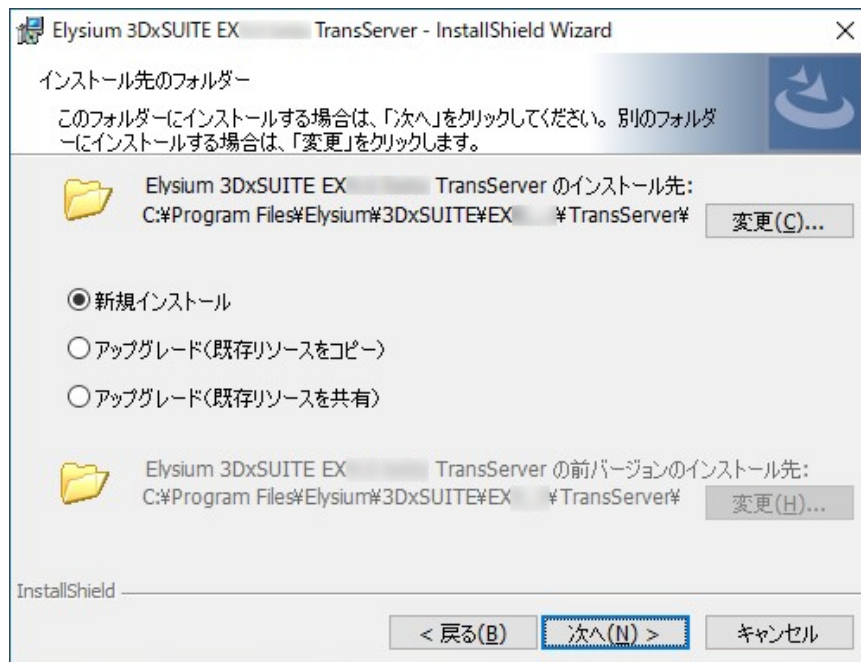
11. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



12. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

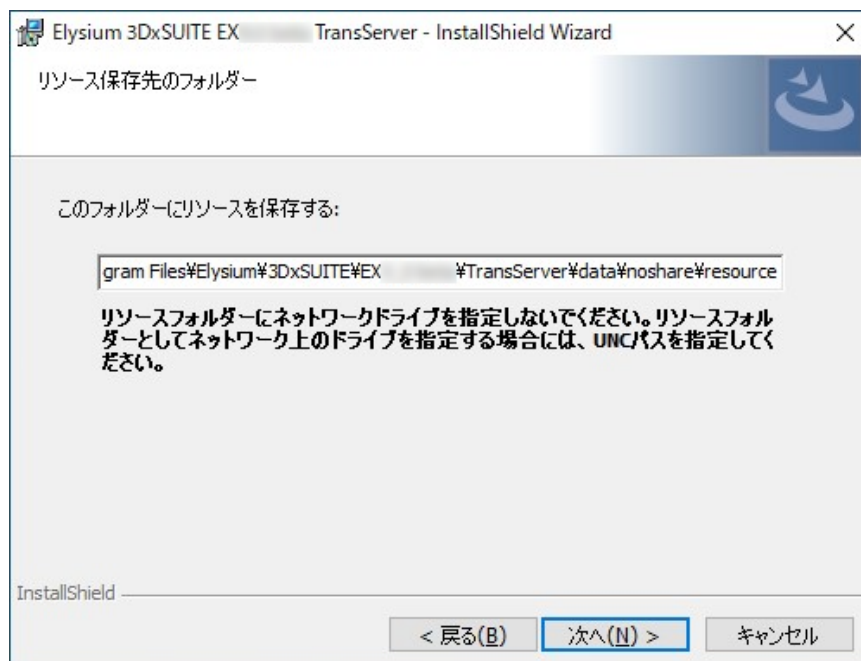


13. インストールフォルダーを指定するダイアログが表示されます。必要に応じて画面上部 "Elysium 3DxSUITE TransServerのインストール先" を変更します。新規インストールが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



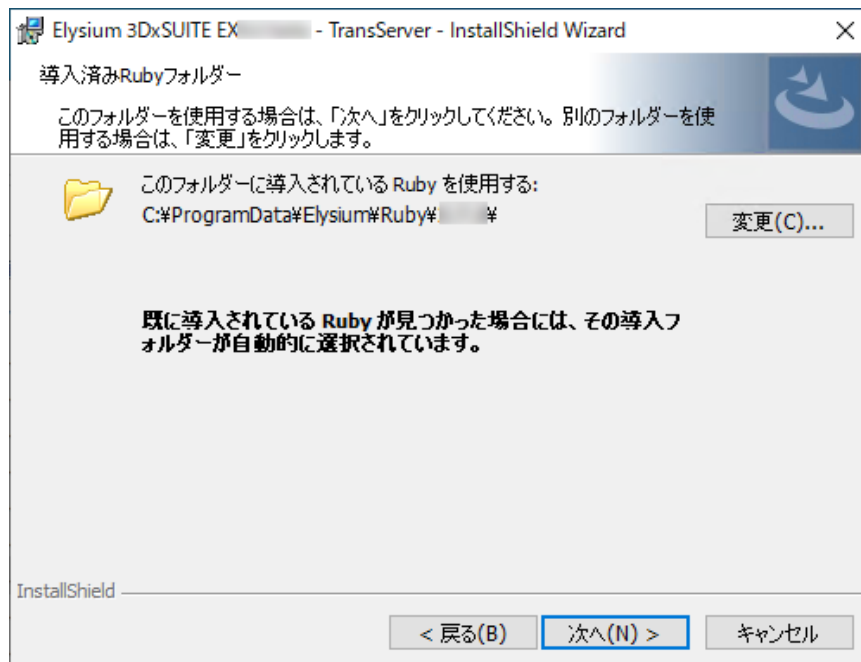
インストールフォルダーのパスは 80 文字以下となるように設定してください。80 文字より長いパスを指定した場合、TransServer が正常に動作しないことがあります。

14. リソースの保存先フォルダーを指定し [次へ] をクリックします。

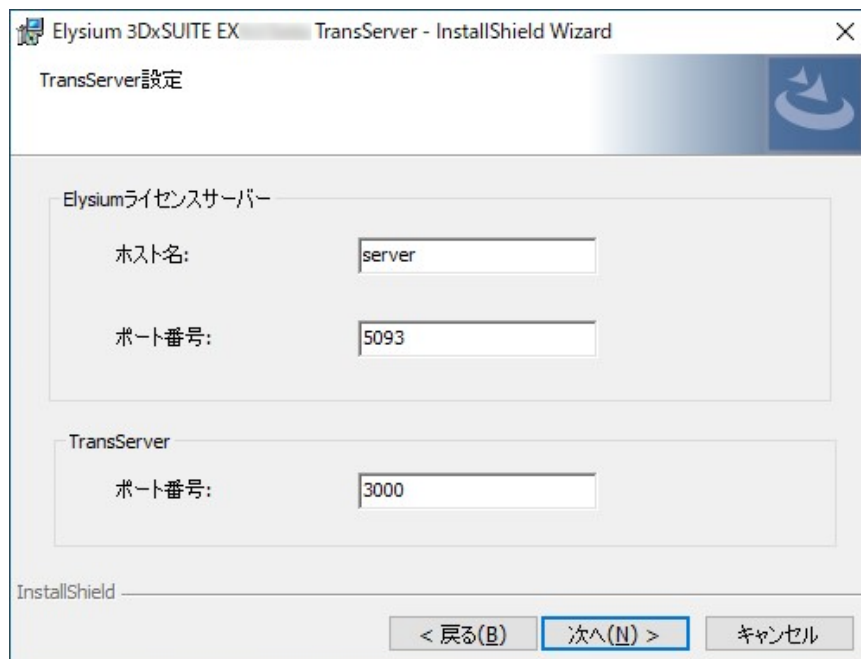


リソースフォルダーにはローカルドライブのパスか UNC パスを指定するようにしてください。ネットワークドライブを含むパス (例 N:\transserver\Resources) を指定した場合 TransServer が正常に動作しない場合があるので、指定しないでください。

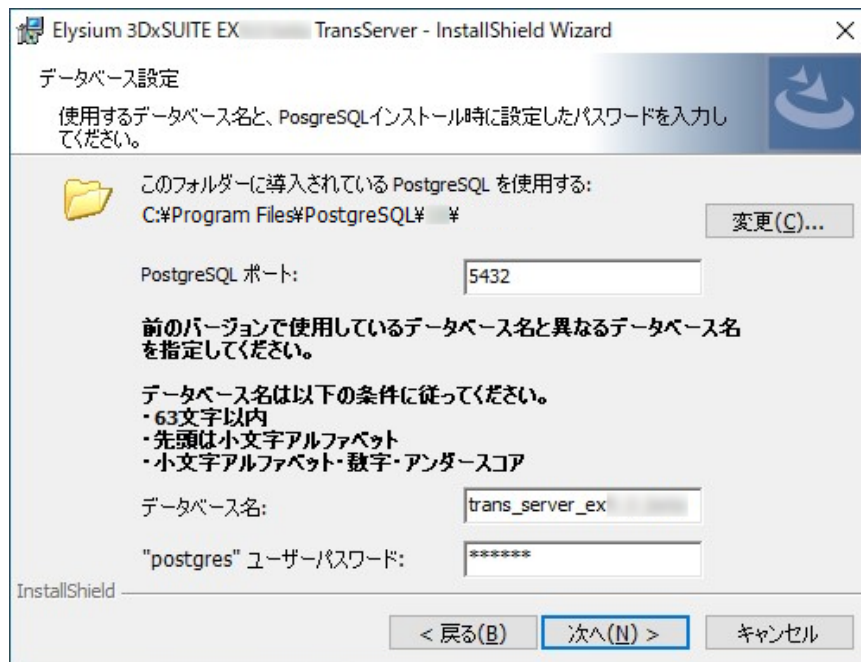
15. Ruby のインストールフォルダーを指定し [次へ] をクリックします。



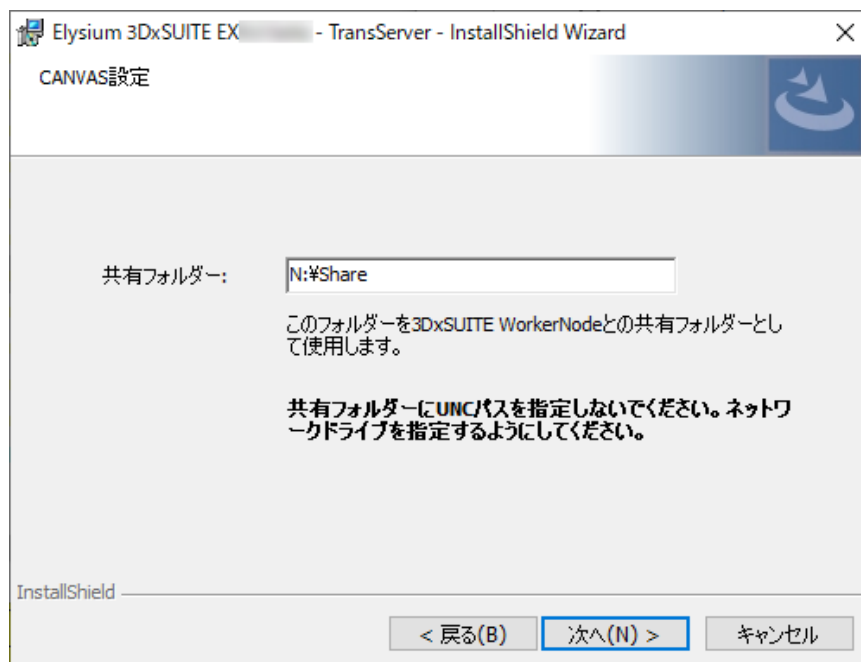
16. エリジオンライセンスが登録されているサーバーのホスト名とポート番号および TransServer が使用するポート番号を指定して [次へ] をクリックします。Elysium ライセンスサーバーは WorkerNode と同じライセンスサーバーを指定してください。



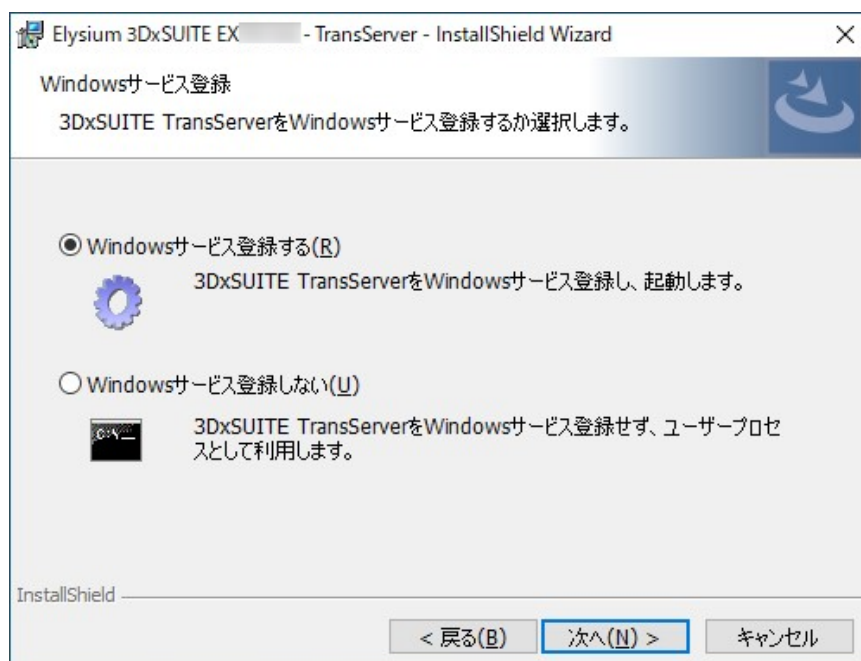
17. PostgreSQL ポートとデータベース名、PostgreSQL の導入時に設定したパスワードを入力します。PostgreSQL ポートは PostgreSQL の導入時に 5432 から変更していなければ、変更する必要はありません。
- データベース名の初期値として trans_server_ex*_*_* が指定されています(*_*_*はバージョン番号)。通常は変更する必要はありませんが、初めてのインストールではなく、以前のデータベースが削除されていない場合は、過去に使用したことのないデータベース名を指定してください。



18. **共有フォルダーの設定** で設定した共有フォルダーを指定します。
(例: N:\share)



19. Windows サービスとして登録するか否かを選択します。"Windowsサービス登録する" を選択した場合は、手順 20. に進みます。"Windowsサービス登録しない" を選択した場合は、手順 22. に進みます。



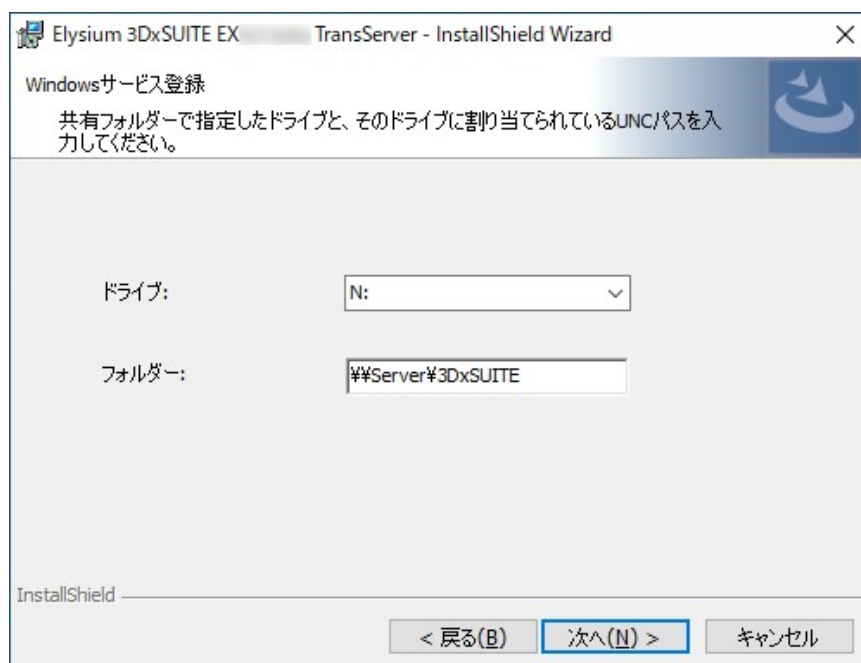
Windows サービスとして登録する場合、コンピューターの起動に併せて TransServer も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要がありません。

これに対し Windows サービスとして登録しない場合、処理に関する情報がコマンドプロンプトに出力されるため、問題が発生した場合にはより多くの情報を得ることができます。

運用の一例としては、定常的に TransServer を稼働させる際にはサービスとして起動し、問題発生時の調査を行う場合や一時的な試験などを実施する場合には対話的ログインで起動するという方法が考えられます。

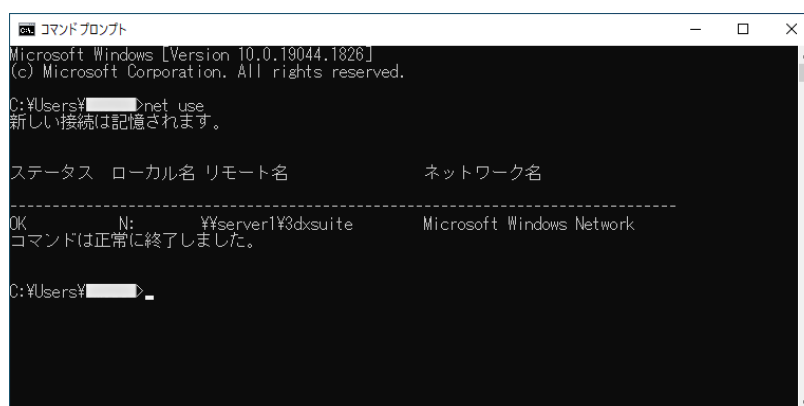
使用目的や想定される使用状況などを踏まえた上で、適切な方法を選択してください。

20. **共有フォルダーの設定** で共有フォルダーを設定した際と同一の内容を設定して [次へ] をクリックします。



上記で指定するドライブレターとネットワークフォルダーパスは、"net use" コマンドで確認できます。

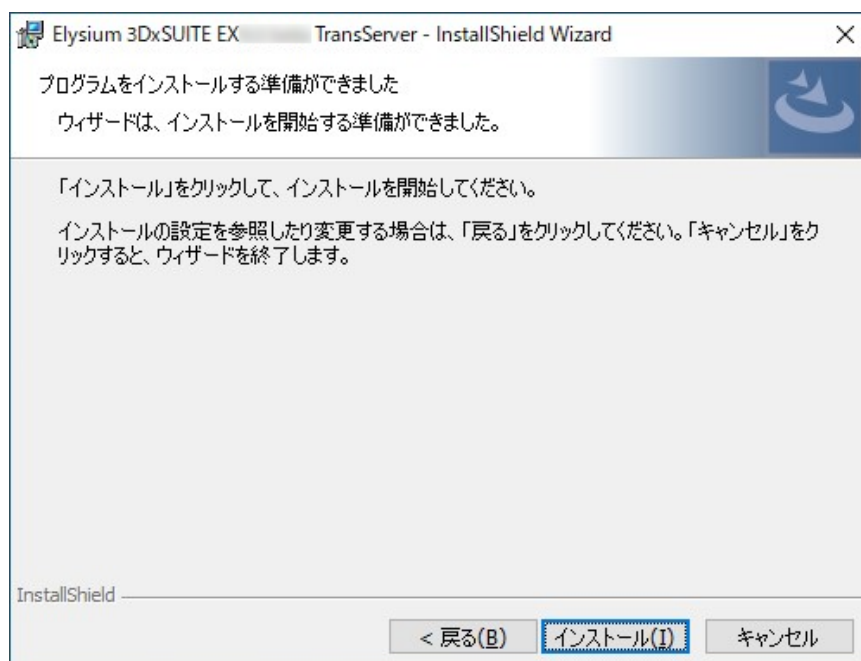
コマンドを実行するとネットワークドライブの一覧が表示されます。9.1.1, “事前準備: 共有フォルダーの設定” で設定した内容を踏まえて、[共通設定] ダイアログに指定してください。



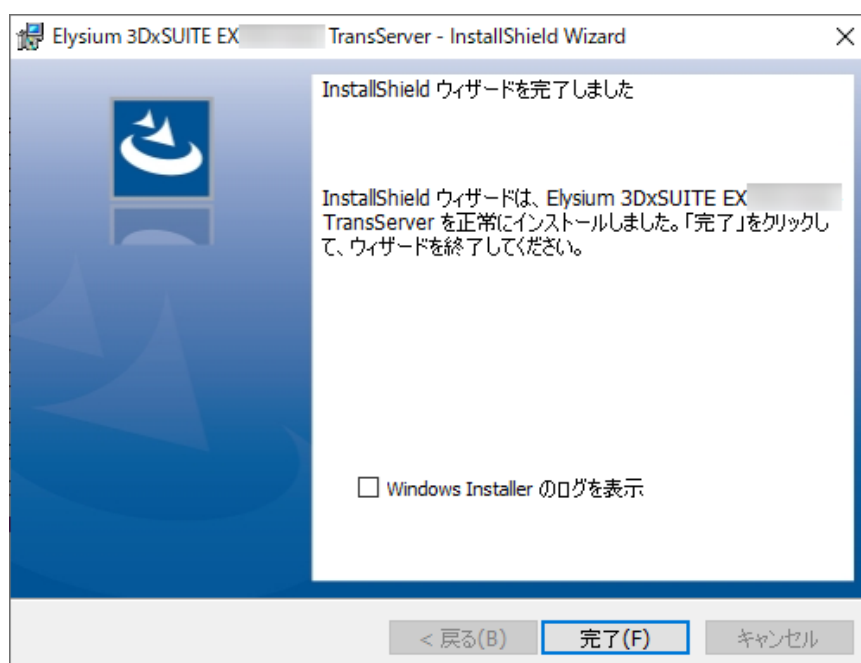
21. 共有フォルダーに対して読み取りおよび書き込みが可能なユーザーのユーザー名とパスワードを入力して [次へ] をクリックします。Active Directory に登録されているユーザーを指定する場合、画面下部の入力欄は空欄のままにしてください。

Active Directory が導入されていない環境にインストールする場合、および Active Directory に登録されていないユーザーを使用する場合には "Active Directory 外のユーザーを指定する" をオンにした上で、画面下部の入力欄に UNC パスに対する読み取りおよび書き込みの権限を持ったユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。

22. [インストール] をクリックします。インストールが開始されます。



23. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてダイアログを閉じます。



24. TransServer を Windows サービスとして登録した場合には、Windows のサービス一覧を開き、"3DxSUITE EX9.1 TransServer Service" というサービスがあることを確認します。サービスが存在し、起動していればインストールは成功です。



- 。サービス一覧は、Windows キーと R キーを同時に押すと表示される "ファイル名を指定して実行" ウィンドウに "services.msc" と入力して [OK] をクリックすると表示されます。
- 。サービスが起動していても TransServer を使用できない場合があります。そのような場合には、タスクマネージャーを起動して httpd.exe プロセスが実行中であるかを確認してください。

25. TransServer 実行ユーザーに対する TransServer 導入フォルダーのアクセス許可をフルコントロールに設定します。

26. 以下の手順で WorkerNode の設定を行います。

- TransServer を起動します。起動方法については、8.4, “起動手順” を参照してください。
- 管理者ユーザーとしてログインし、[管理者機能] - [サービスモニター] を開きます。
- [編集] を選択します。
- [追加] を選択します。
- 追加する WorkerNode のホストとポートを入力した上で [保存] をクリックします。



"受信ポート" を指定することで、WorkerNode からの通信を受ける TransServer のポートを指定できます。この項目の入力は必須ではありません。指定しない場合は、エフェメラルポートが使用されます。

27. TransServer に対するファイアウォール経由の通信を許可するよう設定します。

- Windows キーと R キーを同時に押して "ファイル名を指定して実行" を起動します。
- "名前" に "control.exe /name Microsoft.WindowsFirewall" と入力して [OK] をクリックします。
- 左側のウィンドウで、[Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] を選択します。
- [別のアプリの許可] を選択し、以下のプログラムの通信を許可します。
 - Ruby:
 <Ruby の導入フォルダー>\rubies\ruby-2.7.6\bin\ruby.exe
 (デフォルトでは C:\ProgramData\Elysium\3DxSUITE\Ruby\2.7.6\rubies\ruby-2.7.6\bin\ruby.exe)
 - Apache HTTP Server:
 <TransServer の導入フォルダー>\Apache\<Version>\Apache24\bin\httpd.exe
- [OK] をクリックします。



手順 26 で受信ポートを指定している場合、この手順は不要です。代わりに、指定した受信ポートへの通信を許可するようにファイアウォールを設定してください。



TransServer のインストール手順を動画で公開しています。下記ページの "TransServerのインストール" を参照してください。

- https://www.elysium-global.com/ja/support/3dxsuite/guide_movie/

8.1.4. 複数の WorkerNode の導入

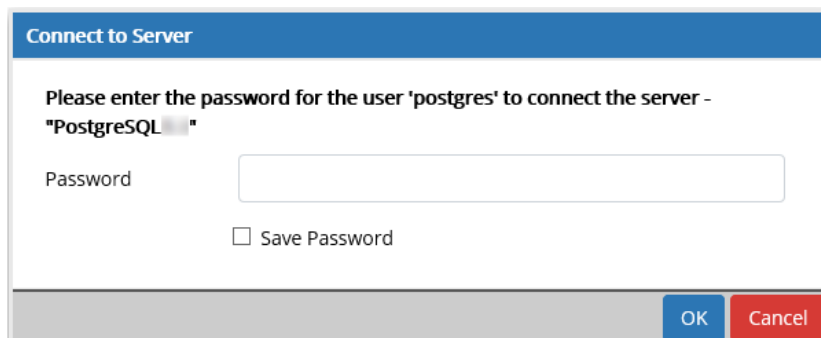
9.2.7, “設定の引き継ぎ” を参照してください。

WorkerNode を 5 つ以上設定する場合、PostgreSQL の最大同時接続数を調整する必要があります。管理者マニュアルの "DBの最大同時接続数の設定" を参照し設定を行ってください。

8.2. アップグレードインストール

8.2.1. インストール前の注意事項

- 3DxSUITE TransServer EX9.1 では、3DxSUITE TransServer EX9.0.* からのアップグレードインストールに対応しております。現在 EX9.0 より前のバージョン (ASFALIS Transserver) をご利用の場合は、先に 3DxSUITE TransServer EX9.0 にアップグレードを行い、その後 3DxSUITE TransServer EX9.1 へのアップグレードを行ってください。
- アップグレードインストールでは、現在ご利用の TransServer の各種設定およびデータは自動的に引き継がれます。
- アップグレードによってアップグレード前の環境が影響を受けることはありませんが、万一に備えて事前にバックアップを行うことを推奨します。バックアップの方法は、管理者マニュアルの "バックアップ / リストア" をご参照ください。
- 事前に、%APPDATA%\postgresql\pgpass.conf にパスワードファイルが設定されている必要があります。以下の手順で設定 / 確認を行ってください。
 1. Windows のスタートメニューから [PostgreSQL 12.*] - [pgAdmin 4] を選択して、pgAdmin 4 を起動します。
 2. オブジェクトブラウザーから PostgreSQL 12.* (初期設定の場合、localhost: 5432) をダブルクリックします。"サーバーに接続" ダイアログが表示されたらパスワードを入力し "パスワード保存" をオンにして [OK] をクリックします。



すでにパスワードが保存されている場合は、"サーバーに接続" ダイアログは表示されません。

3. pgAdmin 4 を終了します。TransServer のインストールを行う際は、必ず pgAdmin 4 を終了させてから行ってください。
- アップグレードインストールを実施する際には、事前に ASFALIS TransServer および 3DxSUITE TransServer を停止してください。
- 以前のバージョンの ASFALIS TransServer もしくは 3DxSUITE TransServer がサービスとして登録されている場合には、事前にサービスを停止して、"スタートアップの種類" を "手動" に変更してください。これは複数バージョンの ASFALIS TransServer および 3DxSUITE TransServer サービスが同時に起動しないようにするためです。手順は以下の通りです。
 1. Windows キーと R キーを同時に押して "ファイル名を指定して実行" ウィンドウを開き、"services.msc" と入力して OK をクリックします。
 2. "3DxSUITE EX9.1 TransServer Service" サービスを停止します。
 3. "3DxSUITE EX9.1 TransServer Service" サービスのプロパティを開き、"スタートアップの種類" を "手動" に変更します。
 4. [OK] をクリックしてプロパティを閉じます。
 5. アップグレードを実施します。

8.2.2. TransServer のインストール

以下の手順に従って導入、設定を行ってください。

1. TransServer のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE TransServer パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe
2. Elysium 3DxSUITE Ruby のインストールおよび TransServer インストーラーの画面遷移は、新規インストールと同様です。
3. TransServer インストーラーの "インストール先のフォルダー" 画面では以下のように指定してください。

"Elysium 3DxSUITE TransServerのインストール先"

TransServer をインストールするフォルダーを指定します。[変更] からフォルダーを変更できます。"Elysium 3DxSUITE TransServerの前バージョンのインストール先" とは異なるフォルダーを指定してください。

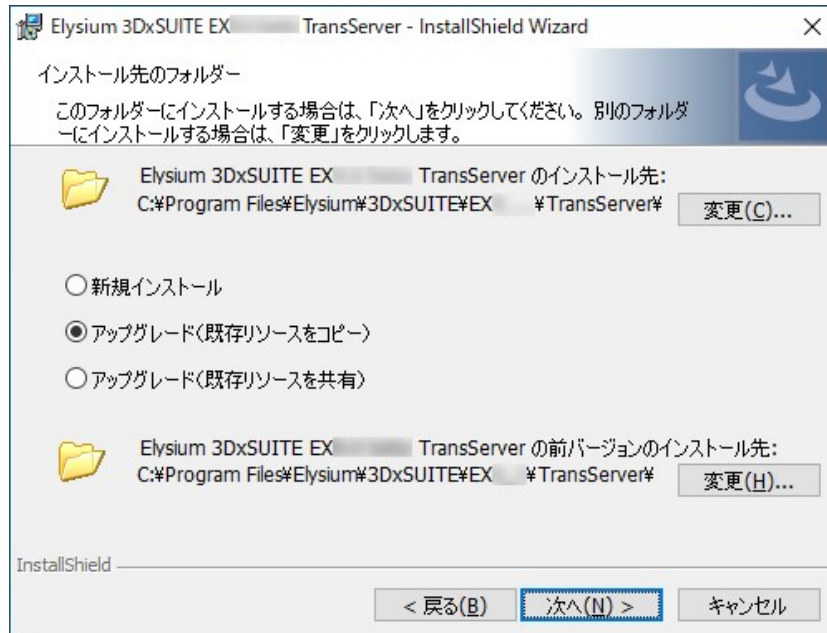
"Elysium 3DxSUITE TransServerの前バージョンのインストール先"

前バージョンの TransServer をインストールしたフォルダーを指定します。[変更] をクリックするとフォルダーを変更することができます。

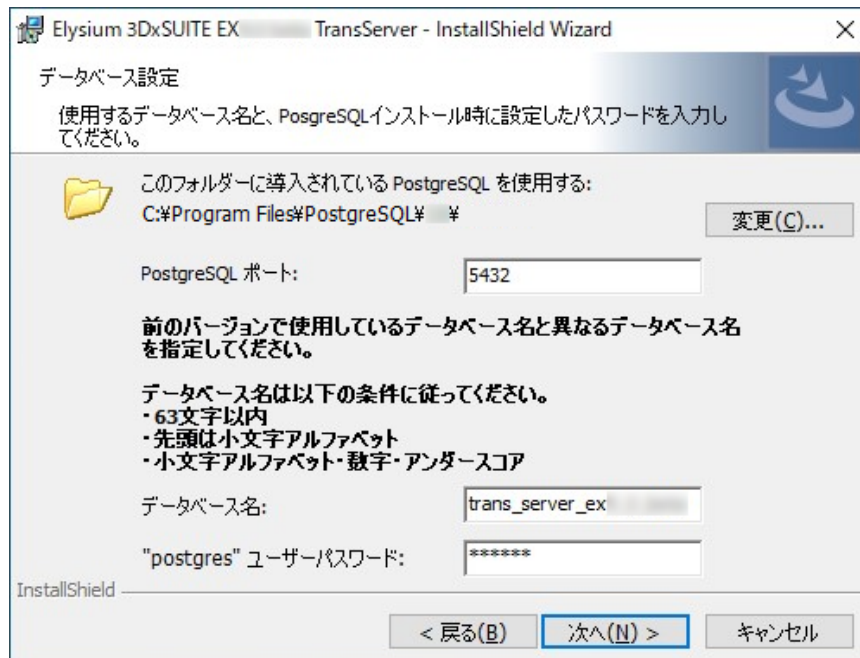
アップグレード (既存リソースをコピー) または アップグレード (既存リソースを共有) を選択します。

- アップグレード (既存リソースをコピー) の場合、前バージョンのリソースをコピーして使用します。

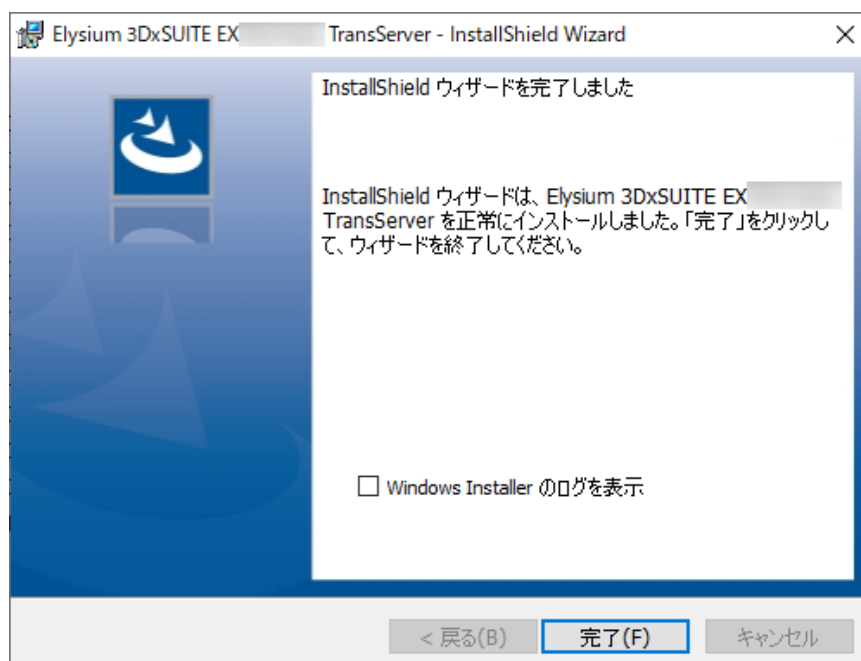
- 。アップグレード (既存リソースを共有) の場合、前バージョンのリソースをそのまま参照します。ディスク容量の制限などでリソースの保存先を変更している場合は、こちらを選択してください。



4. "データベース設定" 画面では、PostgreSQL ポートとデータベース名、PostgreSQL の導入時に設定したパスワードを入力します。PostgreSQL ポートには、利用するバージョンの PostgreSQL が起動しているポートを指定してください。データベース名の初期値として trans_server_ex*_* が指定されています (*_* はバージョン番号)。アップグレードインストールの場合は、必ず **過去に使用したことのないデータベース名を指定してください**。



5. 画面に従ってインストールを進めます。インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてダイアログを閉じます。



- Windows サービス登録を行う場合には、共有フォルダーの情報を指定する際に、当該フォルダーに対して読み取りおよび書き込みが可能なユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- Active Directory が導入されていない環境で TransServer を Windows サービスとして登録する場合は、ウィザードの中で "Windows サービス登録しない" を選択してください。その上で [9.2.4, “Windows サービスの登録と削除”](#) に従って手動でサービス登録を実施してください。



Windows サービスとして登録する場合、コンピューターの起動に併せて TransServer も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要はありません。

これに対し Windows サービスとして登録しない場合、処理に関する情報がコマンドプロンプトに出力されるため、問題が発生した場合にはより多くの情報を得られます。

運用の一例としては、定常的に TransServer を稼働させる際にはサービスとして起動し、問題発生時の調査を行う場合や一時的な試験などを実施する場合には対話的ログインで起動するという方法が考えられます。

使用目的や想定される使用状況などを踏まえた上で、適切な方法を選択してください。

6. TransServer を Windows サービスとして登録した場合には、Windows のサービス一覧を開き、"3DxSUITE EX9.1 TransServer Service" というサービスがあることを確認します。サービスが存在し、起動していればインストールは成功です。



- 。サービス一覧は、Windows キーと R キーを同時に押すと表示される "ファイル名を指定して実行" ウィンドウに "services.msc" と入力して OK をクリックすると表示されます。
- 。サービスが起動していても TransServer を使用できない場合があります。そのような場合には、タスクマネージャーを起動して httpd.exe プロセスが実行中であるかを確認してください。

7. TransServer 実行ユーザーに対する TransServer 導入フォルダーのアクセス許可をフルコントロールに設定します。

8.2.3. データベースの削除方法

アップグレード後に古いバージョンの TransServer データベースを削除する場合は、次の手順に従います。なお、この作業はアップグレードインストールに必須ではありません。

1. Windows のスタートメニューから [PostgreSQL 12] - [pgAdmin 4] を選択します。
2. オブジェクトブラウザーから "PostgreSQL 12" (初期設定の場合 localhost:5432) をダブルクリックし、表示されたダイアログにパスワードを入力します。データベースを開き、作成したデータベース名 (デフォルトでは trans_server_ex*_*)。*_* はバージョン番号) を右クリックし [削除/抹消] を選択します。

8.3. インストール後の設定変更

8.3.1. アプリケーションサーバーのインスタンス数変更方法

同時利用ユーザー数に応じてアプリケーションサーバー数を変更してください。設定方法は管理者マニュアルの "アプリケーションサーバー管理設定のチューニング" を参照してください。

8.3.2. リソースの保存フォルダー変更方法

ディスク容量に応じてリソースの保存フォルダーを変更してください。

1. TransServer を停止します。
2. 以下を実行してコマンドプロンプトを起動します。
<3DxSUITE TransServerの導入フォルダー>\k2dashboard\start-console.bat
3. 以下のコマンドを実行します。

```
bundle exec rake ats:resources:copy RESOURCE_PATH=(リソースの保存先に指定するフォルダーのフルパス)
```

4. 変更前のリソースフォルダーを削除します。
5. 以下のファイルをテキストエディターで開きます。
<3DxSUITE TransServerの導入フォルダー>\config\k2server.ini

6. K2server セクションにある PrivateResourcePath の値を、リソースの保存先に指定するフォルダーの絶対パスに変更します。(*)
7. TransServer を再起動します。

(*) ここで指定した内容はアップグレードを行う際に必要となります。何らかの方法で記録しておいてください。



リソースフォルダーにはローカルドライブのパスか UNC パスを指定してください。ネットワークドライブを含むパス (例: N:\transserver\resources) を指定した場合 TransServer が正常に動作しない場合がありますので、指定しないでください。

8.3.3. ライセンスサーバーの変更方法

ライセンスサーバーを変更する場合は WorkerNode、TransServer それぞれに対して以下の手順で設定を変更してください。

TransServer

1. テキストエディターで以下のファイルを開きます。
<3DxSUITE TransServer導入フォルダー>\set_ruby_env.bat
2. ELY_SEC_SERVER, ELY_SEC_PORT の値を新しいライセンスサーバーにあわせて変更し上書き保存します。
3. TransServer を再起動します。

WorkerNode

1. スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE WorkerNode] - [3DxSUITE WorkerNode EX9.1の設定] を起動します。
2. ノード一覧からノードを選択し、"共通" タブの "エリジオンライセンスサーバー" にてホスト名とポート番号を変更し、[適用] をクリックします。
3. WorkerNode を再起動します。

TransServer と WorkerNode は同じライセンスサーバーを参照するようにしてください。

8.3.4. 共有フォルダーの変更方法

インストール時に指定した共有フォルダーのパスを変更したい場合は、以下の手順で設定を変更してください。共有フォルダーを設定する際の注意点は、[共有フォルダーの設定](#) を参照してください。

1. TransServer を停止します。
2. テキストエディターで以下のファイルを開きます。
<3DxSUITE TransServerの導入フォルダー>\set_ruby_env.bat
3. "@set SHARED_FOLDER=" に続く部分の内容を変更します。
4. 変更内容を保存してテキストエディターを終了します。
5. TransServer を開始します。

また TransServer を Windows サービス登録しており、かつネットワークドライブの設定を変更している場合には、以下の手順も併せて実行してください。

1. TransServer サービスを停止します。
2. テキストエディターで以下のファイルを開きます。
<3DxSUITE TransServerの導入フォルダー>\config\k2server.ini
3. 以下の部分について値を変更します。
SharedFolderDriveLetter=
SharedFolderUncPath=
4. 変更内容を保存してテキストエディターを終了します。
5. TransServer サービスを開始します。

8.4. 起動手順

Windows サービスとして登録している場合

TransServer サービスは OS 起動時に自動的に起動するように設定されています。特に作業は必要ありません。

正常に起動した場合、アプリケーションイベントログに ID 0 のイベントが記録されます。起動時に問題が起きた場合には、ID 818 のイベントや ID 819 のイベントが記録されます。

Windows サービスとして登録していない場合

スタートメニューの [Elysium 3DxSUITE TransServer] - [3DxSUITE TransServer EX9.1 の起動] を実行します。実行すると、以下のウインドウが起動します。

- TransServer
- Kloggr
- Apache
- k2scheduler
- Rails <数字>



TransServer サービスが実行中の場合、スタートメニューから起動することはできません。

8.4.1. サーバー設定

クライアントコンピューターのブラウザから以下のアドレスを開き、管理者ユーザーとしてログインします。

アドレス	http:// <TransServerホスト名> : <ポート番号(初期値:3000)>
	例) http://server:3000

初期アカウント	ユーザー名: admin パスワード: admin
---------	------------------------------

[管理者機能] - [サーバー設定] から以下の項目を設定します。

	設定名	説明
1	system.default.timezone	ユーザー新規登録時に使われる既定のタイムゾーンです。
2	web.common.server_base_address	TransServer 利用者向けの起点となる URL を設定します。
3	scheduler.error_mail.sender	Job 実行に失敗した際に送信されるメールの送信者を指定します。
4	scheduler.error_mail_recipient	Job 実行に失敗した際に送信されるメールの受信者を指定します。
5	system.monitor.error_mail_recipient	システム監視時に異常が発生した際に送信されるメールの受信者を指定します。
6	system.mail.smtp_server	メール送信用の SMTP サーバーを FQDN(完全修飾ドメイン名) で設定します。
7	system.mail.smtp_port	メール送信用の SMTP ポートを指定します。
8	system.mail.smtp_default_domain	メール送信時に使用するデフォルトのドメインを設定します。

8.5. 終了手順

Windows サービスとして登録している場合

サービス一覧から TransServer サービスを停止します。

正常に終了した場合、アプリケーションイベントログに ID 0 のイベントが記録されます。終了時に問題が起きた場合には、ID 818 のイベントや ID 819 のイベントが記録されます。

Windows サービスとして登録していない場合

スタートメニューの [Elysium 3DxSUITE TransServer] - [3DxSUITE TransServer EX9.1 の停止] を実行します。

8.6. アンインストール手順

TransServer を再インストールする場合は、あらかじめデータベースの情報をバックアップしておき、再インストール後にリストアしてください。バックアップ、リストアの手順については別冊の "3DxSUITE TransServer 管理者マニュアル" をご参照ください。

TransServer はサイレントアンインストールには対応していません。手動アンインストールを行ってください。

1. コントロールパネルの "プログラムのアンインストール" より、以下のプログラムをアンインストール

ツールします。事前に TransServer を停止してください。Windows サービスとして登録している場合にはサービスを停止してください。

i. Elysium 3DxSUITE TransServer

ii. Elysium 3DxSUITE Ruby

同じコンピューターに他の 3DxSUITE 製品がインストールされており、その使用を継続する場合は、Ruby のアンインストールは行わないでください。

iii. PostgreSQL

PostgreSQL を TransServer 以外の用途にも使用している場合は、TransServer のデータベースの削除を実行してください。

データベースの削除手順は [8.2.3, “データベースの削除方法”](#) を参照してください。

2. アンインストールしたプログラムのインストールフォルダーを削除します。

9. Elysium 3DxSUITE WorkerNode

事前にインストールする必要があるプログラム

- [Components](#)

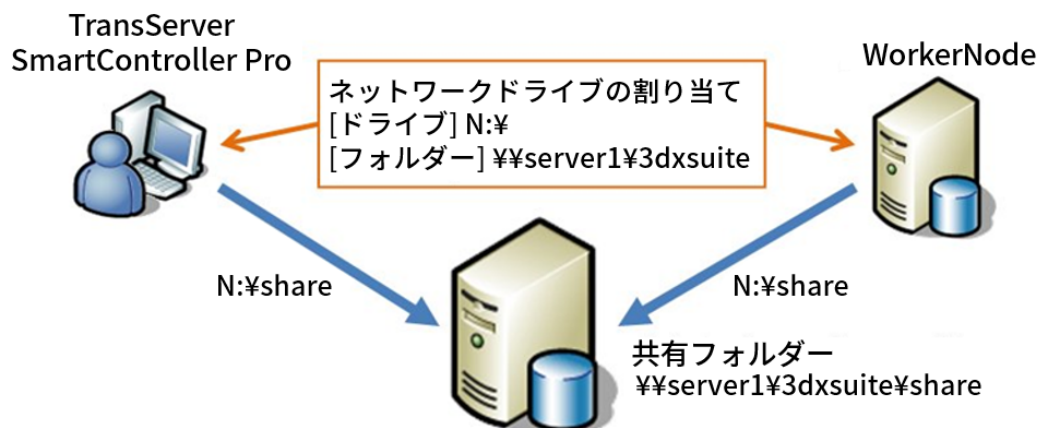
9.1. インストール手順

9.1.1. 事前準備: 共有フォルダーの設定

WorkerNode をインストールしたコンピューターと WorkerNode を使用するアプリケーションをインストールしたコンピューターは、1 つのフォルダーを同じパス (例. N:\share) で共有する必要があります。ここでは、各コンピューターにネットワーク経由で共有されるフォルダー (以降は共有フォルダーと表記) を設定する方法を説明します。

共有フォルダーを設定する際、以下の点に注意してください。

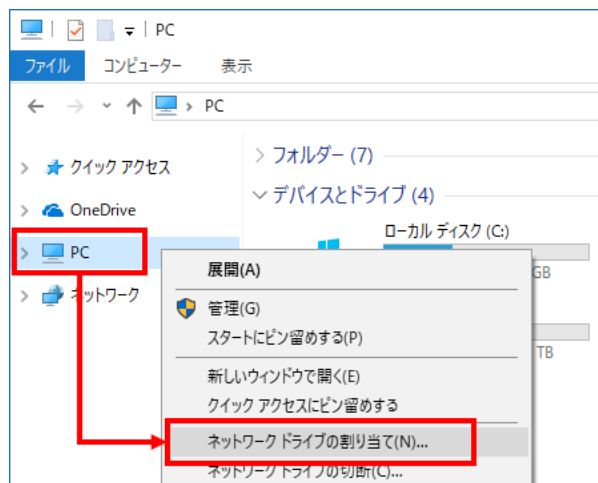
- データ処理時の出力フォルダーやワークフォルダーは共有フォルダーの下に作成されるため、共有フォルダーには 空き容量の大きなドライブを割り当てる必要があります。
- 共有フォルダーには UNCパス (\\ で始まるパス) を設定することはできません。



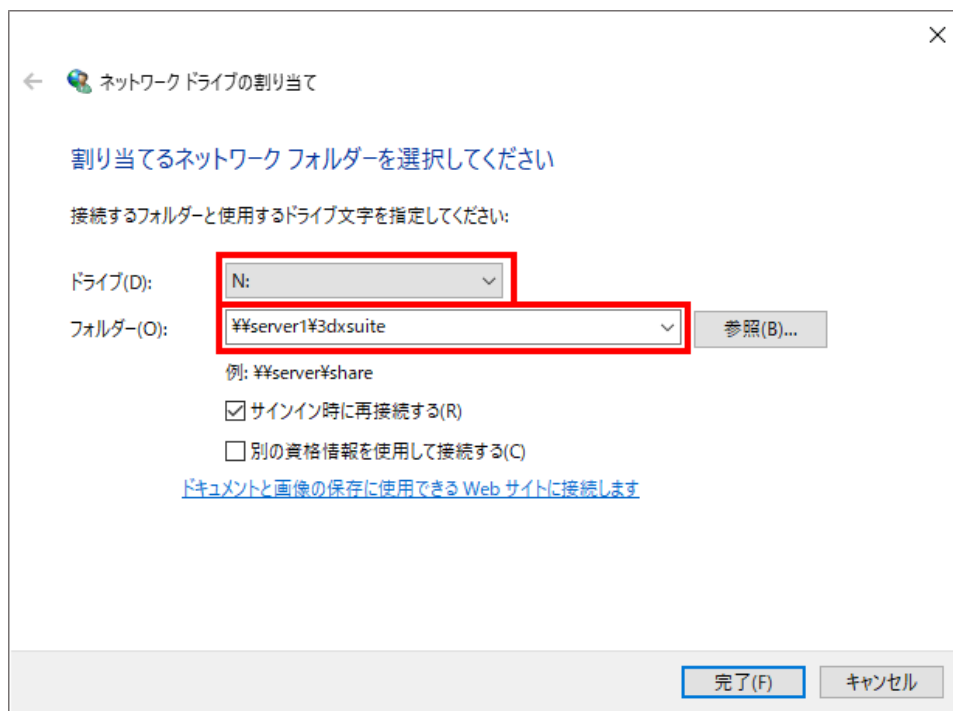
上の例では、server1 というコンピューターのフォルダー "\\server1\3dxsuite\share" を共有フォルダーとしています。ただし共有フォルダーに UNC パスを設定できないため、 "\\server1\3dxsuite" というフォルダーを N ドライブに割り当てて "N:\share" というパスに変更してから共有フォルダーとして使用しています。

UNC パスを任意のドライブに割り当てる方法

1. [PC] を右クリックして、[ネットワーク ドライブの割り当て] を選択します。



2. ドライブ欄からドライブ名を選び、フォルダー欄には割り当てる UNC パスを設定します。最後に [完了] をクリックします。



上記の設定は、WorkerNode をインストールしたコンピューターや、WorkerNode を利用するアプリケーションをインストールしたすべてのコンピューターに対して行ってください。

9.1.2. 手動インストール

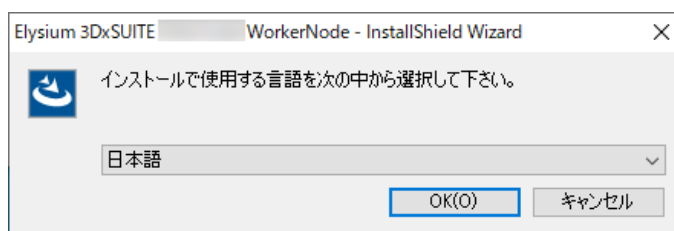


インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。
事前にインストールする必要のあるプログラムがインストールされていない場合、実行が中止されます。

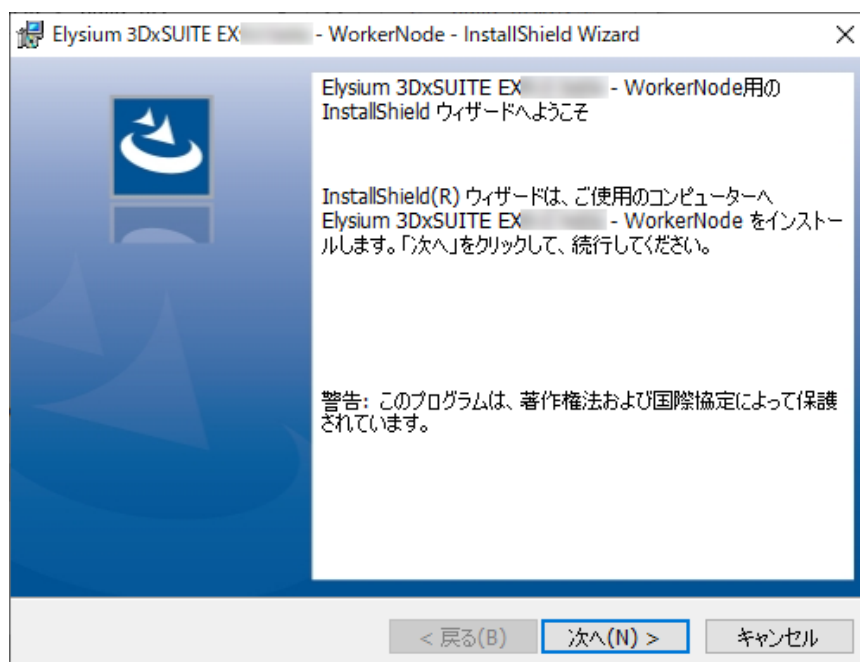
1. WorkerNode のインストーラーを実行します。

- 。インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE WorkerNode パッケージ>\
- 。インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe

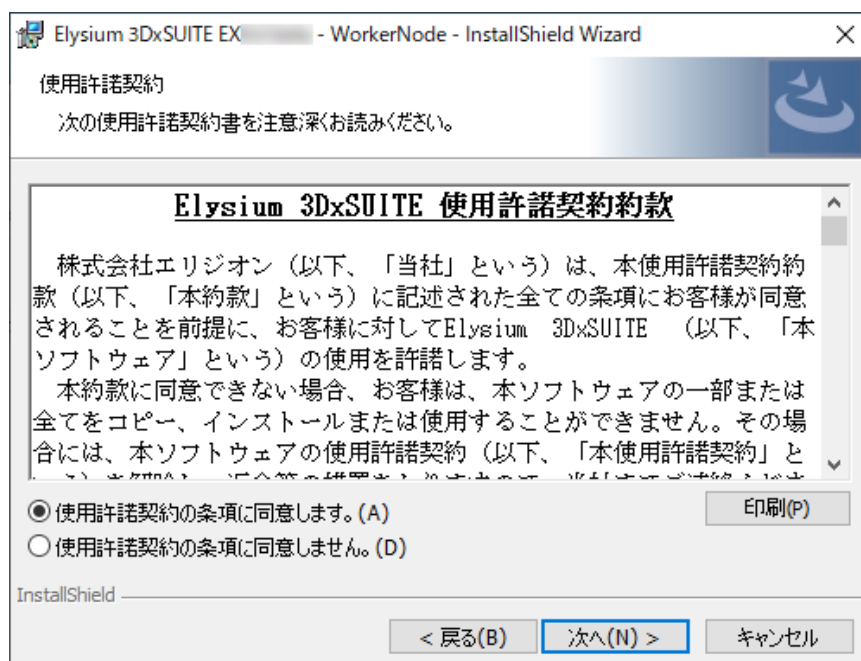
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。日本語と英語が選択可能です。



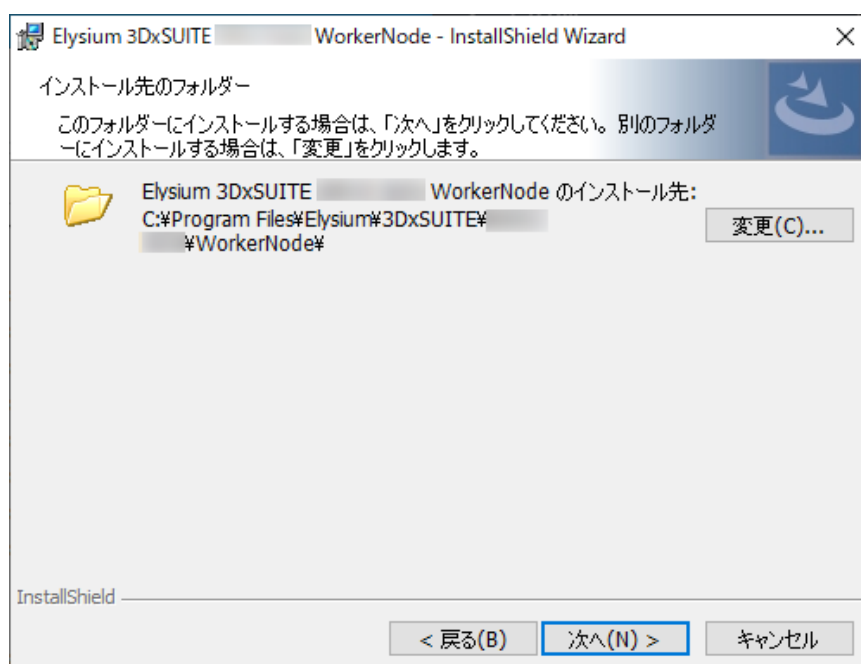
3. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



4. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。

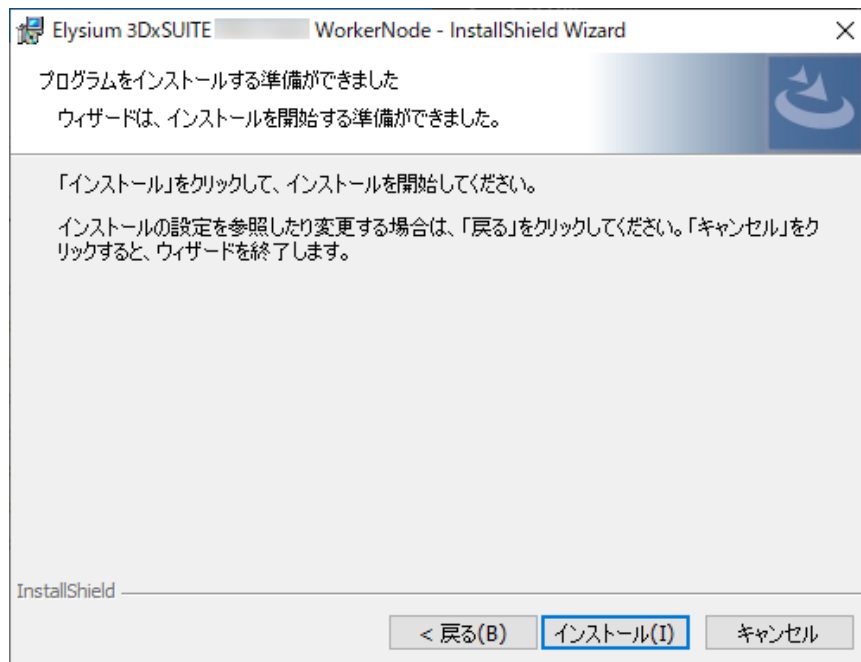


5. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

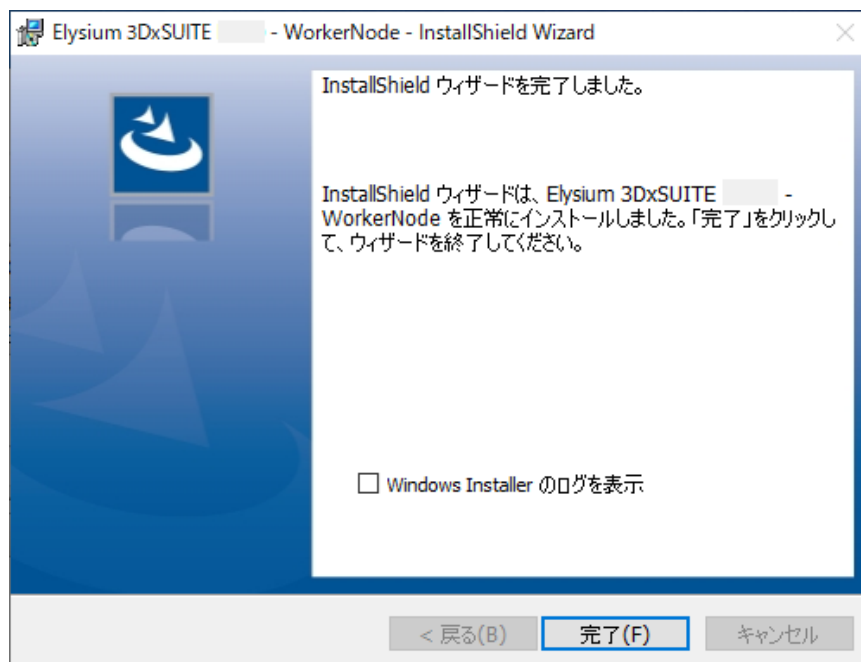


インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

6. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



SmartController Pro もしくは TransServer が動作するコンピューターから WorkerNode が動作するコンピューターの名前を解決できるようにしておく必要があります。同じく WorkerNode から SmartController Pro もしくは TransServer が動作するコンピューターの名前も解決できるようにしておく必要があります。

9.1.3. サイレントインストール

コマンドにて WorkerNode の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明を参照してください。

- コマンド例

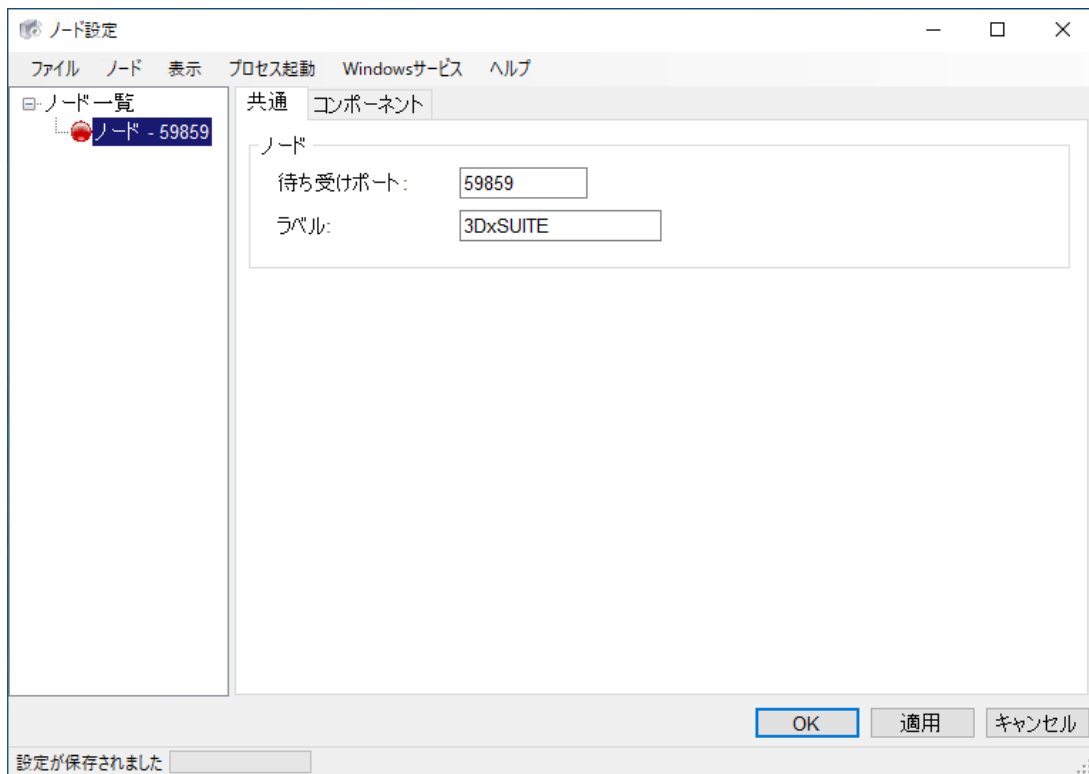
```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe /s /v "/l* \"C:\temp\install.log\"  
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\WorkerNode\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

9.2. WorkerNode の設定

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE WorkerNode] - [3DxSUITE WorkerNode EX9.1の設定] を選択すると以下のダイアログが起動します。WorkerNode の設定はこのダイアログ上で行います。



導入済みの WorkerNode から設定を引き継ぐことも可能です。手順については [9.2.7, “設定の引き継ぎ”](#) を参照してください。

9.2.1. [共通設定] ダイアログ

[共通設定] ダイアログは、メニューから [ファイル] - [共通設定] を選択すると表示されます。このダイアログでは、以下の内容を設定できます。

- エリジオンライセンスサーバー
ライセンスサーバーの動作しているコンピューターのホスト名とポート番号を指定します。
- 作業フォルダー設定
WorkerNode をインストールしたコンピューターが、SmartController Pro や TransServer をインストールしたコンピューターと共有するフォルダーの情報を設定します。 [9.1.1, “事前準備: 共有フォルダーの設定”](#) で設定した内容を踏まえてドライブレターとネットワークフォルダーパスを指定してください。
"ユーザー"、"パスワード"、"パスワード(再入力)" は、WorkerNode のプロセスを起動するユーザー、もしくは WorkerNode のサービスを実行するユーザーが、指定したネットワークフォルダーパスにアクセスできない場合のみ指定してください。それらのユーザーが指定したネットワークフォルダーパスにアクセスできる場合、指定する必要はありません。例としてネットワークフォルダーをマウントするユーザーと、WorkerNode を起動するユーザーが異なる場合などには指定する必要があります。
- その他
WorkerNode の出力するログを開く際に使用するアプリケーションを指定します。

共通設定

エリジオンライセンスサーバー

ホスト: *****

ポート番号: 5093

作業フォルダー設定

ドライブレター: N:

ネットワークフォルダーパス: \\server1¥3dxsuite

サービス起動時に上記パスにアクセスするためのユーザーを指定してください。
ログオンユーザーでパスにアクセスできる場合は指定の必要はありません。

ユーザー: user

パスワード: *****

パスワード(再入力): *****

その他

ログファイルを開くために使用するアプリケーション: Notepad.exe

OK キャンセル

"作業フォルダー設定" で指定するドライブレターとネットワークフォルダーパスは、"net use" コマンドで確認できます。

コマンドを実行すると、ネットワークドライブの一覧が表示されます。[9.1.1, “事前準備: 共有フォルダーの設定”](#) で設定した内容を踏まえて、[共通設定] ダイアログに指定してください。



```
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1826]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

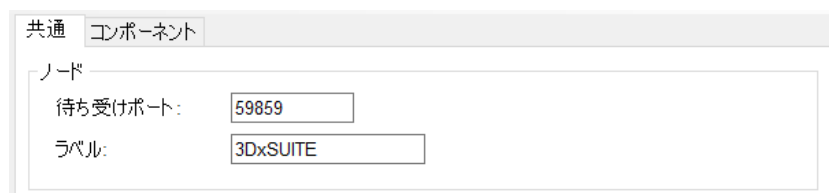
C:\Users¥>net use
新しい接続は記憶されます。

ステータス   ローカル名  リモート名           ネットワーク名
-----
OK           N:         \\server1¥3dxsuite    Microsoft Windows Network
コマンドは正常に終了しました。

C:\Users¥>
```

9.2.2. [共通] タブ

[共通] タブでは、以下の内容を設定できます。



The screenshot shows a configuration window with two tabs: '共通' (Common) and 'コンポーネント' (Component). The 'コンポーネント' tab is selected. Under the 'ノード' (Node) section, there are two input fields: '待ち受けポート:' (Waiting Port) with the value '59859' and 'ラベル:' (Label) with the value '3DxSUITE'.

【ノードの設定】

- 待ち受けポート

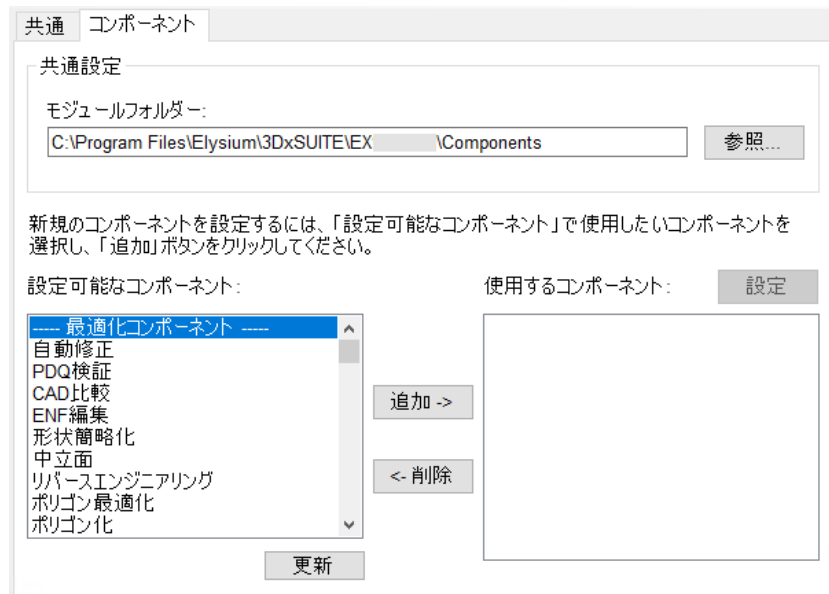
WorkerNode を利用するアプリケーションからの通信を受信するポートの番号を指定します。他のプログラムで使用していない番号を指定してください。

- ラベル

複数の WorkerNode をグループ化するための項目です。コンポーネントの WorkerNodeLabel パラメーターにグループのラベルを指定することで、グループに属するいずれかの WorkerNode に処理を実行させることができます。同一のラベルを指定した WorkerNode が同一のグループに所属するものとして扱われます。グループ化する必要がない場合は変更する必要はありません。

9.2.3. [コンポーネント] タブ

[コンポーネント] タブでは、使用したい Component の有効化および CAD の導入フォルダーなどコンポーネントの動作に必要な情報を設定します。



【共通設定】

- モジュールフォルダー
WorkerNode で使用する Component が導入されているフォルダーを指定します。

【使用するコンポーネントの設定】

- 設定可能なコンポーネント
この WorkerNode で設定可能な Component (Adapter および Optimizer) の一覧です。
- 使用するコンポーネント
この WorkerNode で動作するように指定された Component の一覧です。

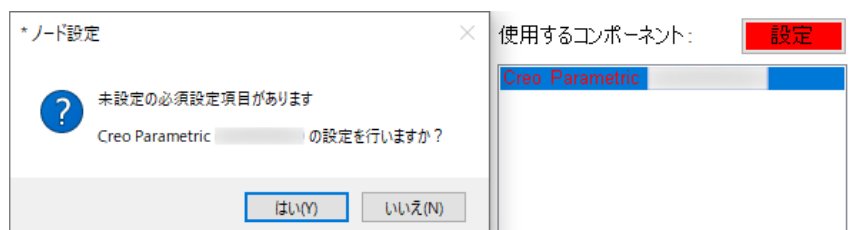
コンポーネントの追加と削除

1. 設定可能なコンポーネントの一覧から使用したいコンポーネントを選択して [追加] をクリックします。

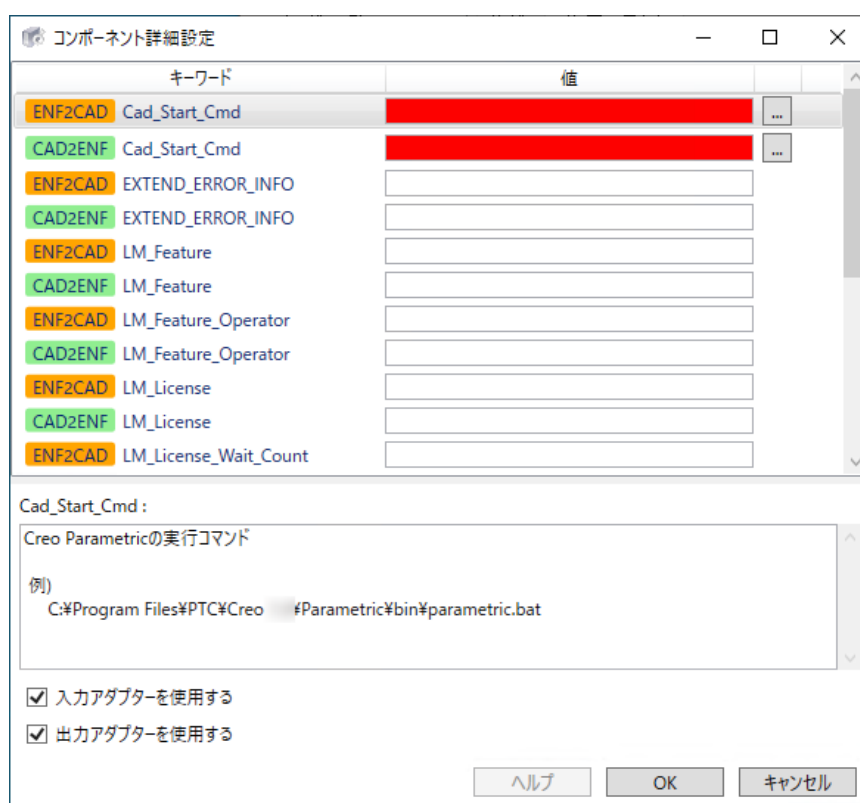


"自動修正" コンポーネントは必ず追加してください。

2. 必須設定項目が存在する Component を追加した場合は、以下のようなダイアログが表示されます。[はい] をクリックして設定を開始します。[いいえ] をクリックした場合も、使用する Component の [設定] をクリックすることで後から設定できます。



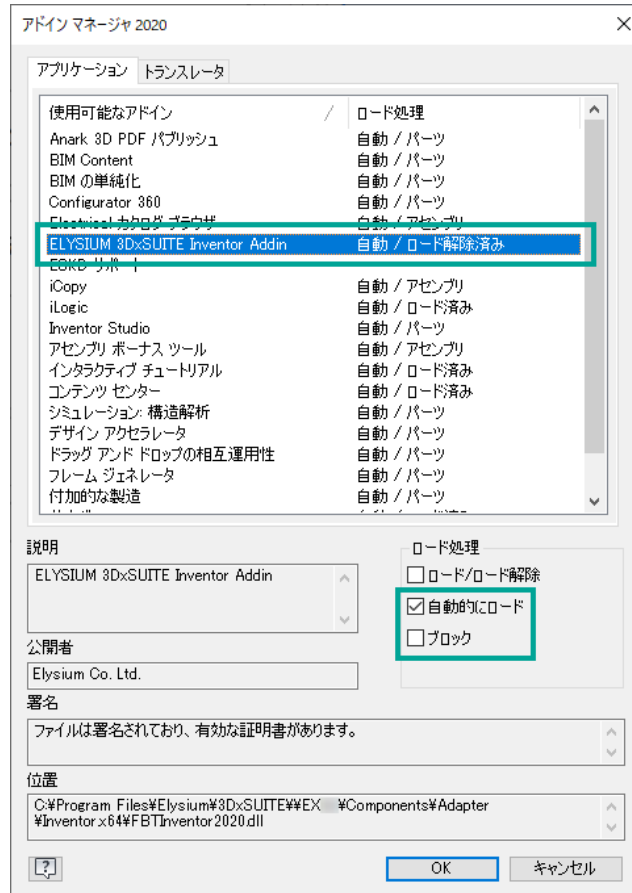
3. 手順 2. で [はい] をクリックした場合や後から [設定] をクリックした場合は、"コンポーネント詳細設定" ダイアログが表示されます。CAD の導入フォルダーや起動プログラムなどの必須情報 (値の列の背景が赤色で表示されています)、テンプレートファイルやライセンスタイムアウトなどの任意の設定項目を設定できます。



コンポーネント詳細ダイアログの設定内容は 3DxSUITE 設定ユーティリティーと同期しています。変更する際には使用状況などを踏まえた上で、適切な設定を選択してください。

4. [OK] をクリックして設定を完了します。

Inventor Adapter を使用する場合、Inventor の [ツール] タブにある [アドイン] を選択してアドイン マネージャを起動し、"Elysium 3DxSUITE Inventor Addin" のブロックを解除しておく必要があります。



9.2.4. Windows サービスの登録と削除

WorkerNode を Windows サービスとして登録し、動作させることができます。登録した場合、コンピュータの起動に併せて WorkerNode も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要がありません。Windows サービスを登録 / 削除する手順は以下の通りです。

Windows サービスの登録

1. メニューから [Windowsサービス] - [サービス登録] を選択します。
2. 表示されたダイアログでサービス実行ユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。
3. ユーザーアカウント制御の警告ダイアログが表示されます。問題なければ [はい] をクリックします。
4. サービスの登録に成功したことを示すダイアログが表示されたことを確認します。
5. メニューから [ファイル] - [共通設定] を選択します。
6. "エリジオンライセンスサーバー" に各 Component が使用するライセンスサーバーのホスト名とポート番号を設定します。
7. "作業フォルダー" にドライブレター、ネットワークフォルダーパス (9.1.1, "事前準備: 共有フォルダーの設定" で指定したものと同じ内容) を入力します。また、手順 2. で設定したサービス実行

ユーザーがこのパスにアクセスする権限を持っていない場合には、アクセス権のあるユーザーのユーザー名とパスワードも入力します。

8. [OK] をクリックして設定を保存します。

"作業フォルダー設定" で指定するドライブレターとネットワークフォルダーパスは、"net use" コマンドで確認できます。

コマンドを実行すると、ネットワークドライブの一覧が表示されます。[9.1.1, “事前準備: 共有フォルダーの設定”](#) で設定した内容を踏まえて、[共通設定] ダイアログに指定してください。



```

C:\Users¥>net use
新しい接続は記憶されます。

ステータス   ローカル名   リモート名       ネットワーク名
-----
OK           N:           ¥¥server1¥3dxsuite   Microsoft Windows Network
コマンドは正常に終了しました。

C:\Users¥>
  
```

一部の Component はサービスとして実行されている WorkerNode での実行に対応していません。サービス化未対応のコンポーネントについては、Windows サービスとして動作していない WorkerNode で実行してください。現時点における各 Component のサービス化対応状況は以下の通

りです。

Component	対応状況
CATIA V5(Plug-in)	対応済み
CATIA V5(standalone)	対応済み
3DEXPERIENCE	3DEXPERIENCE to ENF: 対応済み ENF to 3DEXPERIENCE: 未対応
CATIA V4	対応済み
NX(Plug-in)	対応済み
NX(standalone)	対応済み
Creo Parametric(Plug-in)	対応済み
Creo Parametric(standalone)	対応済み
NX I-deas	未対応
SOLIDWORKS	未対応
Creo Elements/Direct Modeling	対応済み
Autodesk Inventor	対応済み
CADmeister(standalone)	対応済み
iCAD	対応済み
Solid Edge	対応済み
Parasolid	対応済み
ACIS	対応済み
STEP	対応済み
JT	対応済み
QIF	対応済み
3DXML	対応済み
IGES	対応済み
STEP AP242 BOM	対応済み
PLM XML	対応済み
XPDMXML	対応済み
3D PDF	対応済み
XVL	対応済み
Creo View	対応済み
STL	対応済み

Component	対応状況
OBJ	対応済み
VRML	対応済み
Nastran	対応済み
Point Cloud	対応済み
自動修正	対応済み
PDQチェッカー	対応済み
形状簡略化	対応済み
CAD比較	対応済み
ENF ポリゴン	対応済み
ポリゴン最適化	対応済み
ENF編集	対応済み



カスタムコンポーネントが Windows サービスとして動作することの可否については、カスタムコンポーネントから呼び出される実行ファイルやバッチファイルのサービス対応状況に依存します。

Windows サービスの削除

1. メニューから [Windowsサービス] - [サービス削除] を選択します。
2. ユーザーアカウント制御の警告ダイアログが表示されます。問題なければ [はい] をクリックします。
3. サービスの削除に成功したことを示すダイアログが表示されたことを確認します。



Windows サービスとして登録する場合、コンピューターの起動に併せて WorkerNode も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要がありません。これに対し Windows サービスとして登録しない場合、処理に関する情報がコマンドプロンプトに出力されるため、問題が発生した場合にはより多くの情報を得ることができます。

運用の一例としては、定常的に WorkerNode を稼働させる際にはサービスとして起動し、問題発生時の調査を行う場合や一時的な試験などを実施する場合には対話的ログインで起動するという方法が考えられます。使用目的や想定される使用状況などを踏まえた上で、適切な起動方法を選択してください。

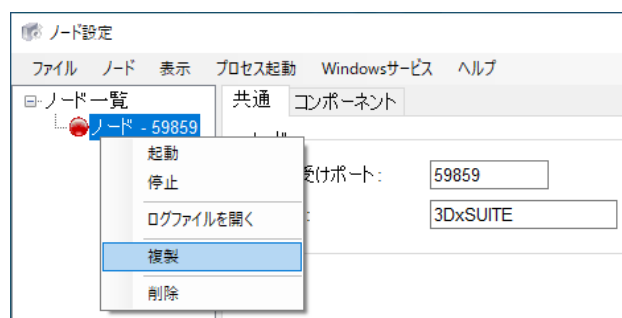
9.2.5. 複数の WorkerNode の設定

ノード設定では、異なる設定を持った複数のノードを設定できます。

既存のノード設定を複製

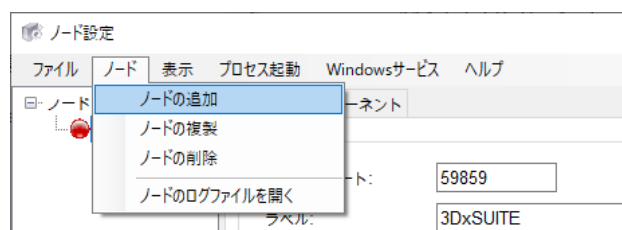
1 つのノードでは同時に 1 つの処理しか実行されません。そのため、同一のコンポーネントに対し

て複数のライセンス (エリジオンライセンス・CAD ライセンス) を所有している場合には、同一設定のノードを複数設定することでライセンスを有効に活用できます。



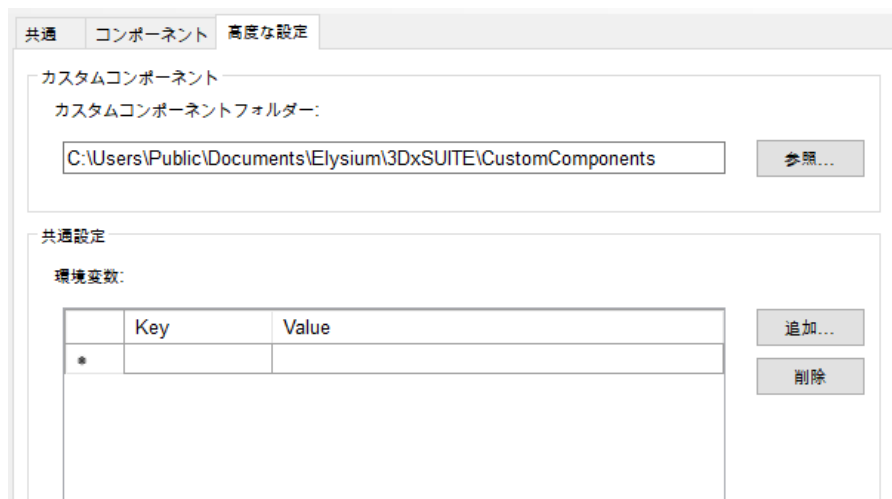
新規ノード作成

特定の CAD 専用のノードを作成したい場合など、既存のノードとはまったく異なるコンポーネントを持ったノードを作成したい場合は、新規にノードを追加してください。



9.2.6. 高度な設定

メニューの [表示] - [高度な設定] にチェックを付けると、[高度な設定] タブが表示されます。WorkerNode でのみ使用する環境変数の設定などを行うことができます。



【カスタムコンポーネント】

- カスタムコンポーネントフォルダー
3DxSUITE 以外の外部モジュールをコンポーネントとして追加するためのフォルダーです。

【共通設定】

- 環境変数
WorkerNode で使用する環境変数を設定できます。ここで設定した環境変数は WorkerNode

内でのみ有効です。

9.2.7. 設定の引き継ぎ

過去に導入済みの WorkerNode がある場合、設定済みの内容を引き継ぐことができます。手順は以下の通りです。

1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE WorkerNode] - [3DxSUITE WorkerNode EX9.1 の設定] を選択します。
2. [ノード設定] ウィンドウでメニューから [ファイル] - [インポート] を選択します。
3. ファイル選択ウィンドウで "ServiceConfig.xml" を選択して [開く] をクリックします。ファイルのパスは以下の通りです。
 - %Public%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\WorkerNode\ServiceConfig.xml
4. [ノードの設定] ダイアログが表示されたら内容を確認し、インポートを実行する場合には [OK] をクリックします。
5. [ノード設定] ウィンドウで [適用] をクリックします。

9.3. 起動と停止

WorkerNode を [通常プロセス](#) として動作させるか [Windows サービス](#) として動作させるかで、起動と停止の方法が異なります。



Windows サービスとして実行されている WorkerNode と通常プロセスとして実行されている WorkerNode は同一コンピュータ上で併存しないように運用してください。



WorkerNode がサービスとして実行されている状況でノードの追加や設定変更を行う場合には、サービスを停止した上で [ノード設定] から変更を行い、設定後にサービスを再起動してください。



WorkerNode が通常プロセスとして実行されている場合には、WorkerNode の Windows サービスを開始しないでください。既定の設定ではコンピューター起動時に WorkerNode の Windows サービスが自動的に起動するため、必要に応じてサービスの自動起動設定を無効化してください。

通常プロセスとして実行する場合にノードの追加や設定変更を行う際には、ノードを停止した上で [ノード設定] から設定変更を行い、再度ノードを起動してください。

通常プロセスの場合

WorkerNode を通常プロセスとして起動 / 停止する方法は以下の 3 種類です。

【プログラムメニューから起動 / 停止する】

起動:

Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE WorkerNode] - [3DxSUITE WorkerNode EX9.1の起動] を実行してください。

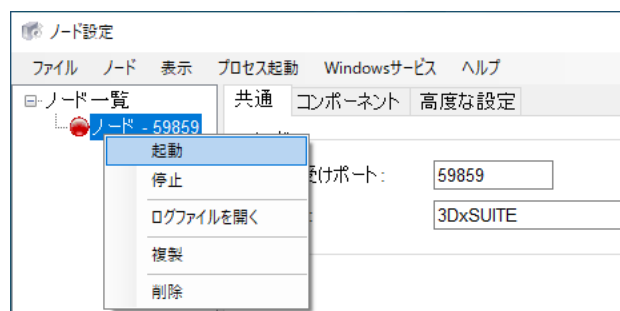
停止:

3DxSUITE -... で始まる名称のコマンドプロンプトを、ウインドウ右上の × ボタンを押して閉じてください。

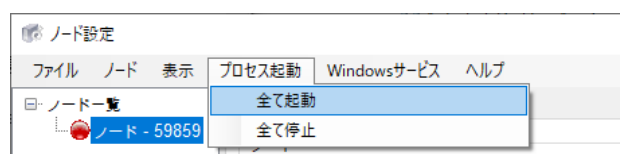
【ノード設定ダイアログから起動する】

起動:

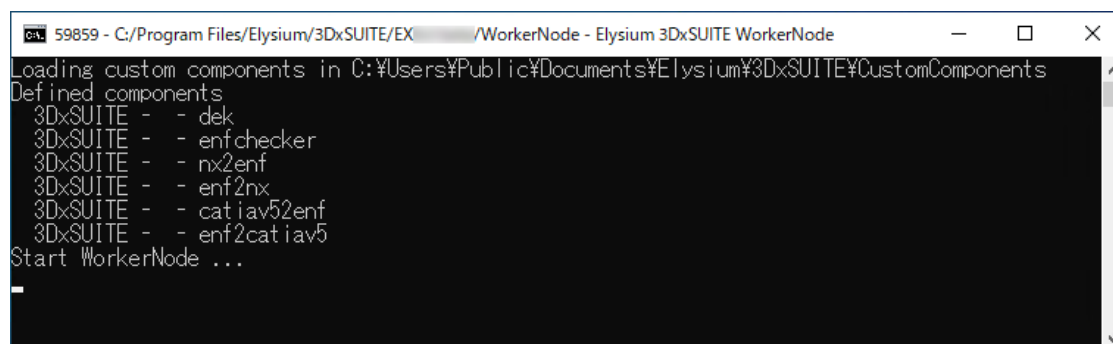
ノード一覧から起動したいノードを右クリックして "起動" を選択してください。



メニューの [プロセス起動] - [全て起動] を実行することでもノードの起動を行うことができます。



WorkerNode の起動に成功すると、以下のウインドウが表示されます。



停止:

ノード一覧から停止したいノードを右クリックして "停止" を選択してください。

メニューの [プロセス起動] - [全て停止] を実行することでもノードを停止できます。

【コマンドラインから起動する】

<3DxSUITE インストールフォルダー>\EX9.1\WorkerNode\bin 内の WorkerLauncher.exe を使用することで、WorkerNode の起動 / 停止をコマンドラインから実行できます。オプションの詳細については、以下のように "/" を引数として WorkerLauncher.exe を実行し、確認してください。

```
> WorkerLauncher.exe /?
```

以下、WorkerNode の起動 / 停止のためのコマンド例を示します。

- すべての WorkerNode を起動 / 終了する場合

起動:

以下のコマンドを実行

```
> WorkerLauncher.exe /Mode=start
```

停止:

以下のコマンドを実行

```
> WorkerLauncher.exe /Mode=stop
```

- 特定ポートの WorkerNode を起動 / 停止する場合

起動:

```
> WorkerLauncher.exe /Mode=start /ListenPort={起動したい 3DxSUITE WorkerNode  
のポート番号}
```

停止:

```
> WorkerLauncher.exe /Mode=stop /ListenPort={停止したい 3DxSUITE WorkerNode  
のポート番号}
```

(例) ポート番号 59859 で定義されている WorkerNode を起動する場合

以下のコマンドを実行

```
> WorkerLauncher.exe /Mode=start /ListenPort=59859
```

Windows サービスの場合

以下の手順でサービスの起動および停止を実行してください。

a. Windows サービスの起動

- ノード設定ウィンドウのメニューから [Windowsサービス] - [サービス開始] を選択します。
- ユーザーアカウント制御の警告ダイアログが表示されます。問題なければ [はい] をクリックします。

3. サービスの起動に成功したことを示すダイアログが表示されたことを確認します。

b. Windows サービスの停止

1. ノード設定ウインドウのメニューから [Windowsサービス] - [サービス停止] を選択します。
2. ユーザーアカウント制御の警告ダイアログが表示されます。問題なければ [はい] をクリックします。
3. サービスの停止に成功したことを示すダイアログが表示されたことを確認します。



各ノードに設定されているすべてのポートが使用可能な場合のみ、WorkerNode の Windows サービスを起動できます。いずれかのポートが通常プロセスとして起動された WorkerNode もしくは別のアプリケーションによって利用されている場合、Windows サービスの起動に失敗します。

9.4. アンインストール手順

9.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - WorkerNode" を選択して、アンインストールを実行します。

9.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

• コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe /s /x /v"/l* \"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> /l* "<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

9.5. 補足

9.5.1. WorkerNode を実行するユーザーについて

WorkerNode は、Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。

9.5.2. WorkerNode の実行状態を確認する方法について

以下のコマンドの戻り値で WorkerNode の実行状態を確認できます。 <port> には WorkerNode の使用するポート番号を指定してください。

- <3DxSUITE インストールフォルダー>\EX9.1\WorkerNode\bin\check-worker-node-status.bat <port>

戻り値

- WorkerNode が起動している場合: 0
- WorkerNode が起動していない場合: 1

実行例

- ポート 59859 を使用する WorkerNode が起動している場合

```
>C:\Program Files\ELYSIUM\3DxSUITE\EX9.1\WorkerNode\bin\check-worker-node-status.bat 59859
>echo %ERRORLEVEL%
>0
```

- ポート 59860 を使用する WorkerNode が起動していない場合


```
>C:\Program Files\ELYSIUM\3DxSUITE\EX9.1\WorkerNode\bin\check-worker-node-  
status.bat 59860  
>echo %ERRORLEVEL%  
>1
```

9.5.3. WorkerNode のログについて

WorkerNode の動作ログは、以下のフォルダーに出力されます。動作に問題があった場合などには、このフォルダーに出力されているログを参照して処理状況を確認してください。

```
%PUBLIC%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\WorkerNode\EX9.1\log
```

10. Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

10.1. インストール手順



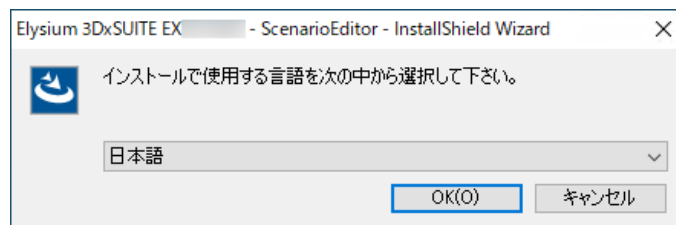
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。



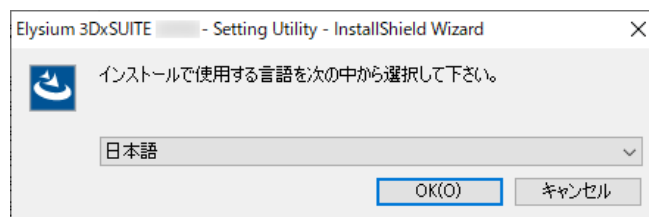
"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" を用いて Components をインストールした場合、ScenarioEditor も同時にインストールできます。Components と同時にインストールしている場合には、ScenarioEditor を個別にインストールする必要はありません。

10.1.1. 手動インストール

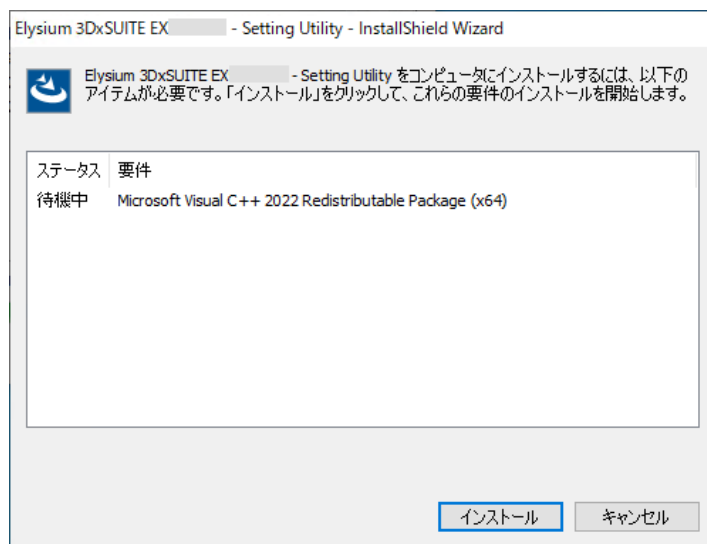
- ScenarioEditor のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\ScenarioEditor\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_ScenarioEditor.exe
- インストールで使用する言語を指定して [OK] をクリックします。



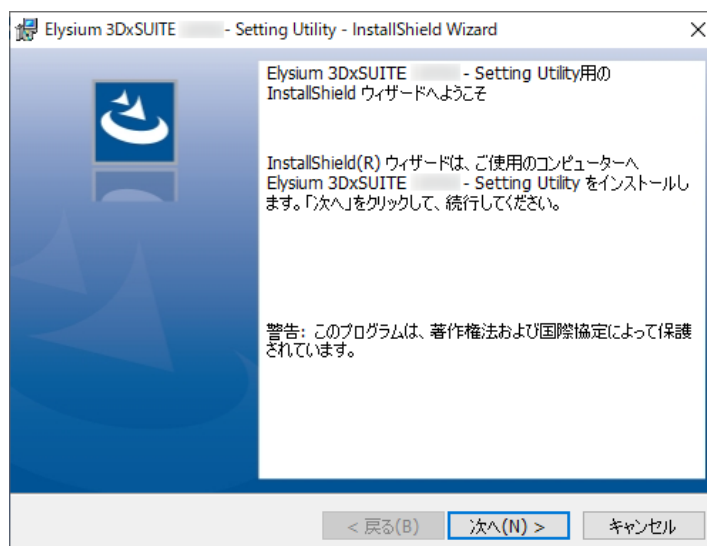
- Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。
 - インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



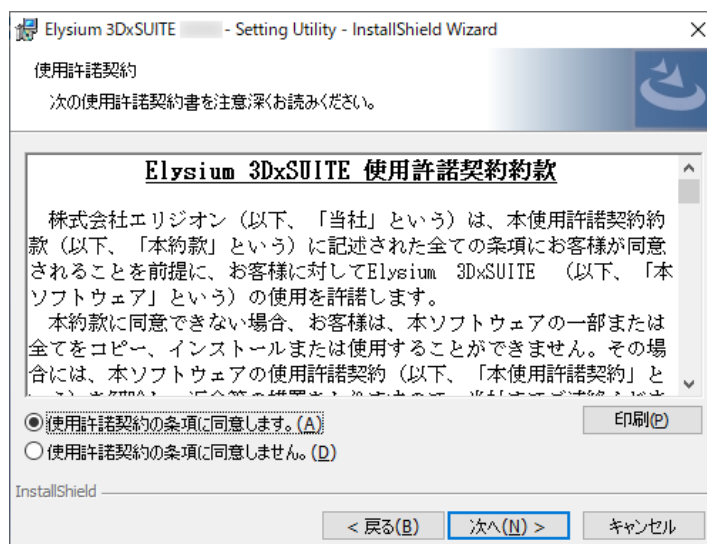
- このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



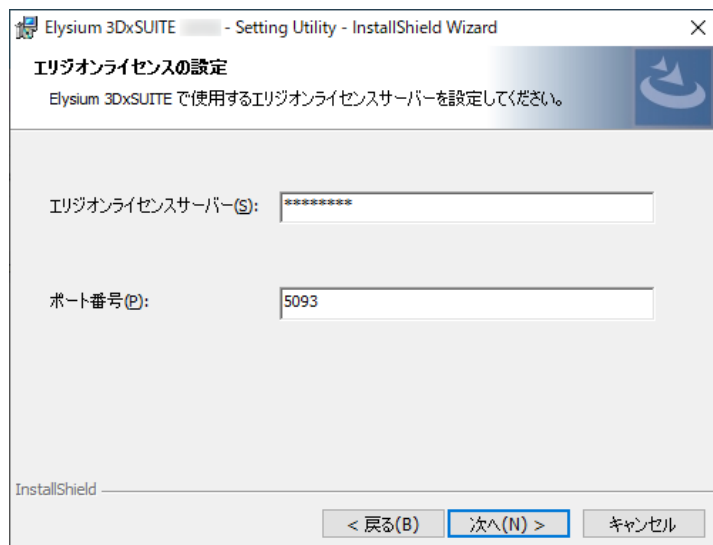
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



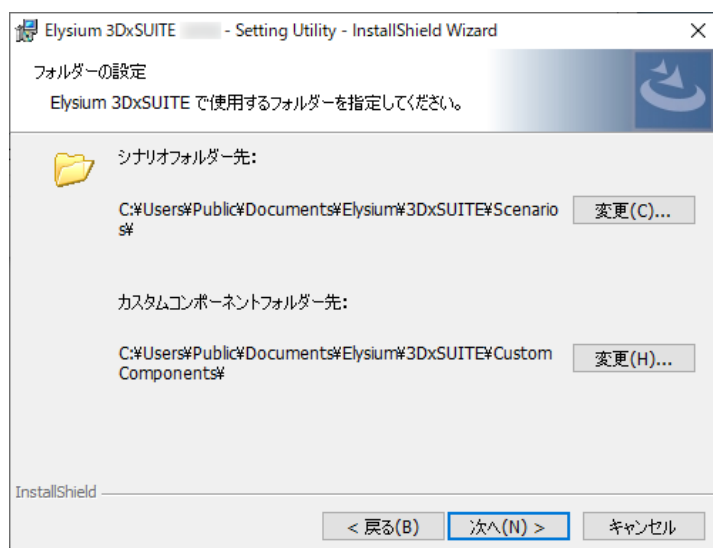
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



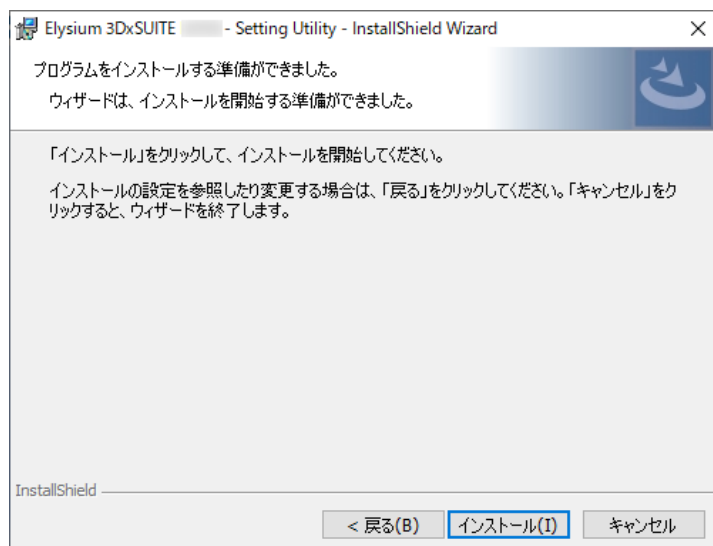
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



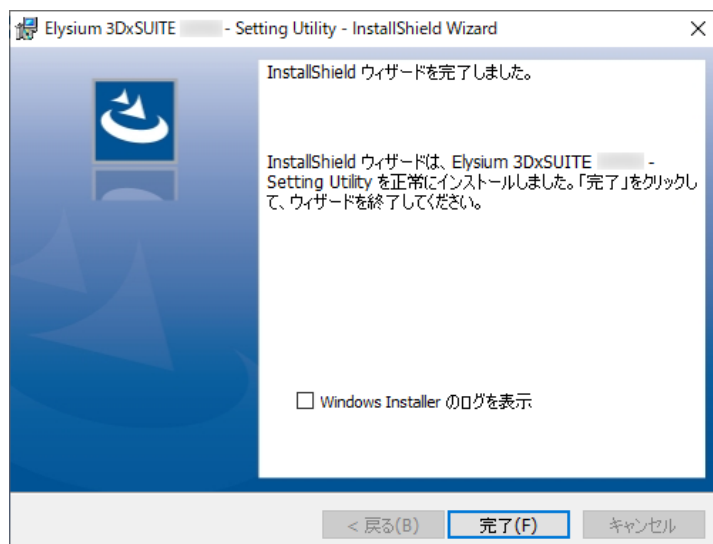
- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



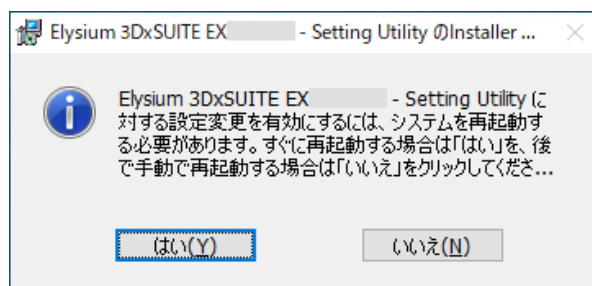
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



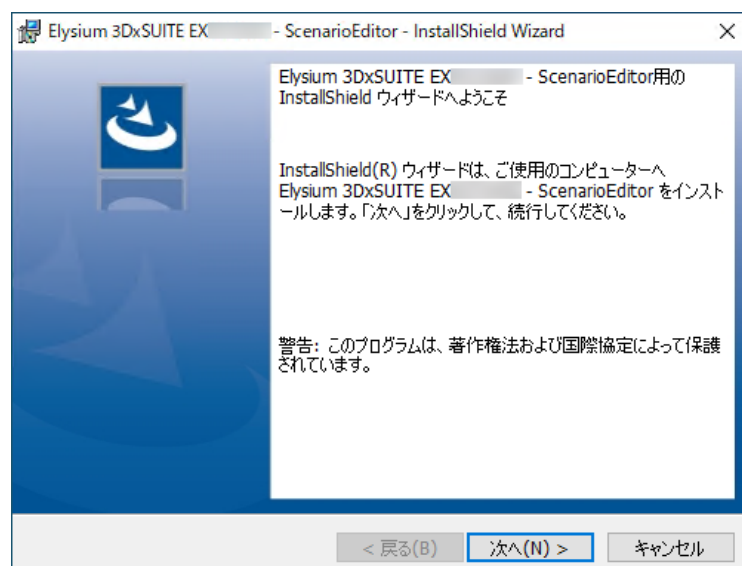
- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



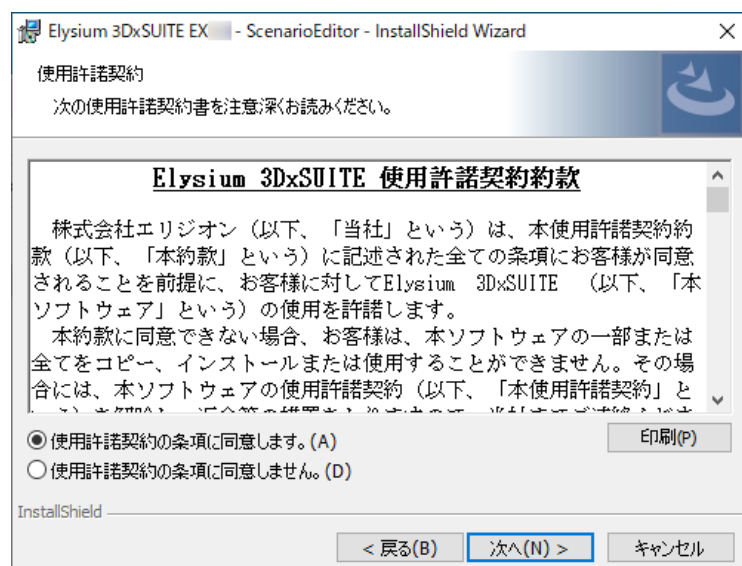
- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。



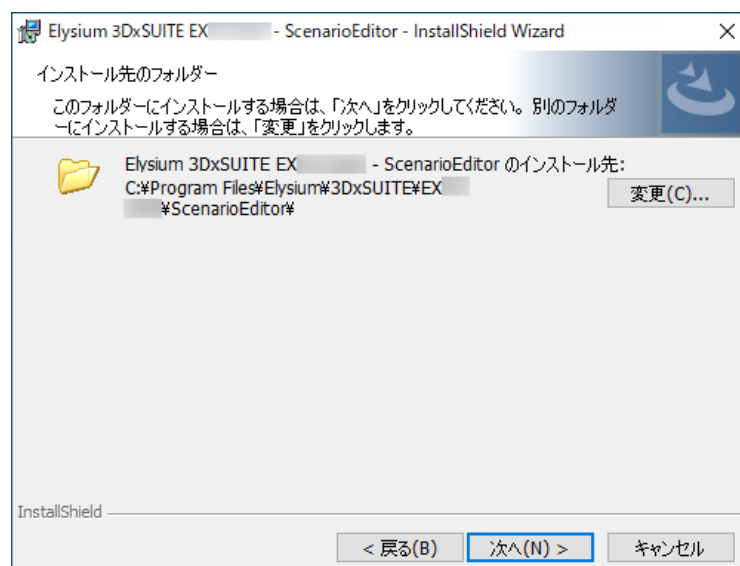
4. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



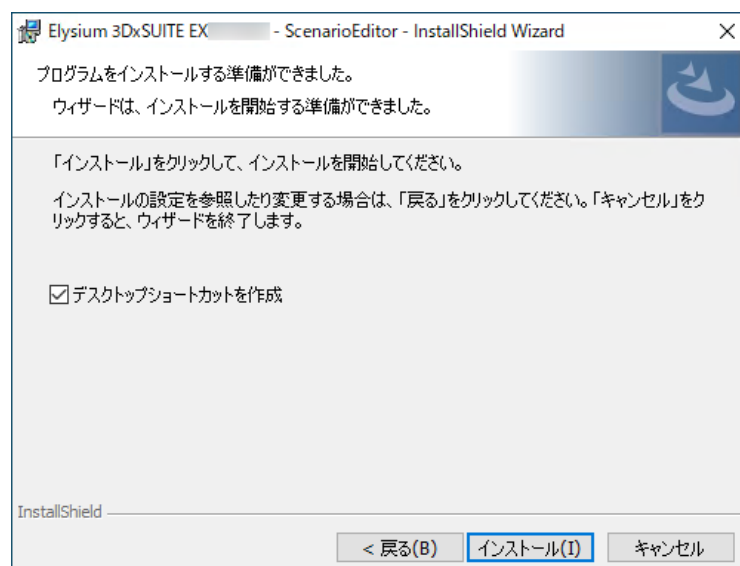
5. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



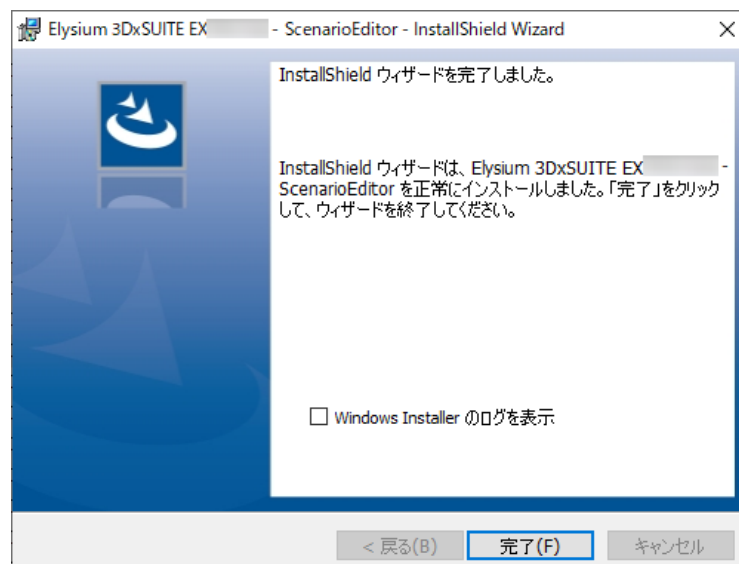
6. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。



7. デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外します。[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



8. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



10.1.2. サイレントインストール

コマンドにて ScenarioEditor の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明をご参照ください。

- コマンド例

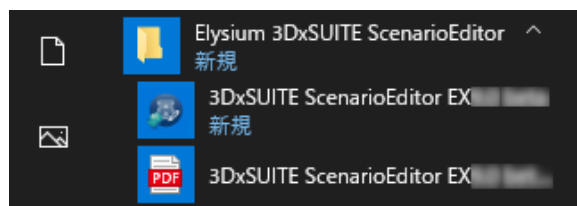
```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_ScenarioEditor.exe /s /v"/l* \"C:\temp\install.log\"  
INSTALLDIR=\"C:\Program Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\ScenarioEditor\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

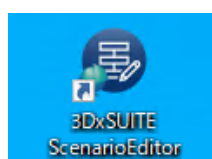
コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

10.2. 起動手順

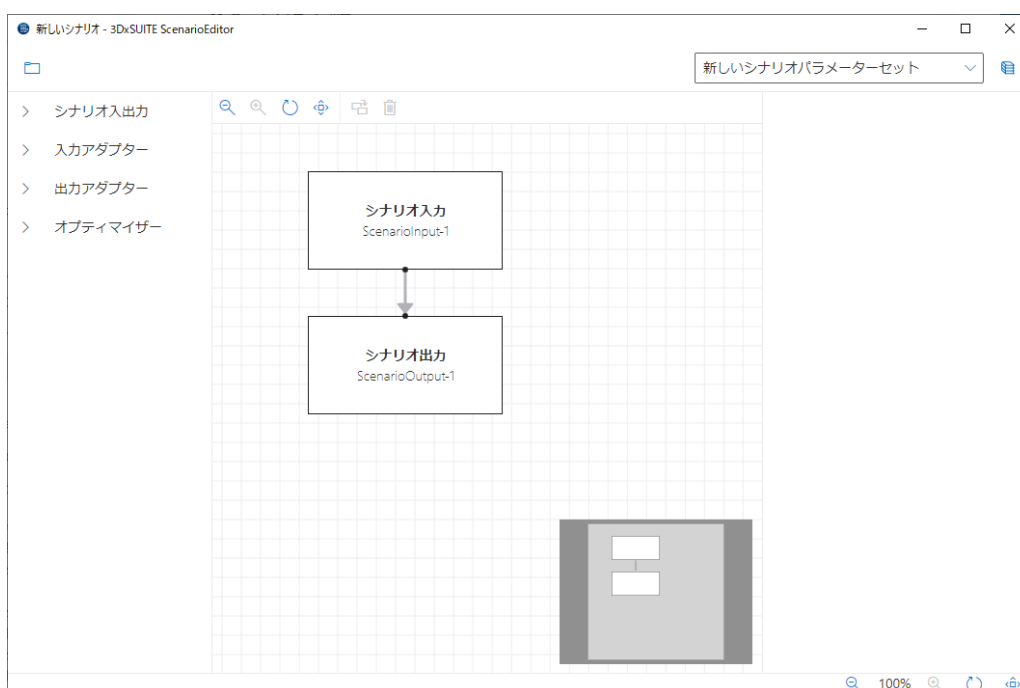
Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor] - [3DxSUITE ScenarioEditor EX9.1] を選択して起動してください。



デスクトップ上の [3DxSUITE ScenarioEditor EX9.1] ショートカットをダブルクリックして起動することもできます。



ScenarioEditor が起動します。



10.3. 終了手順

メニューの [ファイル] - [終了] を選択するか、ウィンドウを閉じて終了してください。

10.4. アンインストール手順

10.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - ScenarioEditor" を選択して、アンインストールを実行します。

10.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_ScenarioEditor.exe /s /x /v"/l* \"%C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* \"%<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

11. Elysium 3DxSUITE Data Package Studio

事前にインストールする必要があるプログラム

- Adobe Acrobat Pro

11.1. インストール手順



インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

11.1.1. 手動インストール

1. Data Package Studio のインストーラーを実行します。

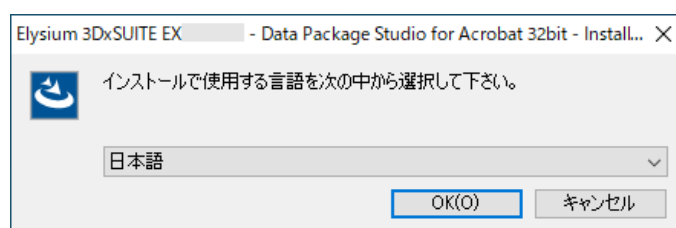
- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Data Package Studio パッケージ>\
- インストーラー:
 - Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_32bit.exe
 - Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_64bit.exe

Data Package Studio のインストーラーには 64bit 版と 32bit 版の 2 種類があります。コンピュータにインストールされている Adobe Acrobat 製品が 32bit 版と 64bit 版のどちらであるかに合わせて、同じ種類のインストーラーを実行する必要がありますのでご注意ください。各 Adobe Acrobat 製品が 32bit 版と 64bit 版のどちらであるかは以下の表の通りです。

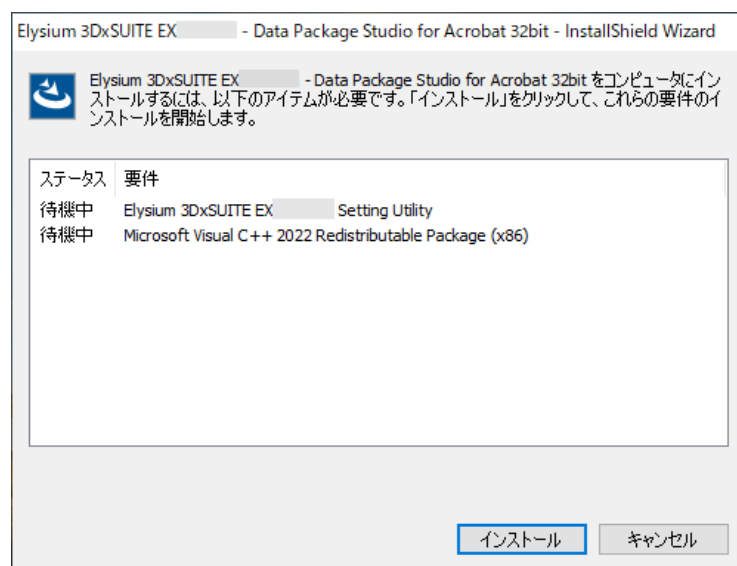


製品名	32bit/64bit
Adobe Acrobat Pro DC Continuous (古いバージョン)	32bit
Adobe Acrobat Pro 2017 (Classic)	32bit
Adobe Acrobat Pro 2020 (Classic)	32bit
Adobe Acrobat Pro DC Continuous (最新バージョン)	32bit/64bit

2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。

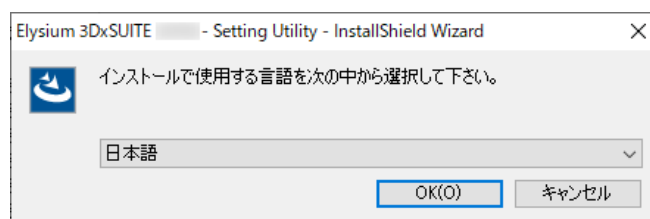


3. このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックします。

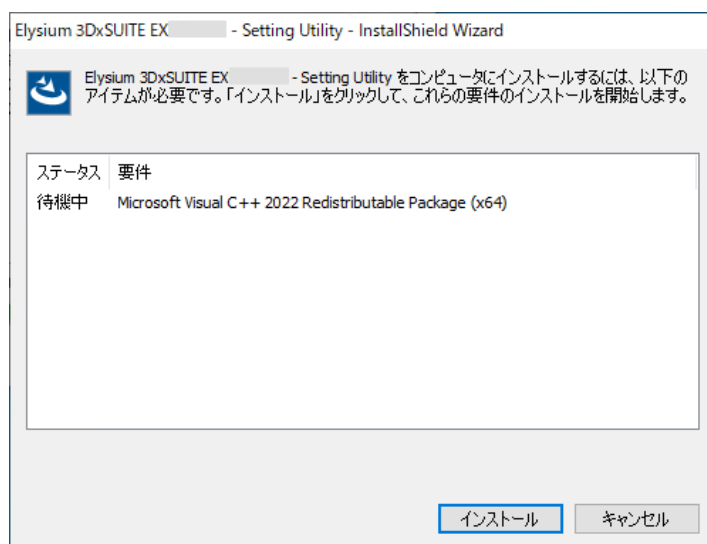


4. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

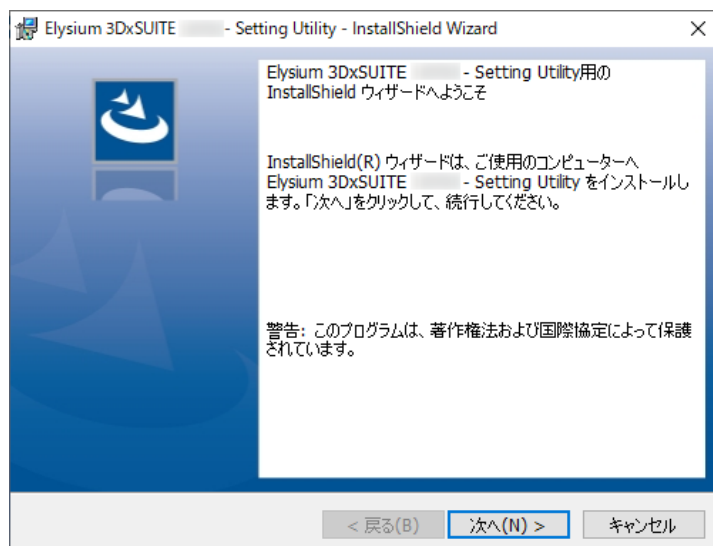
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



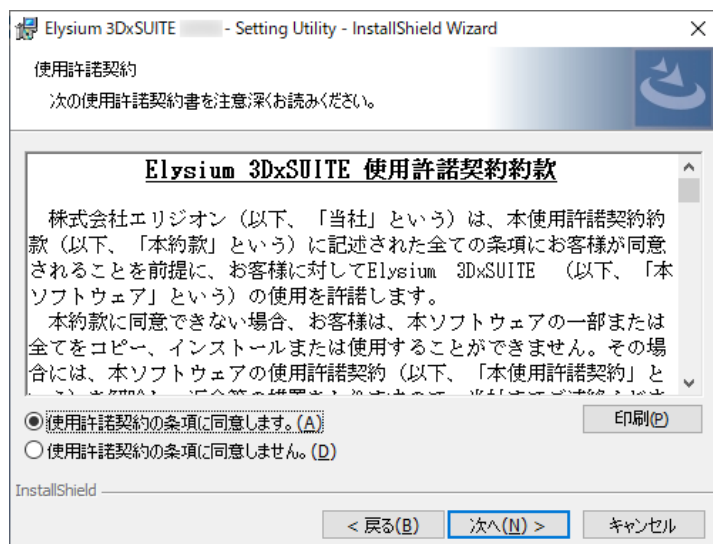
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



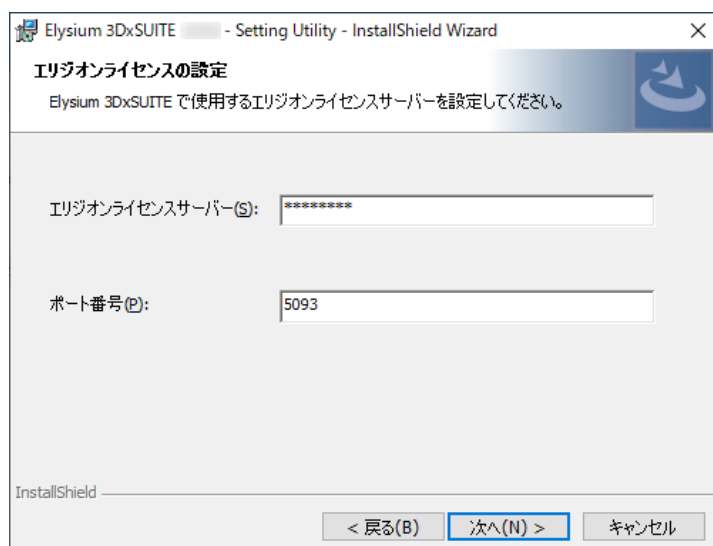
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



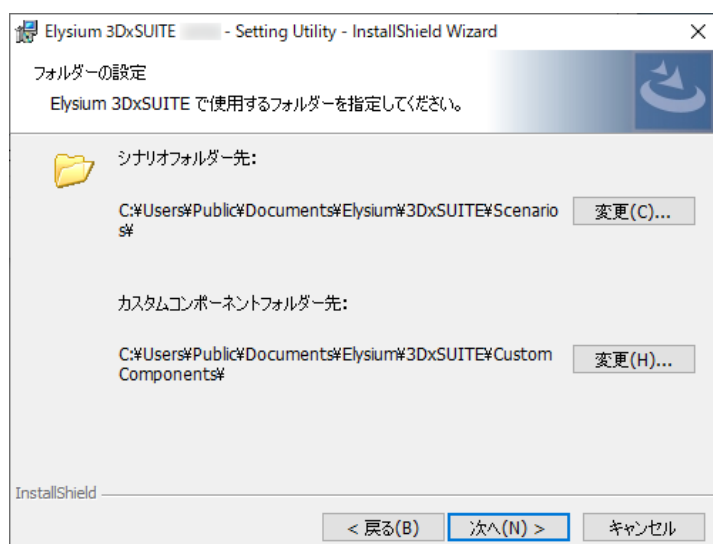
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



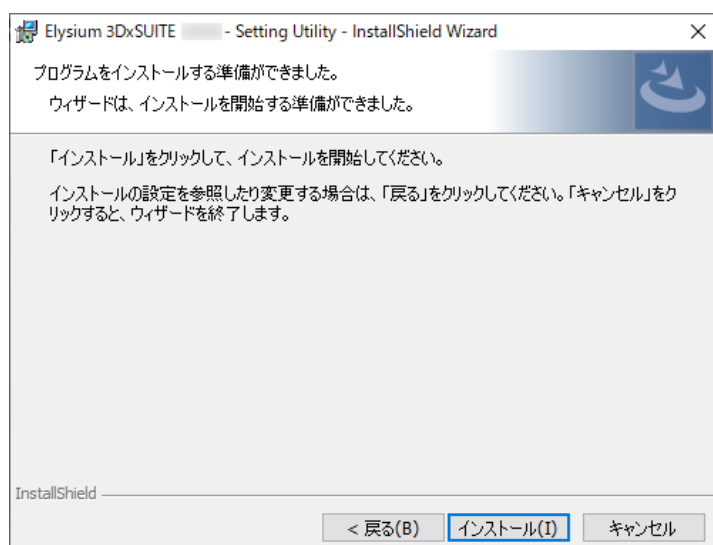
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



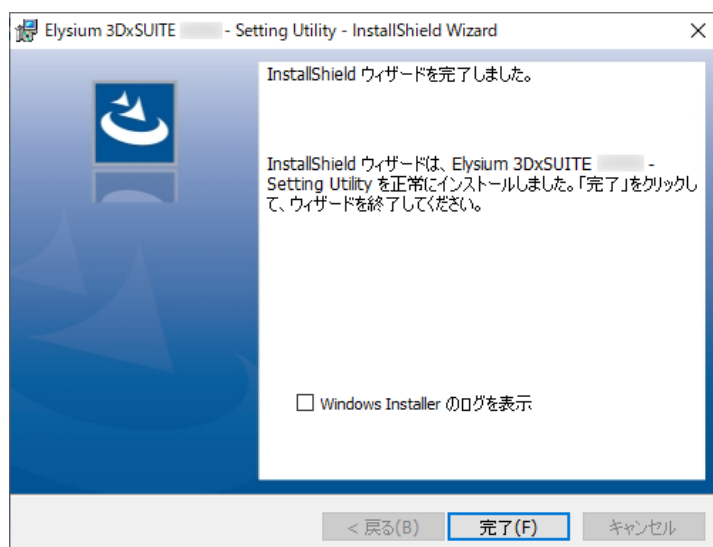
- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



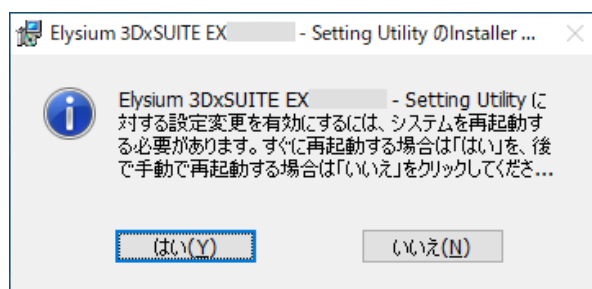
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



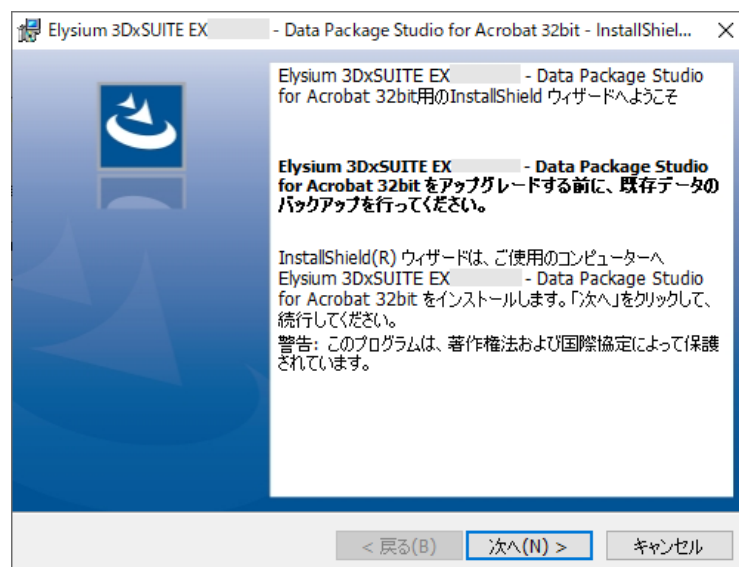
- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



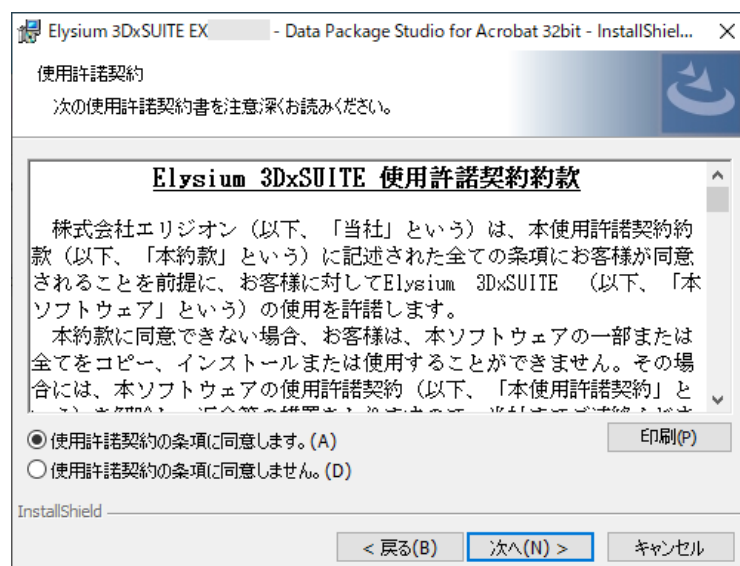
- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。



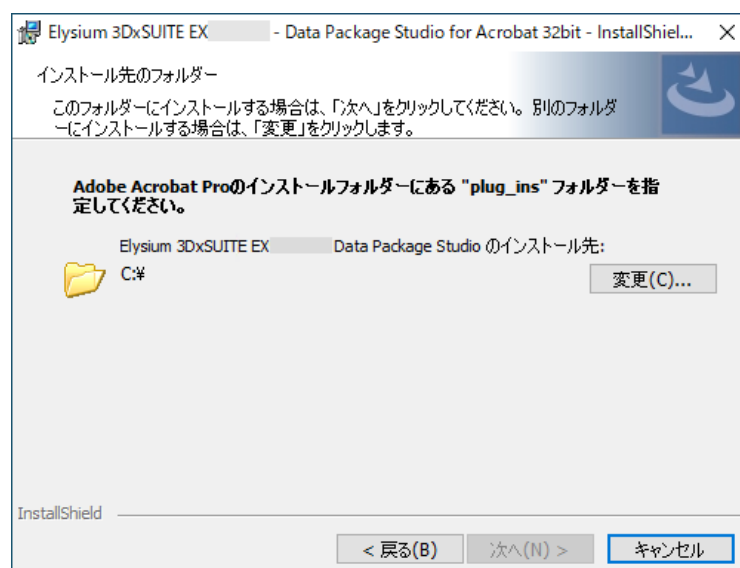
5. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



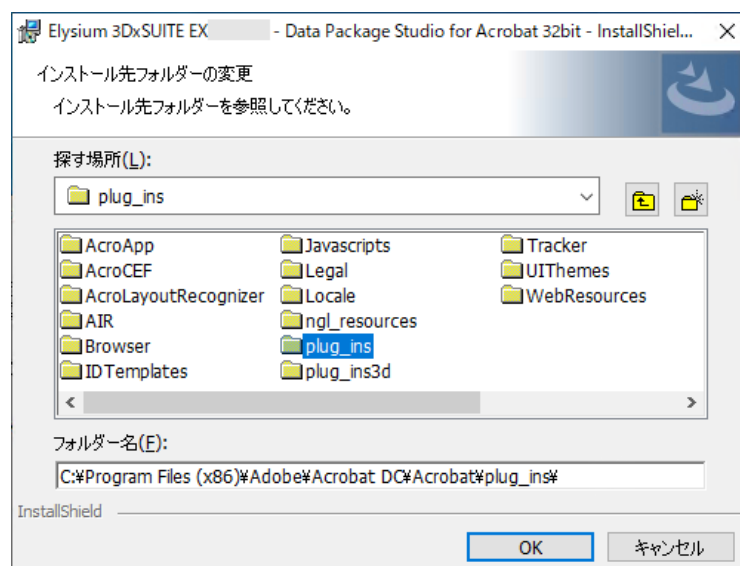
6. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



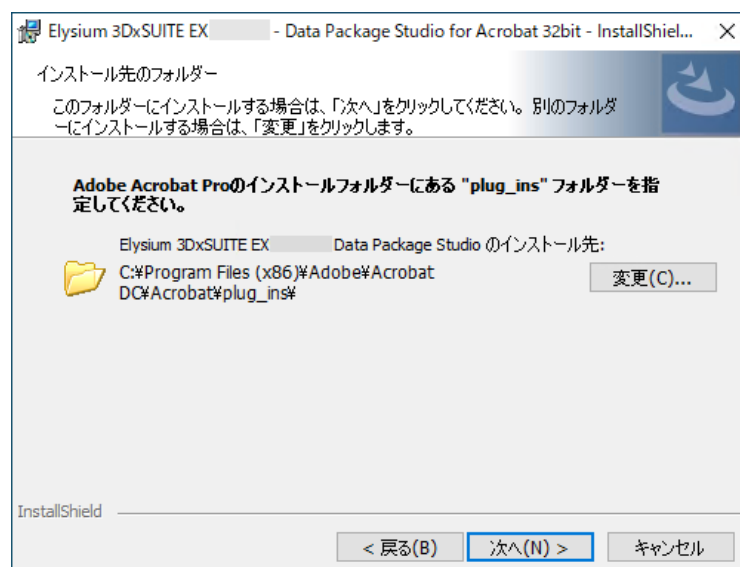
7. インストール先のフォルダー (plug_ins) を指定するダイアログが表示されます。[変更] をクリックします。



8. 変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [OK] をクリックします。



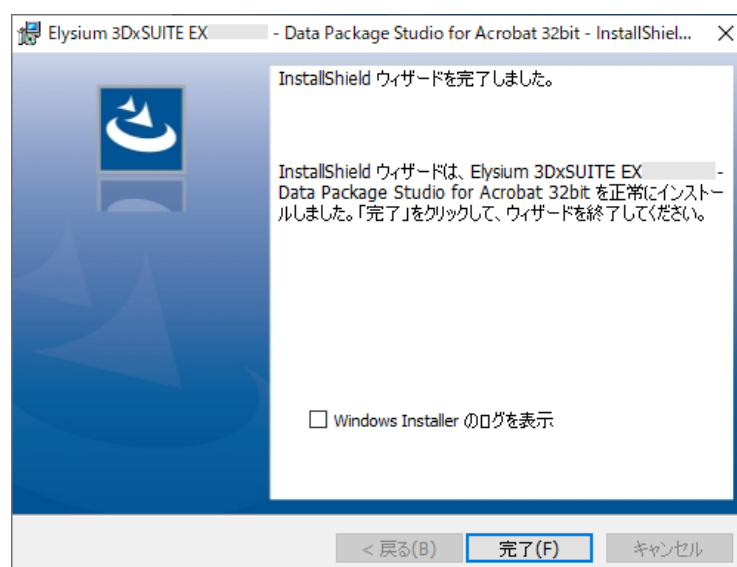
9. 表示されたインストール先のフォルダーを確認して [次へ] をクリックします。



10. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



11. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



11.1.2. サイレントインストール

コマンドにて Data Package Studio の新規導入を行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明をご参照ください。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_32bit.exe /s  
/v"INSTALLDIR=\"C:\Program Files (x86)\Adobe\Acrobat DC\Acrobat\plug_ins\" /qn"
```

または

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_64bit.exe /s  
/v"INSTALLDIR=\"C:\Program Files (x86)\Adobe\Acrobat DC\Acrobat\plug_ins\" /qn"
```

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • /l* \"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

11.2. 起動手順

1. Adobe Acrobat Pro を起動します。
2. メニューから [Elysium] - [Start Data Package Studio] を選択します。



11.3. 終了手順

Adobe Acrobat Pro を終了することで、Data Package Studio も終了します。

11.4. アンインストール手順

11.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、以下のいずれかを選択してアンインストールを実行します。
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Data Package Studio for Acrobat 32bit
 - Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Data Package Studio for Acrobat 64bit

11.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_32bit.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

または

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio_for_Acrobat_64bit.exe /s /x /v"/l*  
\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l*\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

12. Elysium 3DxSUITE Validation Configurator

事前にインストールする必要があるプログラム

- なし

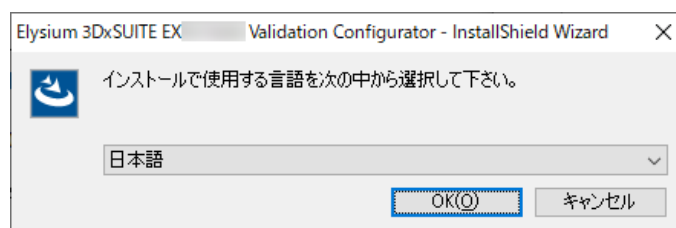
12.1. インストール手順



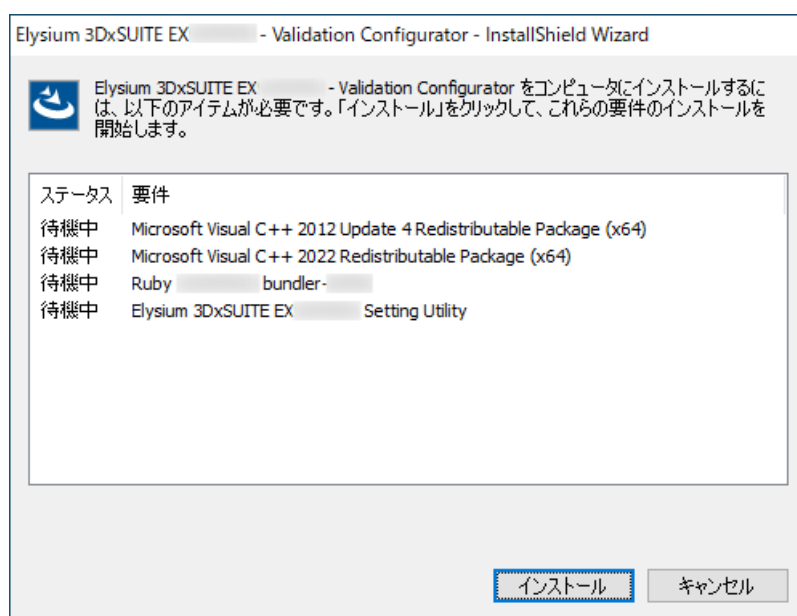
インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

12.1.1. 手動インストール

- Validation Configurator のインストーラーを実行します。
 - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Validation Configurator パッケージ>\
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Validation_Configurator.exe
- インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



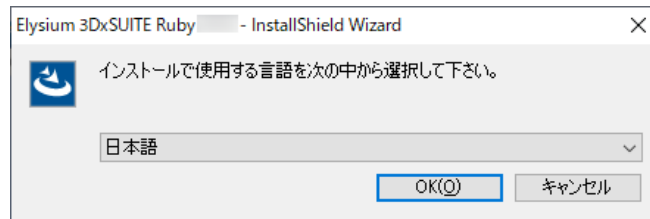
- このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックします。



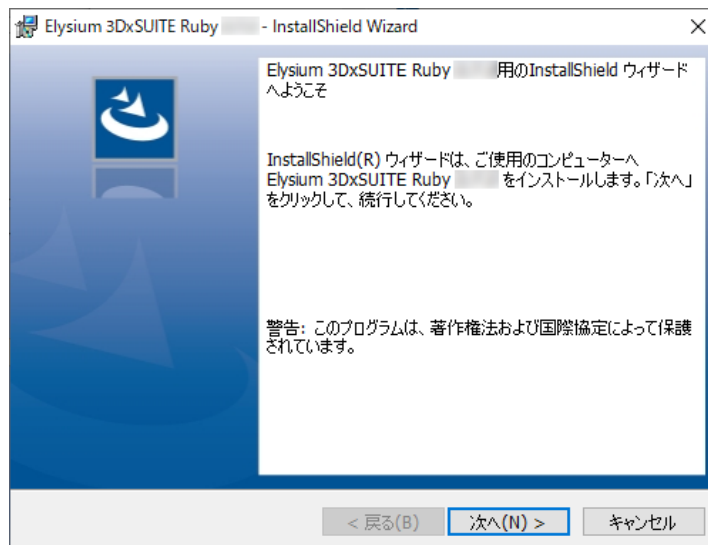
- Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されていない環境の場合、Elysium 3DxSUITE Ruby のインス

トローラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。すでに Elysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、Elysium 3DxSUITE Ruby インストール後の手順へ進んでください。

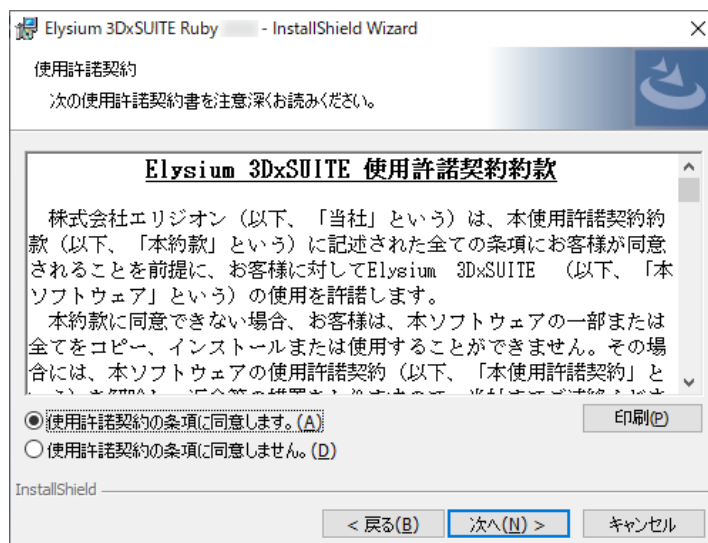
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



- b. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。

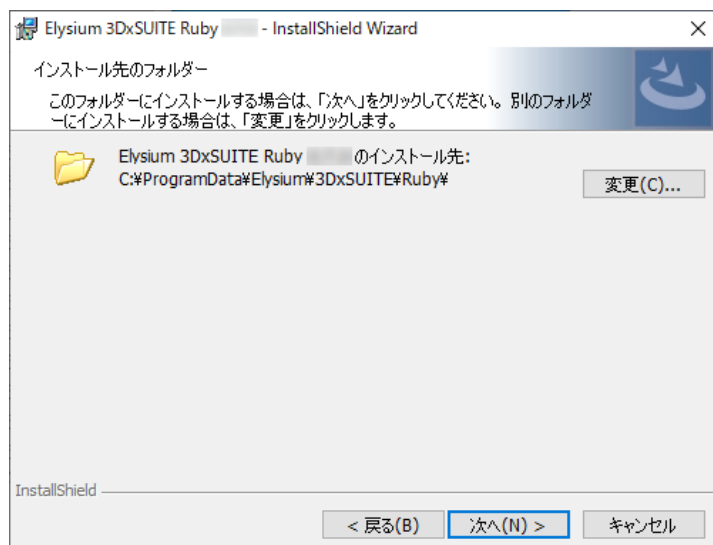


- c. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



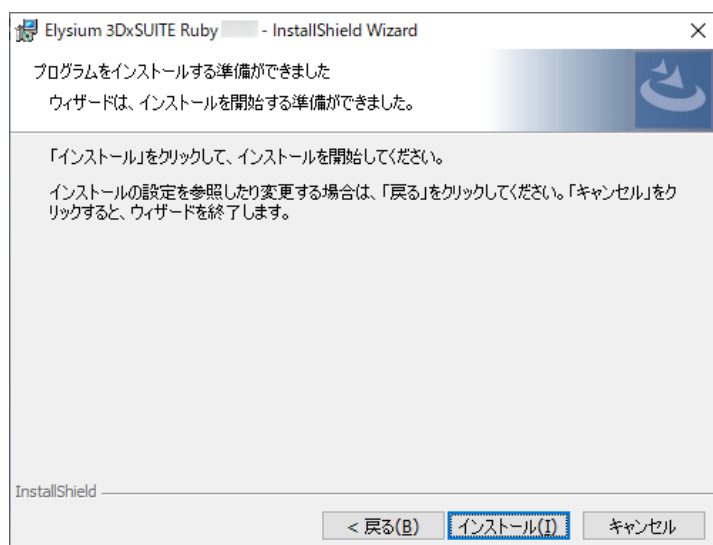
- d. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了

したら [次へ] をクリックします。

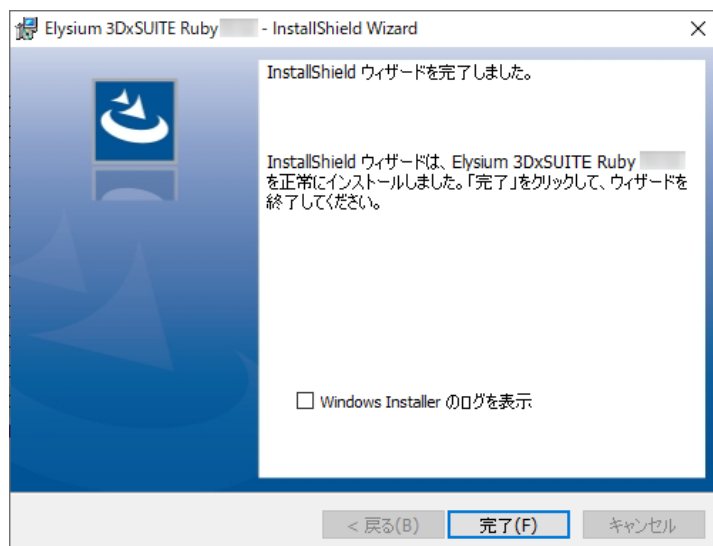


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

e. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

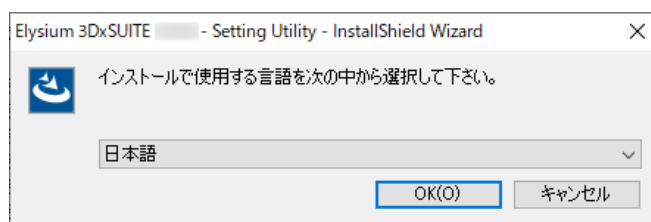


f. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。

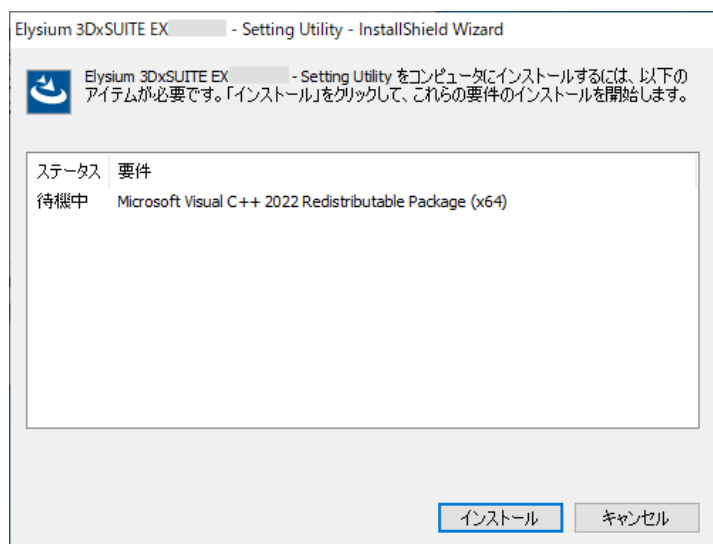


5. Setting Utility がインストールされていない場合、Setting Utility のインストーラーが起動します。以下の手順でインストールを実行します。Setting Utility がすでに導入されている場合は、Setting Utility インストール後の手順へ進んでください。

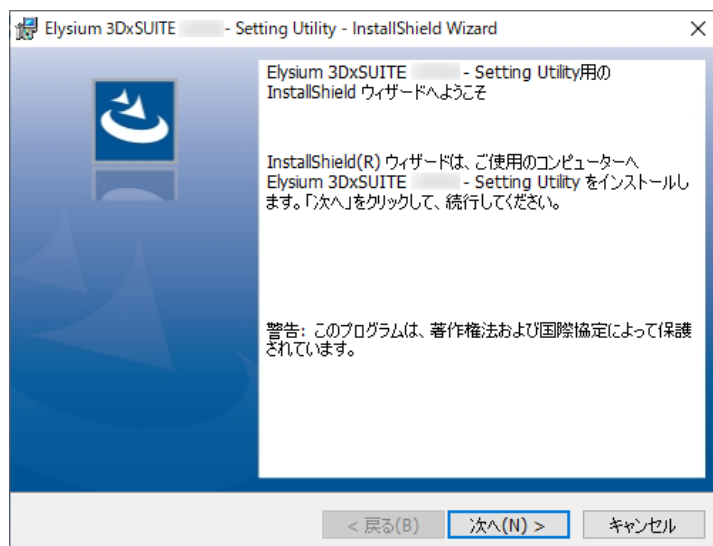
- a. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



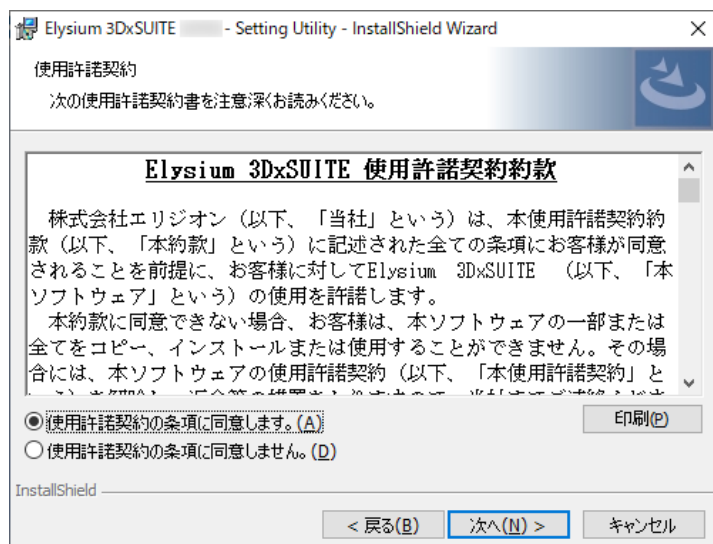
- b. このダイアログが表示された場合には [インストール] をクリックしてインストールを実行します。(すでにインストールされている環境では表示されません)



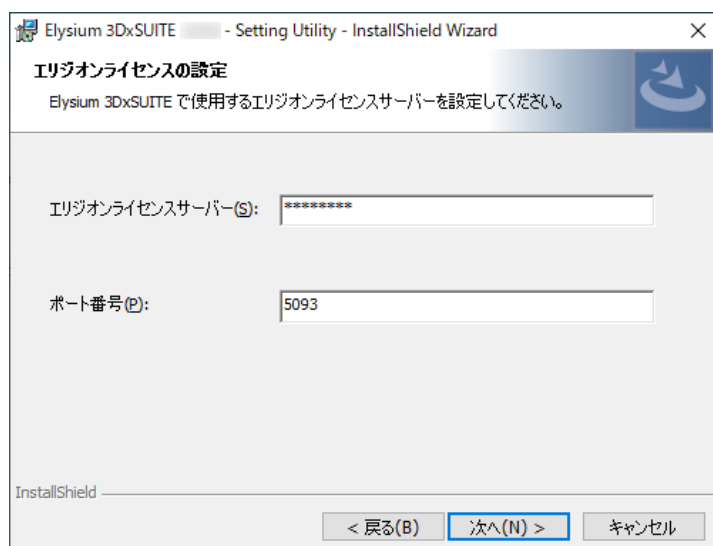
- c. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



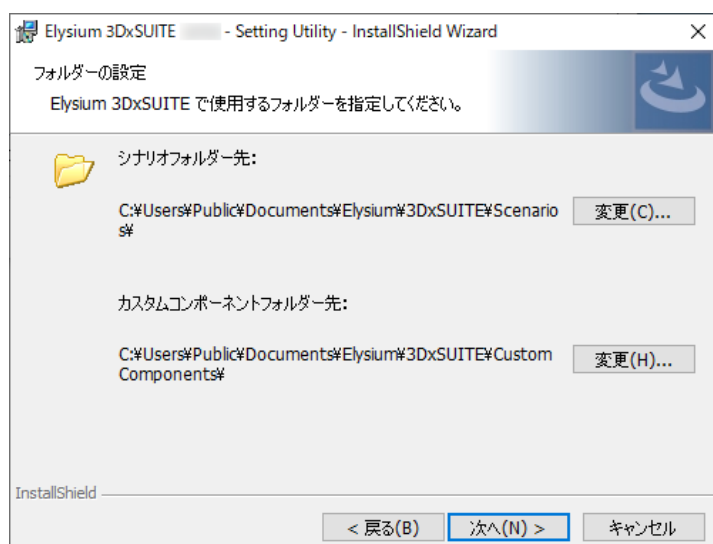
- d. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続ける事はできません。



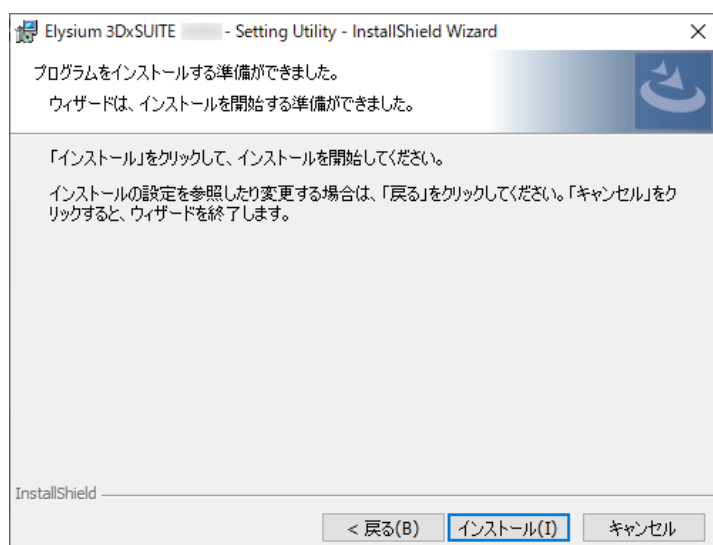
- e. ライセンスの設定画面が表示されます。Sentinel RMS License Manager をインストールしたコンピュータのホスト名を入力し、必要であればポート番号も変更した上で [次へ] をクリックします。



- f. シナリオフォルダーとカスタムコンポーネントフォルダーを設定する画面が表示されます。必要に応じてフォルダーのパスを変更し、[次へ] をクリックします。



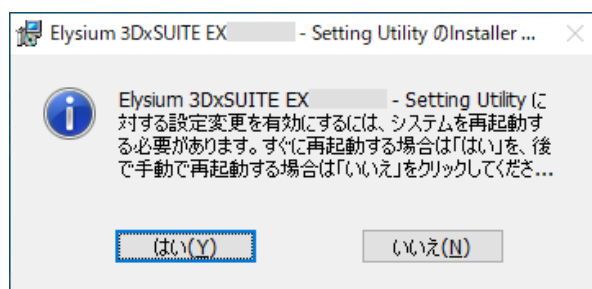
- g. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



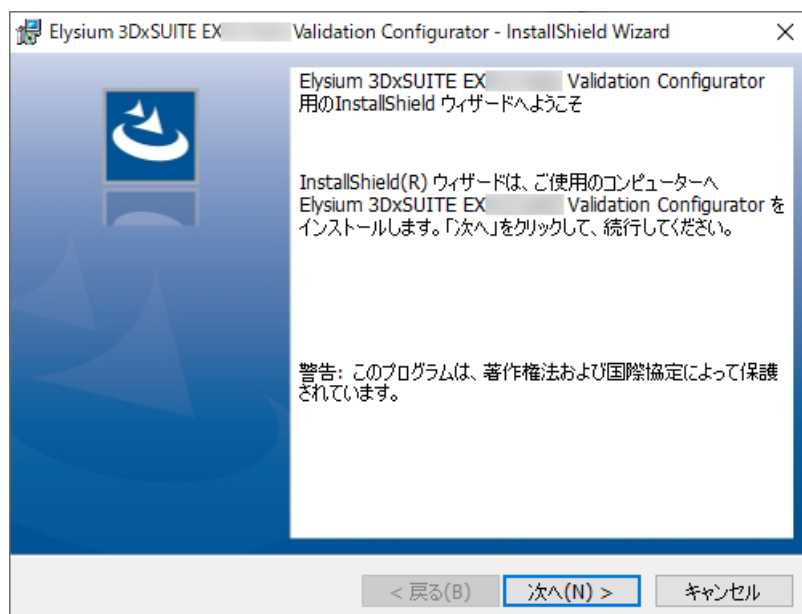
- h. Setting Utility のインストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



- i. 再起動を求めるダイアログが表示された場合には、OS を再起動します。再起動後に次のステップに進んでください。

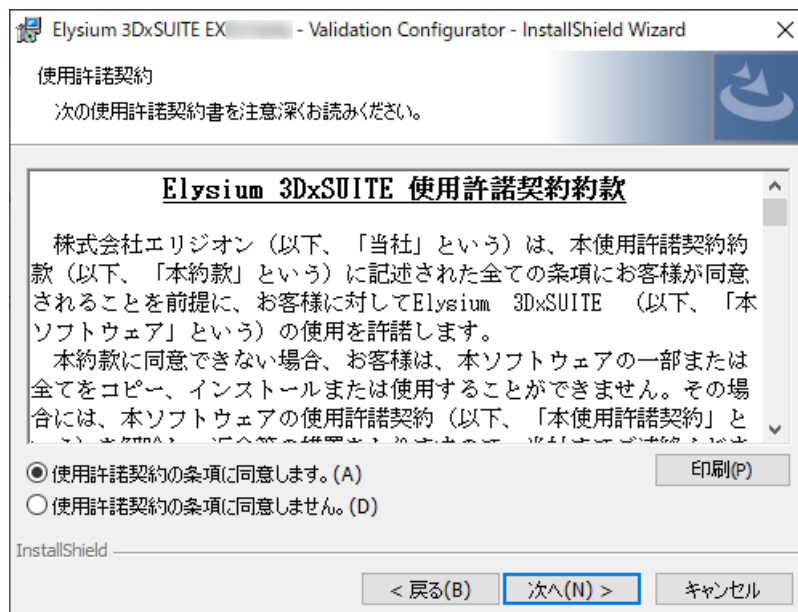


6. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。

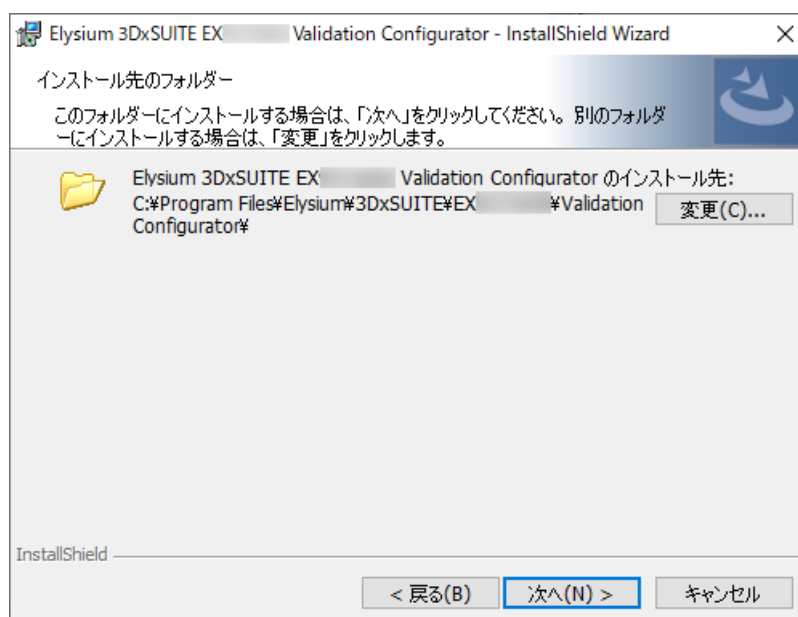


7. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません

ん。

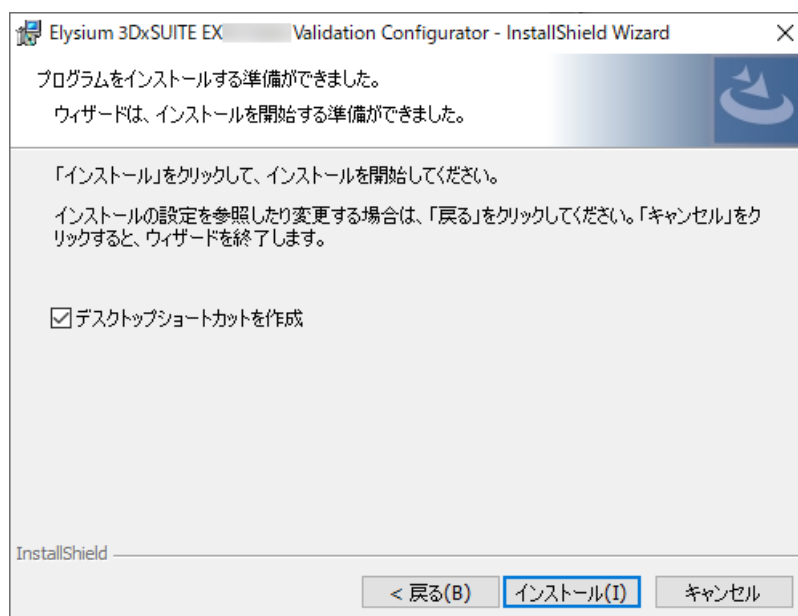


8. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら [次へ] をクリックします。

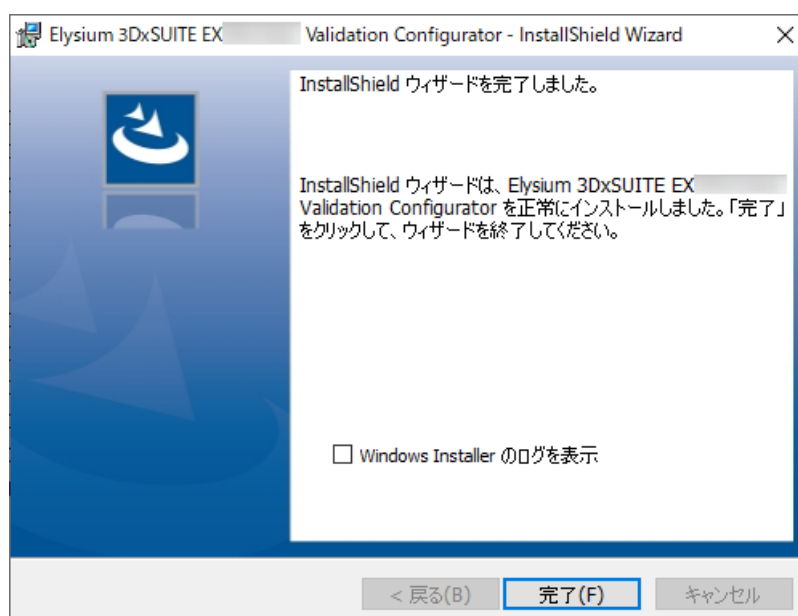


インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

9. デスクトップショートカットを作成しない場合はチェックを外します。[インストール] をクリックしてインストールを開始します。



10. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてインストーラーを終了します。



12.1.2. サイレントインストール

コマンドにて Validation Configurator の新規導入やアップグレードを行うことができます。実行コマンドについては、以下のコマンド例とコマンド引数の説明をご参照ください。

- コマンド例 (改行は不要)

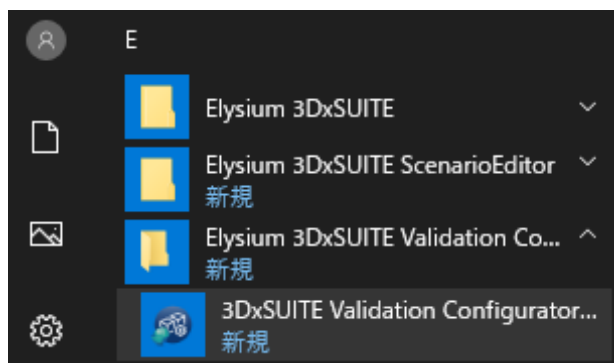
```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Validation_Configurator.exe /s /v"/l*  
\"C:\temp\install.log\" INSTALLDIR=\"C:\Program  
Files\Elysium\3DxSUITE\EX9.1\Validation Configurator\" /qn"
```

サイレントインストールの際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧は以下の通りです。

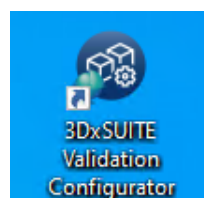
コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	インストールをサイレントモードで実行します。	必須
/v	/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • /I*\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/I*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。 • INSTALLDIR=\"<インストールフォルダー>\" : インストール先のフォルダーを指定します。インストール時のみ指定が可能です。 • /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。 • /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。 	任意

12.2. 起動手順

1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE Validation Configurator] - [3DxSUITE Validation Configurator EX9.1] を選択します。



デスクトップ上の [3DxSUITE Validation Configurator EX9.1] ショートカットをダブルクリックして起動することもできます。



Validation Configurator が起動しメインダイアログが表示されます。



12.3. 終了手順

ウィンドウを閉じて終了してください。

12.4. アンインストール手順

12.4.1. 手動アンインストール

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Validation Configurator" を選択して、アンインストールを実行します。

12.4.2. サイレントアンインストール

コマンドでサイレントアンインストールを行うことができます。現在導入されているバージョンのインストーラーが必要です。

- コマンド例

```
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Validation_Configurator.exe /s /x /v"/l*
\"C:\temp\uninstall.log\" /qn"
```

サイレントアンインストールを実行する際にインストーラーに渡すコマンド引数の一覧です。

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/s	アンインストールをサイレントモードで実行します。	必須
/x	アンインストールを実行します。	必須

コマンド引数	説明	必須 / 任意
/v	<p>/v"<引数1> <引数2> ..." という形式で以下の引数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• /l* "\"<ログファイル>\" : ログファイルのパスを指定します。"/l*" とファイル名の間に半角スペースが必要です。• /qn : ダイアログを表示せずにインストールやアンインストールを実行します。• /qn+ : インストールやアンインストールの完了時にダイアログを表示します。	任意

13. Elysium 3DxSUITE PDQ Checker Configurator

事前にインストールする必要があるプログラム

- ・ なし

13.1. インストール手順

PDQ Checker Configurator のインストーラーはありません。 <3DxSUITE PDQ Checker Configurator パッケージ> に含まれる "PDQCheckerSetting.xlsm" を任意の場所にコピーして使用してください。

13.2. 起動手順

"PDQCheckerSetting.xlsm" を Microsoft Excel で開いてください。

13.3. 終了手順

Microsoft Excel を終了してください。

13.4. アンインストール手順

"PDQCheckerSetting.xlsm" を削除してください。

14. Elysium 3DxSUITE 設定ユーティリティ

事前にインストールする必要があるプログラム

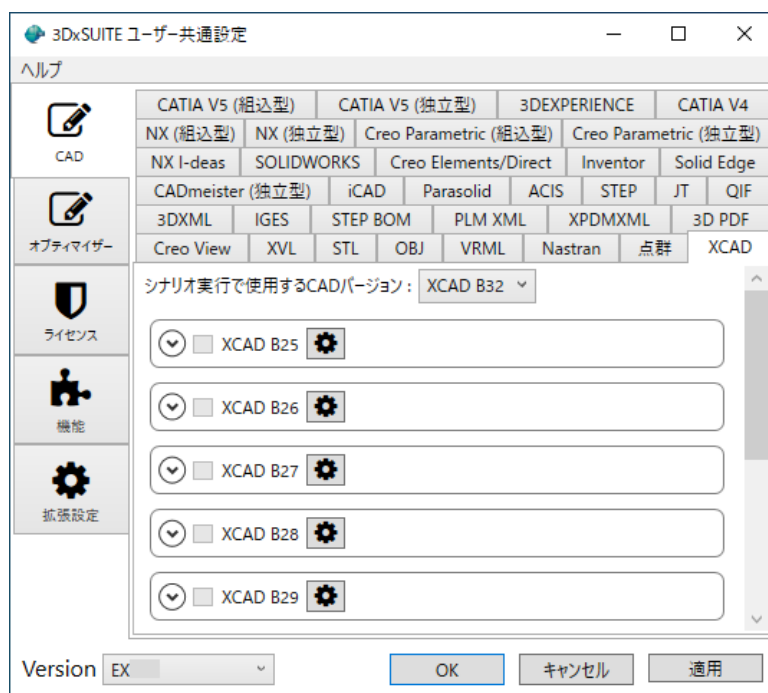
- なし

14.1. インストール手順

3DxSUITE 設定ユーティリティは、各製品のインストーラーを実行した際、必要に応じて自動的にインストールされます。個別にインストールする必要はありません。

14.2. 起動手順


Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ユーザー共通設定] または [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ローカルユーザー設定] を選択して起動してください。



14.3. 終了手順

ウインドウ下部の [OK] をクリックするか、ウインドウを閉じて終了してください。

14.4. アンインストール手順

1. Windows メニューから  [設定] を選択し、表示されたウインドウで [アプリ] を選択します。
2. 表示されたアプリの一覧から、"Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Setting Utility" を選択します。
3. [アンインストール] をクリックします。

15. トラブルシューティング

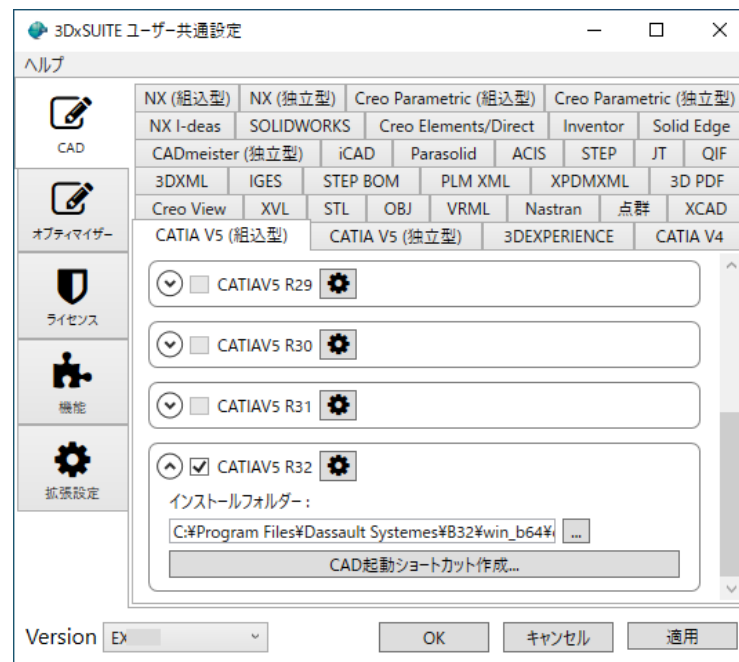
現象 1: SmartLauncher (Plug-in) for CATIA V5 を起動した際、CATIA V5 の環境ファイルに記載されている内容が反映されない。

[対処方法] CATIA V5 環境ファイルの情報が正しく指定されていない可能性があります。 [CAD 別初期設定 / 注意事項 - CATIA V5](#) に記載している内容に従って、CATIA V5 環境ファイルの情報を指定して下さい。

現象 2: エクスプローラーのコンテキストメニューから SmartLauncher (Standalone) による変換を実行すると、CATIA V5 のライセンスに関するエラーが発生する。通常の手順で CATIA V5 を起動した場合、エラーは発生しない。

[対処方法] CATIA V5 環境ファイルの情報が正しく指定されていない可能性があります。以下の手順に従って CATIA V5 環境ファイルを指定してください。

1. Windows メニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ユーザー共通設定] または [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ローカルユーザー設定] を選択します。
2. [CAD] タブを開きます。
3. CATIA V5 のタブを選択し、変換に用いるバージョンのギアマークをクリックします。



4. "CAD2ENF" および "ENF2CAD" の "CATIAV5_EnvPath" に CATIA V5 環境ファイルの絶対パスを入力して [OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックして [3DxSUITE ユーザー共通設定] ウィンドウまたは [3DxSUITE ローカルユーザー設定] ウィンドウを閉じます。

現象 3: カスタマイズされた NX 環境 (Teamcenter 環境を含む) で SmartLauncher (Plug-in) for NX のメニューが表示されない。

[対処方法] [CAD 別初期設定 / 注意事項 - NX](#) に記載している内容に従って設定を行ってください。

現象 4: 使用したい CAD のバージョンに対応する SmartLauncher (Plug-in) のインストーラーが見つからない。

[対処方法] SmartLauncher (Plug-in) は、3DxSUITE がサポートする CAD バージョンの一部のみをサポートしています。詳細については、リリースノートにある "サポートCAD バージョン一覧" を参照してください。

現象 5: サイレントインストール実行中に OS が再起動される。

[対処方法] こちらは想定された動作となるため、回避方法はありません。手動インストールではインストール完了時に再起動を求めるダイアログが表示されますが、サイレントインストールではこのダイアログが表示されず、そのまま再起動が実行されます。

現象 6: "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" の実行を途中でキャンセルした際に完了画面がフリーズする。

[対処方法] タスクマネージャーを起動して、"Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" プロセスを強制終了してください。

現象 7: "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe" の実行が失敗する。

[対処方法] "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Component_Base.exe" によるインストールのみが実行されている場合にこのような現象が起きることがあります。該当する場合には、追加で "Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe" によるインストールを実行するか、Windows の "アプリと機能" から "Elysium 3DxSUITE EX9.1 - Component Base" をアンインストールしてください。

現象 8: 3DxSUITE 製品のいずれかが、インストールに成功しているように見えるにも関わらず起動しない。

[対処方法] ジャンクションを含むパスにアプリケーションをインストールするとこのような現象が起きることがあります。インストールの際にジャンクションが含まれないパスを指定してください。なおジャンクションの詳細については、以下の URL を参照してください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/downloads/junction>

Appendix A: 3DxSUITE インストーラー一覧

インストール対象製品	説明
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe	
3DxSUITE Viewer	3DxSUITE Viewer をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Editor.exe	
3DxSUITE Editor	3DxSUITE Editor をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher.exe	
3DxSUITE SmartLauncher	3DxSUITE SmartLauncher をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe	
3DxSUITE SmartController	3DxSUITE SmartController をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe	
3DxSUITE SmartController Pro	3DxSUITE SmartController Pro をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe	
3DxSUITE TransServer	3DxSUITE TransServer をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe	
3DxSUITE WorkerNode	3DxSUITE WorkerNode をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe	
一部を除く製品全体	一部の Front-End と Utility Tool を除く全製品を一括インストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Data_Package_Studio.exe	
3DxSUITE Data Package Studio	3DxSUITE Data Package Studio をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Validation_Configurator.exe	
3DxSUITE Validation Configurator	3DxSUITE Validation Configurator をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_3D_PDF_Adapter.exe	
3DxSUITE 3D PDF Adapter	3DxSUITE 3D PDF Adapter をインストールするためのインストーラーです。

インストール対象製品	説明
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_3DEXPERIENCE_Adapter.exe	
3DxSUITE 3DEXPERIENCE Adapter	3DxSUITE 3DEXPERIENCE Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_3DXML_Adapter.exe	
3DxSUITE 3DXML Adapter	3DxSUITE 3DXML Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_ACIS_Adapter.exe	
3DxSUITE ACIS Adapter	3DxSUITE ACIS Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_CADmeister_Adapter.exe	
3DxSUITE CADmeister Adapter	3DxSUITE CADmeister Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_CATIA_V4_Adapter.exe	
3DxSUITE CATIA V4 Adapter	3DxSUITE CATIA V4 Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_CATIA_V5_Adapter.exe	
3DxSUITE CATIA V5 Adapter	3DxSUITE CATIA V5 (Plug-in) Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_CATIA_V5_Standalone_Adapter.exe	
3DxSUITE CATIA V5 Standalone Adapter	3DxSUITE CATIA V5(Standalone) Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_CATIA_V5_XCAD_Adapter.exe	
3DxSUITE CATIA V5 XCAD Adapter	3DxSUITE CATIA V5 XCAD Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Component_Base.exe	
3DxSUITE Component Base	3DxSUITE Component Base をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Creo_Elements_Direct_Adapter.exe	
3DxSUITE Creo Elements Direct Adapter	3DxSUITE Creo Elements Direct Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Creo_Parametric_Adapter.exe	
3DxSUITE Creo Parametric Adapter	3DxSUITE Creo Parametric (Plug-in) Adapter をインストールするためのインストーラーです。

インストール対象製品	説明
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Creo_Parametric_Standalone_Adapter.exe	
3DxSUITE Creo Parametric Standalone Adapter	3DxSUITE Creo Parametric(Standalone) Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Creo_View_Adapter.exe	
3DxSUITE Creo View Adapter	3DxSUITE Creo View Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_iCAD_Adapter.exe	
3DxSUITE iCAD Adapter	3DxSUITE iCAD Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_IGES_Adapter.exe	
3DxSUITE IGES Adapter	3DxSUITE IGES Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inventor_Adapter.exe	
3DxSUITE Inventor Adapter	3DxSUITE Inventor Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_JT_Adapter.exe	
3DxSUITE JT Adapter	3DxSUITE JT Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Nastran_Adapter.exe	
3DxSUITE Nastran Adapter	3DxSUITE Nastran Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_NX_Adapter.exe	
3DxSUITE NX Adapter	3DxSUITE NX(Plug-in) Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_NX_I-deas_Adapter.exe	
3DxSUITE NX I-deas Adapter	3DxSUITE NX I-deas Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_NX_Standalone_Adapter.exe	
3DxSUITE NX Standalone Adapter	3DxSUITE NX(Standalone) Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_OBJ_Adapter.exe	
3DxSUITE OBJ Adapter	3DxSUITE OBJ Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Parasolid_Adapter.exe	
3DxSUITE Parasolid Adapter	3DxSUITE Parasolid Adapter をインストールするためのインストーラーです。

インストール対象製品	説明
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_PLM_XML_Adapter.exe	
3DxSUITE PLM XML Adapter	3DxSUITE PLM XML Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Point_Cloud_Adapter.exe	
3DxSUITE Point Cloud Adapter	3DxSUITE Point Cloud Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_QIF_Adapter.exe	
3DxSUITE QIF Adapter	3DxSUITE QIF Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_3DEXPERIENCE.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Plug-in for 3DEXPERIENCE	3DEXPERIENCE 向けの 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Base.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Base	3DxSUITE SmartLauncher Base をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_CATIA_V5.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Plug-in for CATIA V5	CATIA V5 向けの 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_Creo_Parametric.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Plug-in for Creo Parametric	Creo Parametric 向けの 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_NX.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Plug-in for NX	NX 向けの 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartLauncher_SOLIDWORKS.exe	
3DxSUITE SmartLauncher Plug-in for SOLIDWORKS	SOLIDWORKS 向けの 3DxSUITE SmartLauncher Plug-in をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SOLIDWORKS_Adapter.exe	
3DxSUITE SOLIDWORKS Adapter	3DxSUITE SOLIDWORKS Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SolidEdge_Adapter.exe	
3DxSUITE Solid Edge Adapter	3DxSUITE Solid Edge Adapter をインストールするためのインストーラーです。

インストール対象製品	説明
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_STEP_Adapter.exe	
3DxSUITE STEP Adapter	3DxSUITE STEP Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_STEP_BOM_Adapter.exe	
3DxSUITE STEP BOM Adapter	3DxSUITE STEP BOM Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_STL_Adapter.exe	
3DxSUITE STL Adapter	3DxSUITE STL Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_VRML_Adapter.exe	
3DxSUITE VRML Adapter	3DxSUITE VRML Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_XPDMXML_Adapter.exe	
3DxSUITE XPDMXML Adapter	3DxSUITE XPDMXML Adapter をインストールするためのインストーラーです。
Elysium_3DxSUITE_EX9.1_XVL_Adapter.exe	
3DxSUITE XVL Adapter	3DxSUITE XVL Adapter をインストールするためのインストーラーです。

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの
行為をすることは禁じられています。